

学 年

1

令和7年度

シラバス

令和7年度

シラバス

SYLLABUS
for
STUDENTS



— 第1学年

 日本歯科大学生命歯学部

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

令和7年度 第1学年
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	5 9

本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

※実務経験のある教員等による授業科目を示す。

なお、実務経験のある教員等による授業科目一覧は、シラバスの末尾部に示す。

令和7年度（第1学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時 間 曜 日	9 : 0 0 }	1 0 : 4 0 }	1 3 : 1 0 }	1 4 : 5 0 }	1 6 : 3 0 }
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	医療コミュニケーション学 (隈 部)	心 理 学 (栗 原)	物 理 学 Zoom (小 野)	数 学 Zoom (小 野)	※
火	病院医療概論 (内川/柵木)	化 学 (戸 円)	生 物 学 実 習 A (注) (田 谷)		※
			スポーツ・健康学B (注) (実技：中 田)		
水	国 語 表 現 (小 原)	学習法基本概論 (田 谷)	歯 科 医 療 情 報 学 (実習：安 藤)		※
木	生命歯学概論 (統合：新谷)	プロフェッショナリズム1 (菊池/添野)	スポーツ・健康学A (注) (実技：中 田)		※
			生 物 学 実 習 B (注) (田 谷)		
金	生 物 学 (堀 江)	医 学 英 語 (横 山)	人 類 学 (馬 場)	ホームルーム	※

(注)：上段は奇数(A組)、下段は偶数(B組)

- 授 業 期 間 令和 7年 4月 7日(月)～令和 7年 7月23日(水)
(令和 7年 7月17日(木)及び
令和 7年 7月22日(火)～令和 7年 7月23日(水)は授業予備日)
(令和 7年 7月24日(木)～令和 7年 8月19日(火)は夏期休業)
- 講 堂 合同講義 141講堂
歯科医療情報学実習 PCルーム
生 物 学 実 習 4階生物学実習室
病院医療概論 (ハントスキル実習) 7階臨床実習室
- そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。
②「※」は補講、特別授業、相互学習(ピア・サポート)等。

令和7年度（第1学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時 間 曜 日	9 : 0 0 }	1 0 : 4 0 }	1 3 : 1 0 }	1 4 : 5 0 }	1 6 : 3 0 }
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	国 語 表 現 (小 原)	心 理 学 (栗 原)	化 学 (戸 円)	ピア・サポート	※
火	法 学 (益 田)	社会福祉学 (高 山)	話し合い基盤型問題解決演習 A ^(注) (田 谷)		※
			化 学 実 習 B ^(注) (戸 円)		
水	生 物 学 (堀 江)	発生と再生 (中 原)	行 動 科 学 (俣 木)	ホームルーム	※
木	生命歯学概論 (統合：内川)	歯の解剖学 (春原/菊池)	化 学 実 習 A ^(注) (戸 円)		※
			話し合い基盤型問題解決演習 B ^(注) (田 谷)		
金	医学統計学 (一 宮)	医 学 英 語 (横 山)	物 理 学 Zoom (小 野)	食 育 学 (名 生)	※

(注)：上段は奇数(A組)、下段は偶数(B組)

- 授業期間 令和7年9月22日(月)～令和7年12月23日(火)
令和8年1月5日(月)～令和8年1月9日(金)
(令和8年1月7日(水)～令和8年1月9日(金)は授業予備日)
(令和8年12月24日(水)～令和8年1月4日(日)は冬期休業)
- 講 堂 合同講義 141講堂
医学統計学 141講堂(もしくはPCルーム)
化学実習 6階生化学実習室
- そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。
②「※」は補講、特別授業、相互学習(ピア・サポート)等。
③12月23日(火)は、月曜日時間割を実施する。
- 年間総合単位数 45.5単位

授業科目の履修時期と単位数

【2025年度第1学年以降】

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
心理学	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
化学	3													
化学実習	1													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナルリズム 1	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英語	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
衛生・公衆衛生学	3													
口腔保健学	3													
口腔衛生学	1.5													
衛生学・口腔衛生学実習	1													
歯科理工学	4.5													
歯科理工学実習	1													
病理学	4.5													
病理学実習	1													
スポーツ歯学	1													
プロフェッショナルリズム 2	1.5													
臨床につなげる基礎学と教養	1.5													
地域連携・在宅医療概論	1.5													
歯科法医学	1.5													
生命歯学探究	1.5													
生命歯学探究実習	1													
コミュニケーション概論実習	1													
歯科硬組織修復学	4.5													
歯科硬組織修復学実習	1													
歯内療法学	4.5													
歯内療法学実習	1													
歯周病学	4.5													
歯周病学実習	1													
全部床義歯補綴学	3													
全部床義歯補綴学実習	1													
部分床義歯補綴学	3													
部分床義歯補綴学実習	1													
歯冠補綴学	4.5													
歯冠補綴学実習	1													
口腔外科学	3													
口腔内科学	3													
口腔外科の基本手技実習	1													
歯科矯正学	3													
歯科矯正学実習	1													
小児歯科学	3													
小児歯科学実習	1													
歯科放射線学	4.5													
高齢者歯科学	1.5													
外科学	1.5													
内科学	1.5													
歯科麻酔・救急処置	3													

授 業 科 目	単 位	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年		6 年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
総合基礎歯学	2													
統合臨床基礎学実習	1													
障害者歯科学	1													
口腔インプラント学	1.5													
総合歯科医学	3													
臨床実習	11													
基礎医学演習 1	1													
基礎医学演習 2	1													
総合基礎医学演習 1	1													
総合基礎医学演習 2	1													
臨床歯学探究	1													
総合科目①②③	3													
包括歯科医学①②	1													

単位合計数	199.5単位
-------	---------

前学期授業科目

医療コミュニケーション学	20
心理学	22
物理学	24
数学	26
病院医療概論（病院実習）	28
病院医療概論（ハnadスキル実習）	32
病院医療概論（多摩クリニック）	34
化学	36
生物学実習	38
スポーツ・健康学実技	40
国語表現	42
学習法基本概論	44
歯科医療情報学実習	46
生命歯学概論	48
プロフェッショナリズム1	50
生物学	52
医学英語	54
人類学	56
（計 16科目）	

Medical Communication	20
Psychology	22
Physics	24
Mathematics	26
Observation of Dental Clinical	28
Practice of hand skills training	32
Observation of Tama Hospital	34
Chemistry	36
Practice of Biology	38
Sports and Wellness Science	40
Japanese Language Expression	42
Introduction to basic learning	44
Dental Informatics	46
Life Dentistry	48
Professionalism 1	50
Biology	52
Medical English	54
Anthropology	56
(計 16科目)	

令和7年度（第1学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

日本医科大学生命園学部					
時 間 曜 日	9 : 0 0 }	1 0 : 4 0 }	1 3 : 1 0 }	1 4 : 5 0 }	1 6 : 3 0 }
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	医療コミュニケーション学 (隈 部)	心 理 学 (栗 原)	物 理 学 Zoom (小 野)	数 学 Zoom (小 野)	※
火	病院医療概論 (内川/柵木)	化 学 (戸 円)	生 物 学 実 習 A ^(注) (田 谷)		※
			ス ポー ツ ・ 健康学B ^(注) (実技：中 田)		
水	国 語 表 現 (小 原)	学習法基本概論 (田 谷)	歯 科 医 療 情 報 学 (実習：安 藤)		※
木	生命歯学概論 (統合：新谷)	プロフェッショナルリズム1 (菊池/添野)	ス ポー ツ ・ 健康学A ^(注) (実技：中 田)		※
			生 物 学 実 習 B ^(注) (田 谷)		
金	生 物 学 (堀 江)	医 学 英 語 (横 山)	人 類 学 (馬 場)	ホームルーム	※

(注)：上段は奇数(A組)、下段は偶数(B組)

- 授 業 期 間 令和 7年 4月 7日(月)～令和 7年 7月23日(水)
(令和 7年 7月17日(木)及び
令和 7年 7月22日(火)～令和 7年 7月23日(水)は授業予備日)
(令和 7年 7月24日(木)～令和 7年 8月19日(火)は夏期休業)
- 講 堂 合同講義 141講堂
歯科医療情報学実習 PCルーム
生物学実習 4階生物学実習室
病院医療概論(ハントスキル実習) 7階臨床実習室
- そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。
②「※」は補講、特別授業、相互学習(ピア・サポート)等。

準備学習 課題一覧

使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

医療コミュニケーション学

月曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	テキスト『おまかせしない医療』P2～P5を読む。	
ユニット2	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット3	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。テキストP42～P47を読む。	
ユニット4	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット5	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。テキストP102～P108を読む。	
ユニット6	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット7	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット8	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット9	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。テキストP109～P115を読む。	
ユニット10	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット11	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット12	前回の講義ノートを整理し、内容を復習する。	
ユニット13	前期の講義ノートを整理し、内容を復習する。	

心理学

月曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット2	教科書「知覚と認知の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット3	教科書「学習と記憶の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット4	教科書「学習と記憶の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット5	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット6	教科書「性格と知能の心理」と配布資料を読み講義テーマを確認する。	
ユニット7	自分の性格について考える。	
ユニット8	配布資料を読み講義テーマを確認する。	
ユニット9	配布資料を読み講義テーマを確認する。	
ユニット10	教科書「性格と知能の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット11	教科書「性格と知能の心理」と配布資料読み、講義テーマを確認する。	
ユニット12	教科書「欲求と動機の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット13	既習内容を復習しておく。	

物理学

月曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	(準備学習:15分) 教科書 p305-307(関連する参考書の箇所)を事前に確認しておく。	
ユニット2	(30分) 教科書 p3-7 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット3	(30分) 教科書 p7-15 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット4	(30分) 教科書 p19-25 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット5	(30分) 教科書 p26-29 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット6	(30分) 教科書 p32-34 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット7	(30分) 教科書 p35-39 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット8	(30分) 教科書 p105-109 (関連する参考書の箇所)を確認する。	
ユニット9	(30分) 教科書 p96-97, 113-115 (関連する参考書の箇所)を確認し, 課題を解く。	
ユニット10	(30分) 教科書 p117-126, p128-137, 150-151 (関連する参考書の箇所)を確認し, 課題を解く。	
ユニット11	(30分) 教科書 p157-160 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット12	(30分) 教科書 p160-163 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット13	(30分) 教科書 p165-172 (関連する参考書の箇所)を事前に確認し, 前回の課題を解く。	

数学

月曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	(15分) 教科書 p4-15(関連する参考書の該当箇所)を確認する。	
ユニット2	(30分) 関連する参考書の箇所(医歯系の物理学 p305)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット3	(30分) 教科書 p16-17, 58-66 (関連する参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット4	(30分) 教科書 p69-80 (関連する参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット5	(30分) 教科書 p81-86 (関連する参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット6	(30分) 微分方程式について関連する参考書の箇所を調べて確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット7	(30分) 教科書 p53-57(関連する参考文献の該当箇所)を確認する。前回の課題を解く。	
ユニット8	(30分) 級数展開について関連する参考書の箇所を調べて確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット9	(30分) 教科書 p120-123 (参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット10	(30分) 教科書 p100-108 (参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット11	(30分) 教科書 p150-151 (参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット12	(30分) 教科書 p124-136 (参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット13	(30分) 教科書 p137-140 (参考書の該当箇所)を確認し, 前回の課題を解く。	

病院医療概論

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	常用歯科辞典で「医療安全」,「院内感染」,「歯科医師法」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット2	前ユニットを振り返り, シラバス内容を確認する。	
ユニット3	常用歯科辞典で「要介護高齢者」,「誤嚥性肺炎」,「摂食嚥下リハビリテーション」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット4	常用歯科辞典で「歯内療法学」,「歯・歯周組織の構造と機能」,「歯内療法の対象疾患」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット5	常用歯科辞典で「歯の変色」,「歯の漂白(ホワイトニング)」,「シェードテイキング」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット6	常用歯科辞典で「ブラーク」,「機械的ブラークコントロール」,「ラバーカップ」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット7	常用歯科辞典で「印象材」,「模型材」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット8	常用歯科辞典で「病院」,「院内感染」,「標準予防策(スタンダードプレコーション)」,「多職種連携」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット9	常用歯科辞典で「小児歯科学」,「乳歯」,「永久歯」,「小児への対応」,「行動療法」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット10	常用歯科辞典で「矯正歯科」,「治療計画」,「インフォームドコンセント」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット11	常用歯科辞典で「局所麻酔法」,「静脈内鎮静法」,「全身麻酔法」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット12	常用歯科辞典で「放射線の種類と影響」,「歯科における放射線の使用法」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
ユニット13	常用歯科辞典で「歯科技工士」,「ワックスアップ」,「鋳造」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	
	※多摩クリニック見学実習 常用歯科辞典にて「要介護高齢者」,「摂食嚥下リハビリテーション」,「誤嚥性肺炎」について確認し, ユニットのテーマについて学習する。	

化学

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書「やさしく学べる化学」p1～16を予習しておく。	
ユニット2	教科書「やさしく学べる化学」p27～33およびp37～42を予習しておく。	
ユニット3	教科書「やさしく学べる化学」p40～49を予習しておく。	
ユニット4	教科書「やさしく学べる化学」p61～69を予習しておく。	
ユニット5	教科書「やさしく学べる化学」p98～112を予習しておく。	
ユニット6	教科書「メディカル化学」p8～42を予習しておく。	
ユニット7	教科書「メディカル化学」p102～107を予習しておく。	
ユニット8	教科書「メディカル化学」p33～37およびp147～p153を予習しておく。	
ユニット9	教科書「メディカル化学」p153～159を予習しておく。	
ユニット10	教科書「メディカル化学」p108～110を予習しておく。	
ユニット11	教科書「メディカル化学」p112～114を予習しておく。	
ユニット12	教科書「メディカル化学」p115～117を予習しておく。	
ユニット13	教科書「メディカル化学」p111およびp117～118を予習しておく。	

生物学実習（A組）

火曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	生物学実習（以下、実習書）p71－81を熟読し、顕微鏡の構造と取り扱いについて理解する。	
ユニット2	実習書p86－89を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット3	実習書p96－97を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット4	実習書p98－99を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット5	実習書p118を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット6	実習書p113－116を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット7	実習書p83, p90－91を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット8	実習書p82と配布資料を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット9	配布資料を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット10	配布資料を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット11	配布資料を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット12	配布資料を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット13	今までの実習で学んだことを列挙する。	

スポーツ・健康学（B組）

火曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	学校での体育、余暇での体育・スポーツ活動の経験をまとめておく。	
ユニット2	ドッジビーのルールと競技特性を調べておく。	
ユニット3	ドッジビーの試合展開・戦術を振り返りと併せて検討しておく。	
ユニット4	インディアカのルールと競技特性を調べておく。	
ユニット5	インディアカの試合展開・戦術を振り返りと併せて検討しておく。	
ユニット6	卓球のルールと競技特性を調べておく。	
ユニット7	卓球ダブルスの試合展開・戦術を検討しておく。	
ユニット8	バドミントンのルールと競技特性を調べておく。	
ユニット9	バドミントンダブルスの試合展開・戦術を検討しておく。	
ユニット10	ストレッチの意味とスポーツシーンでのあり方を調べておく。	
ユニット11	ストレッチを有効的に使える方法と注意点を確認しておく。	
ユニット12	測定とは何か、データとは何かを調べておく。	
ユニット13	心肺蘇生法の概念とその有効性を調べておく。	

国語表現

水曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「日本語」とはどのような言語か、具体的にその特徴を考える。	
ユニット2	前回の授業で扱った「日本語の特徴」について復習する。	
ユニット3	前回の授業で扱った「日本語の文法」について復習する。	
ユニット4	「敬語」とはどのようなものか、具体例を挙げて特徴を考える。	
ユニット5	前回の授業で扱った「待遇表現」「敬語」について復習する。	
ユニット6	前回の授業で扱った「敬語の特徴」について復習し、問題を再考する。	
ユニット7	前回の授業で扱った「敬語の運用」について復習し、問題を再考する。	
ユニット8	大学生・社会人として必要な日本語運用能力とはどのようなものかを考える。	
ユニット9	前回の授業で扱った「日本語リテラシー」について復習する。	
ユニット10	前回の授業で扱った文章要約の問題を再考する。	
ユニット11	これまでの授業で扱った文章に再度目を通し、客観的文章の構成を確認する。	
ユニット12	前回の授業で扱った「文章の構成」について復習する。	
ユニット13	前期の学習内容を復習し、整理する。	

学習法基本概論

水曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	資料を熟読し、受講のための準備をする。	
ユニット2	見やすいノートについて考える。	
ユニット3	グループで話し合うためのやり方を考える。	
ユニット4	画像を読み解く際に必要なことを列挙する。	
ユニット5	画像を読み解く際に必要なことを列挙する。	
ユニット6	テキストp1－21を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット7	テキストp22－29を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット8	テキストp30－37を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット9	テキストp59－71を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット10	テキストp72－94を熟読し、重要な部分をマークする。	
ユニット11	課題テキストに基づいて自己学習し、LBPシートを完成させる。	
ユニット12	LBPシートの設問について自己学習し、解答を記載する。	
ユニット13	今までの授業で学んだことを列挙する。	

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	自身のPCのセットアップを完成しておく。自身のgmailアカウント、パスワード等を確認しておく。変更した場合は変更後のものが必要。	
ユニット2	Moodleのアカウント、パスワードを確認しておく。	
ユニット3	公用WiFiに接続できる検索用デバイスを用意しておく。スクラッチドリルブック チャレンジ1～5に目を通しておく。	
ユニット4	公用WiFiに接続できる検索用デバイスを用意しておく。スクラッチドリルブック チャレンジ6～10に目を通しておく。	
ユニット5	公用WiFiに接続できる検索用デバイスを用意しておく。スクラッチドリルブック チャレンジ11～16に目を通しておく。	
ユニット6	公用WiFiに接続できる検索用デバイスを用意しておく。スクラッチドリルブック チャレンジ17～20に目を通しておく。	
ユニット7	自身のgmailアカウント、パスワード等を確認しておく。変更した場合は変更後のものが必要。スクラッチドリルブック チャレンジ21～30に目を通しておく。Microbitのキットを用意する。単4電池、自身のPCの接続がUSB typeA以外の人は変換コネクタを用意しておく。	
ユニット8	自身のgmailアカウント、パスワード等を確認しておく。変更した場合は変更後のものが必要。	
ユニット9	Microsoftパワーポイントが使えるようにしておく。	
ユニット10	Microsoftパワーポイントが使えるようにしておく。	
ユニット11	タオルを持参する。	
ユニット12	ヴィジュアルプログラミング作品発表者は発表の準備。	
ユニット13	プレゼンテーション担当者は準備をしておく。	

生命歯学概論

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	参考書「禁煙 あなたの口と全身の健康」の喫煙と生活習慣病、喫煙と口の中の健康など内容を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	常用歯科辞典の再生医療、幹細胞などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	常用歯科辞典の歯科衛生士、保険、医療、福祉、介護などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	常用歯科辞典の歯科医師法などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	常用歯科辞典の妊産婦歯科健康検査などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	常用歯科辞典のスポーツ歯学、スポーツドクター、スポーツ外傷などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	常用歯科辞典の歯の漂白、漂白剤を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	常用歯科辞典の小児歯科を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	常用歯科辞典の歯科口腔外科、口腔癌、腫瘍などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	常用歯科辞典の矯正歯科、不正咬合などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	常用歯科辞典の歯科技工士、補綴装置などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	常用歯科辞典の医療保障制度、社会保障制度、医療保険制度などを参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	常用歯科辞典の国際歯科研究学会などを参考に講義テーマについて学習する。	

プロフェッショナルリズム 1

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット2	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット3	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット4	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット5	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット6	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット7	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット8	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット9	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット10	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット11	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット12	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	
ユニット13	配付資料(抄録・演者略歴)を読み、キーワードについて調べる。	

スポーツ・健康学（A組）

木曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	学校での体育, 余暇での体育・スポーツ活動の経験をまとめておく。	
ユニット2	ドッジビーのルールと競技特性を調べておく。	
ユニット3	ドッジビーの試合展開・戦術を振り返りと併せて検討しておく。	
ユニット4	インディアカのルールと競技特性を調べておく。	
ユニット5	インディアカの試合展開・戦術を振り返りと併せて検討しておく。	
ユニット6	卓球のルールと競技特性を調べておく。	
ユニット7	卓球ダブルスの試合展開・戦術を検討しておく。	
ユニット8	バドミントンのルールと競技特性を調べておく。	
ユニット9	バドミントンダブルスの試合展開・戦術を検討しておく。	
ユニット10	ストレッチの意味とスポーツシーンでのあり方を調べておく。	
ユニット11	ストレッチを有効的に使える方法と注意点を確認しておく。	
ユニット12	測定とは何か, データとは何かを調べておく。	
ユニット13	心肺蘇生法の概念とその有効性を調べておく。	

生物学実習（B組）

木曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	生物学実習(以下, 実習書)p71－81を熟読し, 顕微鏡の構造と取り扱いについて理解する。	
ユニット2	実習書p86－89を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット3	実習書p96－97を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット4	実習書p98－99を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット5	実習書p118を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット6	実習書p113－116を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット7	実習書p83, p90－91を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット8	実習書p82と配布資料を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット9	配布資料を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット10	配布資料を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット11	配布資料を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット12	配布資料を熟読し, 重要な部分をマークする。	
ユニット13	今までの実習で学んだことを列挙する。	

生物学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	ヒトを構成する物質について調べる。	
ユニット2	「ていねいな生物学」p14-20を通読する。	
ユニット3	「ていねいな生物学」p14-20を通読する。	
ユニット4	「ていねいな生物学」p46-58を通読する。	
ユニット5	「ていねいな生物学」p59-64を通読する。	
ユニット6	「ていねいな生物学」p64-69を通読する。	
ユニット7	「やさしい基礎生物学」p139-146を通読する。	
ユニット8	「やさしい基礎生物学」p43-52を通読する。	
ユニット9	「やさしい基礎生物学」p53-56を通読する。	
ユニット10	「やさしい基礎生物学」p84-96を通読する。	
ユニット11	「やさしい基礎生物学」p108-112を通読する。	
ユニット12	「やさしい基礎生物学」p97-106を通読する。	
ユニット13	「やさしい基礎生物学」p107-108を通読する。	

医学英語

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書の目次を確認する。	
ユニット2	Vital Signs『Hospital Departments』の項を確認する。	
ユニット3	総合医学英語テキスト Step1『Fever』の項を確認する。	
ユニット4	Vital Signsの『Application Forms』の項を確認する。	
ユニット5	総合医学英語テキスト Step1『Anemia』の項を確認する。	
ユニット6	Vital Signs『Parts of the Body』の項を確認する。	
ユニット7	Vital Signs『Parts of the Body』の項を確認する。	
ユニット8	総合医学英語テキスト Step1『Dehydration』の項を確認する。	
ユニット9	Vital Signs『Illnesses』項を確認する。	
ユニット10	総合医学英語テキスト Step1『Obesity』の項を確認する。	
ユニット11	総合医学英語テキスト Step1『Headache』の項を確認する。	
ユニット12	総合医学英語テキスト Step1『Headache』の項を確認する。	
ユニット13	Vital Signs『Hospital Objects』の項を確認する。	

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	ヒトと一般動物の違いを調べておく。	
ユニット2	ヒトはなぜ霊長類の一員と言えるか調べておく。	
ユニット3	人類がこれまで生き延びられた原因を調べておく。	
ユニット4	祖先のオスはいつからメスに優くなったか考えておく。	
ユニット5	猿人の歯はなぜ大きくなったのか調べておく。	
ユニット6	原人はいつユーラシアに拡散したのか調べておく。	
ユニット7	動物が小さくなる島嶼効果について調べておく。	
ユニット8	我々の「こころ」はいつ発達したのか調べておく。	
ユニット9	自分の食生活は本当に正しいのか考えておく。	
ユニット10	進化医学とは何か調べておく。	
ユニット11	古代人の健康を知る方法を調べておく。	
ユニット12	日本列島にはいつからヒトが住むようになったか調べておく。	
ユニット13	顔の貴族化とは何か調べておく。	

医療コミュニケーション学

月曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

医療が生命にかかわる特殊な分野であることを認識し歯科医師の患者とのより良いコミュニケーションを学ぶ。
専門用語の扱いや、患者の受け止め方など医療用語を中心に学ぶ。インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンでの医療情報の伝え方も身につける。臨床栄養学上の医学専門用語を事例に学ぶ。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
神崎 仁, 隈部まち子	おまかせしない医療	第2版	慶應義塾出版会

担当者一覧

隈部まち子

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [60%]
 ☒ 論述試験 [20%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☒ レポート [20%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 月曜日 8:40~9:00 10:30~10:50
場所: 本館1階 講師室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	隈部まち子	ユニット1: 患者に寄り添う歯科医師の話し方総論	1) 医療の特殊性を説明する。 2) 患者とのコミュニケーションの留意点を学ぶ。 3) 1年生から実行できることを学習する。
4月14日	隈部まち子	ユニット2: 医療コミュニケーション学の変遷を学ぶ。	1) 急速に変化した患者とのコミュニケーションの経緯と最新の事例を学ぶ。 2) 臨床栄養学の観点から、喫煙の弊害と禁煙の重要性を説明する。
4月21日	隈部まち子	ユニット3: 患者が不快に思う歯科医師のことばを学ぶ。	1) 患者が不満に思う何げないひと言を提示する。 2) ドクター・ハラスメントを理解する。
5月12日	隈部まち子	ユニット4: 医療コミュニケーションの応用編の実践	1) 医療現場での様々な場面における医療コミュニケーションの実例を提示する。 2) 新たな場面を想定し、よりの確な医療コミュニケーションを実施する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	隈部まち子	ユニット5：インフォームド・コンセント	1) インフォームド・コンセントの変遷を学ぶ。 2) インフォームド・コンセントの基本事項を学ぶ。
5月26日	隈部まち子	ユニット6：インフォームド・コンセント	1) インフォームド・コンセントにおける歯科医師義務を学ぶ。 2) インフォームド・コンセントにおける患者の権利を学ぶ。
6月2日	隈部まち子	ユニット7：専門用語の伝え方を学ぶ。	1) 臨床栄養学上の疾患を説明する。 2) この疾患を例に患者に専門用語をどう伝えるかを説明する。
6月9日	隈部まち子	ユニット8：米英と日本の医療制度の違いとコミュニケーションの違いを学ぶ。	1) アメリカの医療制度と日本のとの違いを説明する。 2) イギリスの医療制度と日本との違いを説明する。 3) 制度が違っているとコミュニケーションも変わることを説明する。
6月16日	隈部まち子	ユニット9：セカンド・オピニオン	1) セカンド・オピニオンの背景と経過を説明する。 2) セカンド・オピニオンの内容を説明する。
6月23日	隈部まち子	ユニット10：セカンド・オピニオン	1) セカンド・オピニオンを受ける方法を学ぶ。 2) セカンド・オピニオンの会話を実施する。
6月30日	隈部まち子	ユニット11：ネット社会と医療コミュニケーション	1) ネット情報の利点を学ぶ。 2) ネット情報の弊害と対処を学ぶ。
7月7日	隈部まち子	ユニット12：患者とのコミュニケーションの記録	1) 記録の重要性を説明する。 2) SOAP POMRなどを説明する。
7月14日	隈部まち子	ユニット13：前学期の総括	前回までの学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。

心理学

月曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

心理学分野の基礎知識を習得する。心理学的研究方法で実証された心のメカニズムを学び、目に見えず、触れない心を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

斎藤 勇	イラストレート心理学入門	第3版	誠信書房
------	--------------	-----	------

担当者一覧

栗原佳代子

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [40%]
 ☒ 論述試験 [40%]
 ☐ 口頭試験 [1-10%]
 ☒ レポート [20%]
 ☐ ポートフォリオ [1-10%]
 ☐ シミュレーションテスト [1-10%]
 ☐ 実地試験 [1-10%]
 ☐ 観察記録 [1-10%]
 ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 () [1-10%]

オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 (12:10~13:10)

場所: 本館 1F 講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月7日	栗原佳代子	ユニット1: 心理学入門	1) 社会生活と心理学のかかわりを述べる。 2) 心理学の歴史を述べる。 3) 実験法と観察法について説明する。 4) 各ユニットの簡単な説明する。
4月14日	栗原佳代子	ユニット2: 知覚	1) 感覚の刺激閾, 刺激頂, 弁別閾を説明する。 2) 感覚の特性, 順応, 対比, 残留感覚を説明する。 3) 知覚の選択, 注意を説明する。 4) きめの勾配, 陰影, 遠近法による奥行き知覚を説明する。 5) 知覚の安定性, 恒常性について説明する。 6) 経験, 期待, 欲求の知覚に及ぼす影響や文化差による知覚について考える。
4月21日	栗原佳代子	ユニット3: 学習	1) 学習の諸様式について説明する。 2) 古典的条件づけの理論と手続きを説明する。 3) 試行錯誤学習と道具的条件づけを説明する。 4) シェイピング, 目標の勾配を説明する。 5) 反応頻度と強化スケジュールを説明する。 6) 学習の効率, 集中・分散学習を説明する。 7) 多様な学習方式を説明する。
5月12日	栗原佳代子	ユニット4: 記憶	1) 記銘の材料, 系列内位置効果, チャンク数について説明する。 2) 機械, 図式, 論理的記銘方法を説明する。 3) 保持, レミニセンスについて述べる。 4) 記憶内容の質的変容を説明する。 5) 再生法と再認法を説明する。 6) 短期記憶と長期記憶を解説する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	栗原佳代子	ユニット5：友人関係	1) 友人関係の機能と重要性を説明する。 2) 友人関係の発達的变化と自己の社会的視点獲得の関連を説明する。 3) 自分の友人関係を振り返る。 4) 対人関係を考える。
5月26日	栗原佳代子	ユニット6：パーソナリティ1	1) パーソナリティの定義を説明する。 2) 性格の類型論と特性論について説明する。 3) クレッチマーとシェルドンの類型を説明する。 4) ユング、シュプラングラーの理論を説明する。
6月2日	栗原佳代子	ユニット7：パーソナリティ2 心理検査演習：YGテスト	1) 性格の形成について、外的要因、内的要因、主体的要因を説明する。 2) 観察法、面接法、質問紙法、投影法、作業検査法について説明する。 3) YG 検査を実施し、測定をする。 4) 各自 YG 検査結果の判定を行なう。 5) 諸領域でのYG検査の研究報告を紹介する。
6月9日	栗原佳代子	ユニット8：葛藤と防衛機制	1) 葛藤と耐性について説明する。 2) フラストレーションを説明する。 3) 現実的、合理的解決方法を説明する。 4) ストレスについて解説する。 5) 自我の防衛機制を例示し、解説する。
6月16日	栗原佳代子	ユニット9：適応異常	1) PTSD を説明する。 2) 悲嘆について説明する。 3) 曖昧な喪失について説明する。 4) 外傷後成長について説明する。 5) レジリエンスについて説明をする。 ネガティブな経験について考える。
6月23日	栗原佳代子	ユニット10：知能1	1) 知能の概念を説明する。 2) ピアジェの認知発達を説明する。 3) 子どもの病気の概念に関する認知の発達を説明する。 4) 知能の定義を説明する。
6月30日	栗原佳代子	ユニット11：知能2	1) 知能の構成因子を解説する。 2) WISCIVを解説する。 3) 創造性について説明する。 4) 社会的知能と情動知能を説明する。
7月7日	栗原佳代子	ユニット12：動機づけ	1) 行動喚起と行動目標づけについて説明する。 2) 生理的動機と内発的動機を説明する。 3) 社会動機、達成動機、親和動機を説明する。 4) 認知的不協和について説明する。
7月14日	栗原佳代子	ユニット13：前学期のフィードバック	前回までの学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。

物理学（遠隔授業）

月曜日 13:10~14:40

本学期的学習目標（GIO）

歯科医療に用いられる高度な機器の動作原理を理解するために、力学、波動、熱力学などの物理法則を理解し、論理的に説明するための素養を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
村田浩他著	医歯系の物理学	第2版	東京教学社
	高等学校 物理基礎・物理 教科書・参考書		

担当者一覧

小野裕明

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☐ 実習
 ☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [50%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む） [減点式]
 ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：月曜日 昼休み 12:10~13:10

場所：Zoom

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
4月7日	小野 裕明	ユニット1：物理基礎数学	1) 三角関数の計算を再確認する。 2) ベクトルの合成と分解を再確認する。 3) 指数、対数の計算を再確認する。 4) 典型的な微積分を再確認する。
4月14日	小野 裕明	ユニット2：力学1 力の合成と分解、力のつり合い	1) ベクトルを用いて力を合成・分解する。 2) 力を成分に分解する。 3) 力のつり合いを説明する。
4月21日	小野 裕明	ユニット3：力学2 剛体とモーメント・弾性体	1) 大きさのある物体の運動を記述する。 2) モーメントと回転作用を説明する。 3) 物体の重心を説明する。 4) 弾性体のひずみとヤング率を説明する。
5月12日	小野 裕明	ユニット4：力学3 速度・加速度と運動の法則	1) 物体の速度・加速度を説明する。 2) 運動の3法則を説明する。 3) 運動方程式を記述する。 4) 放物運動を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	小野 裕明	ユニット5：力学4 円運動・振動運動などの周期的運動	1) 円運動の運動方程式を記述する。 2) バネによる振動運動を記述する。 3) 振動周期と振動数の関係を説明する。
5月26日	小野 裕明	ユニット6：力学5 仕事とエネルギー	1) 仕事とエネルギーの関係を説明する。 2) 位置と運動のエネルギーを記述する。 3) 力学的エネルギーの保存を説明する。 4) エネルギーの変換を説明する。
6月2日	小野 裕明	ユニット7：力学6 慣性力と遠心力	1) 慣性力を説明する。 2) 遠心力を説明する。 3) 遠心分離器の原理を説明する。
6月9日	小野 裕明	ユニット8：波動1 波の性質と反射・屈折・回折	1) 波の基本的な性質を理解する。 2) 波の反射を説明する。 3) 波の屈折現象を説明する。 4) ホイヘンスの原理を用いて波の回折を説明する。
6月16日	小野 裕明	ユニット9：波動2 波の重ね合わせと干渉	1) 波の重ね合わせを理解する。 2) ノイズキャンセリングの仕組みを説明する。 3) 波の回折と干渉現象を説明する。 4) 光の干渉を説明する。
6月23日	小野 裕明 ※5限目	ユニット10：波動3 音波と光波	1) 音波と光波の性質を理解する。 2) ドップラー効果を理解し、超音波検査の仕組みを説明する。 3) 光のスペクトルを説明する。 4) レーザーの仕組みを説明する。
6月30日	小野 裕明	ユニット11：熱力学1 熱と温度	1) 熱と温度の関係を説明する。 2) 気体の熱変化を説明する。 3) 気体の状態方程式を記述する。
7月7日	小野 裕明	ユニット12：熱力学2 熱伝導と熱放射	1) 物質の熱膨張を理解する。 2) 物質の熱伝導を理解する。 3) 物体からの熱放射を理解する。 4) 地球の熱収支について説明する。
7月14日	小野 裕明	ユニット13：熱力学3 熱力学第一法則と熱機関・熱効率	1) 熱力学第一法則を説明する。 2) 熱機関での熱の移動と仕事の関係を説明する。 3) 熱機関の熱効率を理解する。 4) ヒートポンプの仕組みを理解する。

数学（遠隔授業）

月曜日 14:50~16:20

本学期的学習目標（GIO）

歯科医師の素養として不可欠な論理的思考力と深い洞察力を身につけるために、基礎的数学知識を再確認し、数学・統計手法を用いて様々な事象を定量的に表現・評価する方法を習得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
Michael Harris（著）, Jacquelyn Taylor（著）, Gordon Taylor（著）, 長谷川 政美（翻訳）	生命科学・医科学のための数学と統計		東京化学同人
	高等学校 数学I・A・II・B・III 教科書・参考書		
加藤文元 監修／数研出版編集部 編著	チャート式シリーズ 大学教養 微分積分		数研出版
加納克己, 高橋秀人	基礎医学統計学	6	南江堂

担当者一覧

小野裕明

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☐ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [50%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（授業態度, 遅刻, 欠席を含む）[減点式]
 ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：月曜日 昼休み 12:10~13:10

場所：Zoom

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月7日	小野 裕明	ユニット1：歯科医に必要な数学	1) 高等学校まで学んだ数学知識を再確認する。 2) 基本的な数学公式の定義を再確認し説明する。 3) 素数とその応用を説明する。 4) 歯科医に必要な数学素養を理解する。
4月14日	小野 裕明	ユニット2：三角関数とベクトル	1) 三平方の定理と三角関数を説明する。 2) 三角関数の規則を記述する。 3) ラジアンでの角度の表現を説明する。 4) ベクトルの基本的な特徴と加減法を説明する。
4月21日	小野 裕明	ユニット3：指数と対数	1) 累乗の規則を説明する。 2) 対数の規則を説明する。 3) 指数関数, 対数関数を用いてデータや自然現象を表現する。 4) 指数的增加・減少傾向を示す事象を説明する。
5月12日	小野 裕明	ユニット4：導関数と微分	1) 関数の極限を説明する。 2) 導関数を導出して関数を微分する。 3) 様々な微分の規則を記述する。 4) 導関数の極値と最大・最小の関係を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月19日	小野 裕明	ユニット5：微分と積分	1) 微分と積分の関係を説明する。 2) 積分とグラフの面積の関係を説明する。 3) 様々な関数の積分計算を行う。 4) 自然現象と積分の関係を説明する。
5月26日	小野 裕明 ※5限目	ユニット6：微分方程式と偏微分	1) 微分方程式を積分して一般解を求める。 2) 微分方程式と自然現象の関係を説明する。 3) 2変数の微分を偏微分で計算する。 4) 全微分と誤差の伝播の関係を記述する。
6月2日	小野 裕明	ユニット7：数列と級数	1) 等差数列と等比数列を説明する。 2) 数列の極限と極限値を記述する。 3) 無限級数の収束と発散を説明する。 4) 自然現象とフィボナッチ数列の関係を説明する。
6月9日	小野 裕明	ユニット8：関数の収束・発散と級数展開	1) 関数の収束・発散を説明する。 2) 関数を級数展開する。 3) テイラー展開・マクローリン展開を説明する。
6月16日	小野 裕明	ユニット9：身の回りの統計	1) 身の回りで用いられる統計手法を理解する。 2) 統計処理の手順を説明する。 3) バイアスの除去について理解する。 4) EBMについて説明する。
6月23日	小野 裕明	ユニット10：単位と単位換算	1) 国際単位系で定義される単位を列挙する。 2) 単位を他の単位に変換する。 3) 国際単位系の接頭語を活用する。 4) 組立単位を基本単位で記述する。
6月30日	小野 裕明	ユニット11：集合・組み合わせと確率	1) 事象の場合分けを行う。 2) 順列や組み合わせを説明する。 3) 集合の表し方を説明する。（ド・モルガンの法則） 4) 確率の基礎を説明する。
7月7日	小野 裕明	ユニット12：平均・分散と標準偏差	1) 算術平均と加重平均の違いを理解する。 2) 分散・標準偏差の意味を理解する。 3) データのばらつきを定量的に評価する。 4) 中心値・平均値・最頻値の違いを理解する。
7月14日	小野 裕明	ユニット13：確率分布と正規分布	1) ガウス分布と中心極限定理を説明する。 2) 様々な確率分布（二項分布・ポアソン分布）を説明する。 3) 正規分布の特徴を説明する。 4) 正規分布の広がりや標準偏差の関係を説明する。

病院医療概論（病院実習）

火曜日 9:00～10:30

本学期的学習目標（GIO）

歯学生としての自覚と心構えを身につけるために医療現場を体験修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

病院医療概論担当

病院医療概論の手引き

担当者一覧

内川喜盛, 柵木寿男, 高橋賢晃, 小倉 晋, 宇佐見智里, 合場奈美, 高橋彬文, 中山竣太郎, 小柳圭史, 三枝慶祐, 勝海伶一, 大野 慶, 大澤銀子, 加藤智崇, 小玉美也子, 山本陸矢, 美濃直輝, 齋藤敦史, 石田鉄光, 石川結子, 山瀬 勝, 原 節宏, 我妻由梨, 岡山浩美, 藤城建樹, 三枝知美, 村松健司, 白瀬敏臣, 芦澤みなみ, 亀岡 亮, 宮下 渉, 窪田大祐, 土井百合香, 内川菜摘, 杉山裕哉, 藤原由梨, 田中実生子, 安田麻子, 阿部恵一, 今井智明, 小谷田貴之, 小林清佳, 酒井有沙, 林 宗廣, 岩田 洋, 齋藤圭輔, 落合絵里子, 飯島孝守, 芝崎雅一, 渡邊友介

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説（デモンストレーション） ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む） ☒ 実習
☒ その他（見学）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

- ☐ 客観試験 [--%] ☐ 論述試験 [--%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☒ 観察記録 [100%]
☒ 態度（授業態度, 遅刻, 欠席を含む）[減点式] ☒ その他（服装, 頭髪, 髪の毛の色等 [減点式]）

オフィスアワー

日時：月曜日～金曜日 16:00～17:00

場所：附属病院1階病院事務部総務課窓口問合せて、病院医療概論担当者内川喜盛に連絡

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SBOs）
4月8日	内川 喜盛	ユニット1：病院医療概論実習ガイド ス	1) 身だしなみについて説明する。(PR-01, E-2-1-1-1) 2) 患者さんとの対応について述べる。 (PR-02, E-2-1-1-1) 3) 病院内で遵守する規則について述べる。 (PR-02, 03) 4) 集合場所を把握する。(PR-03)
	柵木 寿男	ユニット2：ハnadスキル実習ガイド ス	1) ハnadスキル実習の重要性を説明する。(PR-04) 2) ハnadスキル実習の主旨を具体的に述べる。 (PR-04)
	高橋 賢晃	ユニット3：歯科における言語・摂食嚥 下リハビリテーションと地域連携 ※4月8日は全員（奇数・偶数とも）9時 に141講堂に集合	1) 多摩クリニックの地域における役割を説明する。 (IP-02, S0-03) 2) 患者やその家族の抱えている思いを感じる。 (PR-01, PR-02, CM-01) 3) 患者やその家族への適切な対応を知る。 (PR-01, PR-02, CM-01)
4月15日 5月15日	総合診療科1 中山竣太郎	ユニット4：診療の流れ	1) 診療室の流れを説明する。(PR-01, CM-02) 2) 健康調査票を記入する。(CS-01, CM-01)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月15日 ～ 7月15日	総合診療科2 高橋 彬文	ユニット5：術前診査	1) 歯の色をシェードガイドにて記録する。 (E-5-3-4-1-6) 2) 歯の色をデジタルカメラにて記録する。 (E-5-3-4-1-6) 3) 歯の色を測色計にて記録する。(E-5-3-4-1-6) 4) 歯の色調について評価する。(E-5-3-4-1-6)
4月15日 ～ 7月15日	総合診療科3 大澤 銀子	ユニット6：歯冠研磨	1) 口腔衛生管理の重要性について述べる。 (D-5-1-3, E-5-2-1) 2) 歯科用ユニットを安全に操作する。(E-1-1-1) 3) 歯冠研磨処置を実施する。(E-5-2-3)
4月15日 ～ 7月15日	総合診療科4 石田 鉄光 石川 結子	ユニット7：印象採得	1) アルジネート印象材を用いて上顎の印象採得を実施する。(B-2-2) 2) 印象に石膏を注入し模型製作を実施する。(B-2-2)
4月15日 ～ 7月15日	口腔外科 藤城 建樹	ユニット8：口腔外科の臨床について	1) 院内感染対策を説明する。(PS-09, A-4-1) 2) 医療面接について説明する。(PR-02, D-2-1) 3) 外来診療ならびに手術を見学する。(PS-06, D-3-1) 4) 入院に必要な設備を説明・見学する。(PS-07, B-3) 5) 周術期における多職種連携の重要性を理解する。 (IP-01, C-1-3)
4月15日 ～ 7月15日	小児歯科 村松 健司	ユニット9：小児歯科診療の特徴	1) 小児の特徴を理解する。(GE-03, D-2-1-2-1) 2) 小児患者と接することを体験する。 (CM-03, D-2-1-2-3) 3) 口腔内の清掃法を説明する。(D-5-6-1) 4) 小児歯科診療の特徴を理解する。 (A-3-4-1, D-5-6-2) 5) 小児の診療室での対応を実施する。 (CM-03, E-2-1-2-2)
4月15日 ～ 7月15日	矯正歯科 宮下 渉	ユニット10：口腔内写真の撮影	1) 矯正診断に必要な資料を列举する。(D-5-5-3) 2) 口腔内写真の撮影手順を説明する。(D-2-2-2) 3) 患者頭位や撮影姿勢を工夫する。(E-5-1-2) 4) 痛みが生じないように口角鉤を操作する。 (E-2-2-3) 5) 口腔内写真撮影を実施する。(E-2-2-3) 6) 口腔内写真の撮影結果を評価する。(E-2-2-4)
4月15日 ～ 7月15日	歯科麻酔・ 全身管理科 安田 麻子	ユニット11：歯科麻酔の臨床と全身管理	1) 歯科治療時の患者管理・麻酔管理について説明する。 (D-1-2) 2) 生体情報を理解する。(D-2-3, D-2-3-2) 3) 全身状態の観察（バイタルサイン）を生体モニターを用いて体験する。(D-2-3-3) 4) 歯科麻酔の臨床を見学する。(PR-01)
4月15日 ～ 7月15日	放射線検査室 林 宗廣	ユニット12：エックス線撮影	1) 歯科で利用されるエックス線撮影について説明する。 (C-2-5-5) 2) 放射線の有用性について説明する。(C-2-5-5) 3) 放射線の人体への影響について説明する。 (C-2-5-2)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月15日 5月15日	歯科技工室 落合絵里子	ユニット13：歯科精密鑄造	1) 鑄造法（ロストワックス法）の利点について述べる。（B-3-1） 2) ロウ形成を体験する。（B-3-1） 3) 合金の融解方法を体験する。（B-3-1） 4) 鑄造体の研磨を体験する。（B-3-1）
	小倉 晋	ユニット14：歯科インプラント	1) 歯の喪失について説明する。（E-3-4）-（2）-① 2) 欠損補綴について説明する。（E-3-4）-（1）-① （E-3-4）-（2）-① 3) 歯科インプラント治療について説明する。 （E-3-4）-（3）-①
7月22日	内川 喜盛 柵木 寿男	ユニット15：総括／アンケート ※7月22日は全員（奇数・偶数とも）9時に141講堂に集合	1) 病院医療概論実習の重要性を述べる。 2) ハンドスキル実習の必要性を説明する。

火曜日 9:00~10:30

本学期の学習目標 (GIO)

歯学生としての自覚と心構えを身につけるために医療現場を体験修得する。

歯科医療に要求される精密な手技を適確に行うために、物造りで行う基本的な手指の使い方を理解し、正確な作業を行うための初歩的・基本的な技術および技能を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社

担当者一覽

柵木寿男, 内川喜盛, 高橋賢晃, 前田宗宏, 西田太郎, 関谷美貴, 三枝慶祐, 新井一仁, 鈴木章弘, 柗木啓佑,
馬場龍一, 村樫悦子, 五十嵐寛子, 前野雅彦, 河本 芽, 中澤美和, 杉山怜央, 里見貴史, 澁井武夫, 稲田 諒,
砂田勝久, 塩谷伊毅, 篠原健一郎, 筒井友花子, 酒井有沙, 島村直宏, 小林清佳

各分野担当インストラクター

學習方略

☐ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☒ 実習

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☐ 客観試験 [--%]	☐ 論述試験 [--%]	☐ 口頭試験 [--%]	☐ レポート [--%]
☒ ポートフォリオ [20%]	☐ シミュレーションテスト [--%]	☐ 実地試験 [--%]	☒ 観察記録 [80%]
☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む） [減点式] ☐ その他（ [--%] ）			

オフィスアワー

日時：実習講義終了後

場所：各ユニット担当者から提示

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月8日	内川 喜盛	ユニット1：病院医療概論実習ガイドンス	1) 身だしなみについて説明する。(PR-01, E-2-1-1-1) 2) 患者さんとの対応について述べる。 (PR-02, E-2-1-1-1) 3) 病院内で遵守する規則について述べる。 (PR-02, 03) 4) 集合場所を把握する。(PR-03)
	柵木 寿男	ユニット2：ハnadスキル実習ガイドンス	1) ハnadスキル実習の重要性を説明する。(PR-04) 2) ハnadスキル実習の主旨を具体的に述べる。 (PR-04)
	高橋 賢晃	ユニット3：歯科における言語・摂食嚥下リハビリテーションと地域連携 ※4月8日は全員（奇数・偶数とも）9時に141講堂に集合	1) 多摩クリニックの地域における役割を説明する。 (IP-02, SO-03) 2) 患者やその家族の抱えている思いを感じる。 (PR-01, PR-02, CM-01) 3) 患者やその家族への適切な対応を知る。 (PR-01, PR-02, CM-01)
4月15日	西田 太郎	ユニット4（偶数）：ミラーテクニック	1) ミラーテクニックを簡単に説明する。(PR-04) 2) ミラーを用い対象物を観察する。(PR-04) 3) ミラーを用い図形に応じて描写する。(PR-04)
4月22日	西田 太郎	ユニット5（奇数）：ミラーテクニック	1) ミラーテクニックを簡単に説明する。(PR-04) 2) ミラーを用い対象物を観察する。(PR-04) 3) ミラーを用い図形に応じて描写する。(PR-04)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月13日	栃木 啓佑	ユニット6（偶数）：金属線の屈曲	1) 矯正用ワイヤーの用途と機械的特性を説明する。(B-2-4) 2) プライヤーを用いて金属線を任意の形態に屈曲する。(D-5-5-4)
5月20日	栃木 啓佑	ユニット7（奇数）：金属線の屈曲	1) 矯正用ワイヤーの用途と機械的特性を説明する。(B-2-4) 2) プライヤーを用いて金属線を任意の形態に屈曲する。(D-5-5-4)
5月27日	村樫 悦子	ユニット8（偶数）：器具を用いた把持法	1) ピンセットにて的確に把持する。(PR-04) 2) グローブ着用下にてピンセットで的確に把持する。(PR-04) 3) グローブの有無での把持の違いを理解する。(PR-04)
6月3日	村樫 悦子	ユニット9（奇数）：器具を用いた把持法	1) ピンセットにて的確に把持する。(PR-04) 2) グローブ着用下にてピンセットで的確に把持する。(PR-04) 3) グローブの有無での把持の違いを理解する。(PR-04)
6月10日	里見 貴史	ユニット10（偶数）：紐の結び方・縫合法	1) 縫合を簡単に説明する。(D-5-4-3) 2) 縫合糸の種類を列挙する。(B-2-6, D-5-4-3) 3) 各種縫合法（男結び、女結び、外科結び）を実施する。(E-5-3-5-4)
6月17日	里見 貴史	ユニット11（奇数）：紐の結び方・縫合法	1) 縫合を簡単に説明する。(D-5-4-3) 2) 縫合糸の種類を列挙する。(B-2-6, D-5-4-3) 3) 各種縫合法（男結び、女結び、外科結び）を実施する。(E-5-3-5-4)
6月24日	柵木 寿男	ユニット12（偶数）：紫外線重合レジン の加工	1) 紫外線重合レジンを簡単に説明する。(B-2-1) 2) 歯科用ピンセットの適切な使用法を模倣する。(PR-04) 3) 微小物の適切な把持法を実施する。(PR-04)
7月1日	柵木 寿男	ユニット13（奇数）：紫外線重合レジン の加工	1) 紫外線重合レジンを簡単に説明する。(B-2-1) 2) 歯科用ピンセットの適切な使用法を模倣する。(PR-04) 3) 微小物の適切な把持法を実施する。(PR-04)
7月8日	酒井 有沙	ユニット14（偶数）：針の刺入	1) 局所麻酔法を説明する。(D-1-2-1-5) 2) 注射器を組み立てる。(D-1-2-1-5) 3) 針の刺入を実施する。(D-1-2-1-5)
7月15日	島村 直宏	ユニット15（奇数）：針の刺入	1) 局所麻酔法を説明する。(D-1-2-1-5) 2) 注射器を組み立てる。(D-1-2-1-5) 3) 針の刺入を実施する。(D-1-2-1-5)
7月22日	小倉 晋	ユニット16：歯科インプラント	1) 歯の喪失について説明する。(E-3-4)-(2)-① 2) 欠損補綴について説明する。(E-3-4)-(1)-① (E-3-4)-(2)-① 3) 歯科インプラント治療について説明する。(E-3-4)-(3)-①)
	内川 喜盛 柵木 寿男	ユニット17：総括／アンケート ＊7月22日は全員（偶数・奇数とも）9時に141講堂に集合	1) 病院医療概論実習の重要性を述べる。 2) ハンドスキル実習の必要性を説明する。

病院医療概論（多摩クリニック見学実習）

土曜日 8:45～17:00

本学期的学習目標（GIO）

歯学生としての自覚と心構えを身につけるために医療現場を体験修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
多摩クリニック実習担当	口腔リハビリテーション多摩クリニック実習マニュアル	第1版	医歯薬出版株式会社
菊谷 武著	チェアサイド オーラルフレイルの診かた 第2版 保険対応！歯科医院で気づく、対応する口腔機能低下症 詳しくわかる動画付き	第1版	医歯薬出版株式会社
菊谷 武編著， 高橋賢晃・戸原 雄 他著	歯科が活躍するミールラウンド&カンファレンス 高齢者の「噛めない」「食べない」に訪問診療で取り組むためのガイドブック	第1版	医歯薬出版株式会社
金子芳洋，菊谷 武監修 田村文誉，楊 秀慶 他著	上手に食べるために一発達を理解した支援一	第1版	医歯薬出版株式会社

担当者一覧

高橋賢晃，内川喜盛，菊谷 武，山田裕之，佐藤路子，戸原 雄，宮下直也，保母妃美子，磯田友子，仲澤裕次郎，田中公美，加藤陽子，市川陽子，坂詰智仁，青嶋美紀，田村文誉

学習方略

☐ 講義 ☐ 示説（デモンストレーション） ☐ グループワーク（PBL，TBLを含む） ☒ 実習
☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☐ 客観試験 [一%] ☐ 論述試験 [一%] ☐ 口頭試験 [一%] ☒ レポート [100%]
☐ ポートフォリオ [一%] ☐ シミュレーションテスト [一%] ☐ 実地試験 [一%] ☐ 観察記録 [一%]
☒ 態度（授業態度，遅刻，欠席を含む） [減点式] ☐ その他（ [一%] ）

オフィスアワー

多摩クリニック

日時：月曜日～火曜日・木曜日～土曜日 17:00～18:00

場所：多摩クリニック 1階事務問合せて，多摩クリニック担当者高橋賢晃に連絡。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月12日～1月17日	高橋 賢晃	ユニット1：地域包括ケアシステムにおける歯科の関わり	1) 患者とその家族とのコミュニケーションを実施する。 2) 要介護患者の摂食嚥下リハビリテーションの実態を説明できる。 3) 地域医療と多職種連携を経験する。 4) 病診連携，病病連携を経験する。

実習の注意事項 ☆詳細は「多摩クリニック実習マニュアル」を参照

*実習期間：2025年4月12日（土）～2026年1月17日（土）まで

- 1) 4月12, 19日，5月10, 17, 24, 31日，6月7, 14, 21日，7月5, 12, 19日，9月27日，10月4, 18, 25日，11月15, 22日，12月6, 13, 20日，1月17日
- 2) 上記の1) 日程のいずれかで1回の実習を義務付ける。やむを得ない日程変更は受け付けるが，できる限り変更は避けるようにする。

◎集合場所：日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック 1階受付前
〒184-0011 東京都小金井市東町4-44-19 JR 中央線 東小金井駅 南口駅前

◎登院時の服装：スーツ，革靴（サマータイムはクールビズ対応）

◎クリニック内または歯科訪問診療時の服装等：白・紺・黒のポロシャツ（無地）
冬季は上着の着用可（無地）
チノパン，院内靴
名札着用，白衣は不可（不要）
華美でない髪型・化粧とし，アクセサリーは付けない
服装等が適当でない場合は実習中止

☆事前に多摩クリニック実習マニュアルを熟読すること（Moodle上）。

◎費用：交通費 自己負担

本学期的学習目標 (GIO)

これまで十分に化学を学習していない学生に対して、医療系で必要とされる化学の基礎的内容について修得する。さらに生化学・生理学・薬理学などの歯科基礎分野を理解する上で必要な有機化学の基本的事項を中心に修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
野島高彦	医療・看護系のための やさしく学ぶ化学	第1版	裳華房
齋藤勝浩	メディカル化学	改訂版	裳華房

担当者一覧

戸円智幸

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [50%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 毎週水曜日 15:00~17:00

場所: 本館6階 化学

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月8日	戸円 智幸	ユニット1: 原子, 元素, 周期表	1) 原子の構造について説明する。 2) 元素記号の表し方について説明する。 3) 陽イオンと陰イオンについて説明する。 4) 元素の周期表がもつ周期性について説明する。 5) 元素の族とその性質について説明する。
4月15日	戸円 智幸	ユニット2: 物質と化学反応式	1) 物質であるモル (mol) とモル質量について説明する。 2) 原子量, 分子量および式量について説明する。 3) アボガドロの法則について説明する。 4) 密度と比重について説明する。 5) 化学式, 分子式, 組成式について説明する。 6) 化学反応式の書き方について説明する。 7) 化学反応計算について説明する。
4月22日	戸円 智幸	ユニット3: 溶液の濃度	1) 単位の接頭語を説明する。 2) パーセント (%) 濃度の計算方法を説明する。 3) 含有率 (ppm, ppb) について説明する。 4) モル濃度 (mol/L) について説明する。 5) 溶液のモル濃度の計算を説明する。 6) 溶液の希釈と調整方法について説明する。
5月13日	戸円 智幸	ユニット4: 化学反応速度と化学平衡	1) 活性錯体と活性化エネルギーについて説明する。 2) 反応速度に影響を与える要素と反応速度定数について説明する。 3) 触媒について説明する。 4) 平衡状態と化学平衡の法則について説明する。 5) ルシャトリエの原理について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月20日	戸円 智幸	ユニット5：酸と塩基，中和反応	1) 酸と塩基の定義について説明する。 2) 電解質と電離度について説明する。 3) 水素イオン指数（pH）とpHの公式を説明する。 4) 溶液中のpHの計算方法を説明する。 5) 中和滴定の方法を説明する。 6) 指示薬について説明する。 7) 中和の公式について説明する。
5月27日	戸円 智幸	ユニット6：化学結合と混成軌道	1) 電子の軌道を説明する。 2) s, p軌道を説明する。 3) sp, sp ² , sp ³ 混成軌道を説明する。 4) σ 結合と π 結合の違いを説明する。 5) イオン結合，共有結合，金属結合，配位結合と分子間力について説明する。 6) 電気陰性度と分極について説明する。
6月3日	戸円 智幸	ユニット7：アルカン，アルケン，アルキンの構造と性質	1) 鎖式炭化水素であるアルカン，アルケン，アルキンの構造と性質について説明する。 2) IUPAC命名法について説明する。 3) アルキル基について説明する。
6月10日	戸円 智幸	ユニット8：ハロゲン化アルキルの構造と性質および反応機構	1) ハロゲン化アルキルの種類と命名法を説明する。 2) 誘起効果（I-効果）について説明する。 3) 求核試薬と求核置換反応（S _N 2反応）を説明する。 4) S _N 2反応の立体障害について説明する。 5) 求核脱離反応（E2反応）を説明する。 6) Saytzeff則を説明する。
6月17日	戸円 智幸	ユニット9：アルケンの幾何異性体と反応機構	1) アルケンの二重結合の様式を説明する。 2) Cahn-Ingold-Prelog 順位則を説明する。 3) アルケンの幾何異性体 E, Z 表記を説明する。 4) 求電子試薬とアルケンの求電子付加反応について説明する。 5) マルコフニコフ則について説明する。 6) アルケンの酸化的開裂反応について説明する。
6月24日	戸円 智幸	ユニット10：アルコールの構造と性質および反応機構	1) アルコールの構造と性質を説明する。 2) アルコールのIUPAC命名法を説明する。 3) 第1, 第2, 第3アルコールの酸化反応を説明する。 4) カルボカチオンについて説明する。 5) アルコールの置換反応について説明する。 6) アルコールの脱離反応について説明する。
7月1日	戸円 智幸	ユニット11：カルボニル化合物の構造と性質および反応機構	1) カルボニル化合物（アルデヒド，ケトン）の構造と性質を説明する。 2) 主なカルボニル化合物について説明する。 3) カルボニル化合物のIUPAC命名法を説明する。 4) カルボニル化合物の求核付加反応を説明する。 5) Grignard（グリニャール）試薬について説明する。
7月8日	戸円 智幸	ユニット12：カルボン酸の構造と性質および反応機構	1) カルボン酸の構造と性質を説明する。 2) 主なカルボニル化合物について説明する。 3) カルボン酸のIUPAC命名法を説明する。 4) カルボン酸の酸性の強弱を構造から説明する。 5) 加酸性よるカルボン酸のpK _a 値の計算を説明する。
7月16日	戸円 智幸 *水曜日実施	ユニット13：アミン，エーテル，エステル，アミドの構造と性質 (7月15日火曜日2限目から，7月16日水曜日2限に変更＜学習法基本概論と交換＞)	1) アミンの構造と性質を説明する。 2) アミンのIUPAC命名法を説明する。 3) アミンの塩基性の強弱について説明する。 4) エーテル，エステル，アミドの構造と性質を説明する。

生物学実習

①火曜日 13 : 10～16 : 20
②木曜日 13 : 10～16 : 20

本学期的学習目標（GIO）

歯科医学の専門科目で要求される基礎力を培うために、教科書や講義だけでは理解しにくい生物体の構造や活動を、顕微鏡観察と組織解剖等により、細胞・組織・器官の各レベルで共通性・多様性をも含めて理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

日本歯科大学生物学教室編

生物学実習書

新訂3版

ミツバ総合印刷

担当者一覧

田谷雄二，戸田智幸，三橋扶佐子，堀江哲郎，井出良治，橋爪那奈，島村直宏，石黒一美，工藤朝雄，酒井有沙，村樫悦子

学習方略

- ☐ 講義 ☐ 示説（デモンストレーション） ☒ グループワーク（PBL，TBLを含む） ☒ 実習
☒ その他（事前学習）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

- ☒ 客観試験 [10%] ☐ 論述試験 [--%] ☐ 口頭試験 [--%] ☒ レポート [70%] ☐ ポートフォリオ [--%]
☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（不適切な行為，遅刻，欠席を含む） [減点式] ☒ その他（チームワーク {共通理解や協調性等} [20%]）

オフィスアワー

日時：火・木曜日 16：30～18：00

場所：病理学講座・化学教室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月8・10日	田谷 雄二	ユニット1：ガイダンスと顕微鏡操作	1) 生物学実習で習得すべき内容を列記する。 2) 顕微鏡の各部の名称を述べる。 3) 顕微鏡を正しく操作する。 4) スケッチの適切な描き方を示す。
4月15・17日	田谷 雄二	ユニット2：動物と植物の細胞の観察	1) 一時プレパラートの作製方法を説明する。 2) 擦過標本の作製方法を具体的に述べる。 3) 細胞を図に示し，各部の名称を記述する。 4) 動物と植物の細胞の相違点を述べる。
4月22・24日	田谷 雄二	ユニット3：細胞内含有物の観察	1) 葉の組織の構造を説明する。 2) 細胞質内の結晶体を図に示す。 3) 細胞質内のデンプン粒を図に示す。 4) アミラーゼによるデンプン分解反応を評価する。
5月8・13日	田谷 雄二	ユニット4：原形質流動と原形質分離	1) 植物細胞での原形質流動を観察する。 2) 原形質流動の仕組みを説明する。 3) 植物細胞での原形質分離を観察する。 4) 原形質分離と原形質復帰の仕組みを述べる。
5月15・20日	田谷 雄二	ユニット5：ユスリカ唾液腺の巨大染色体とパフの観察	1) ユスリカ幼虫の唾液腺を観察する。 2) 唾液腺染色体のプレパラート作製法を述べる。 3) 巨大染色体とパフを図に示す。 4) 染色体が巨大になる仕組みとパフについて説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5 月 22 27 日 日	田谷 雄二	ユニット6：細胞分裂と染色体の観察	1) 発芽した小ネギの根端細胞のプレパレート作製法を述べる。 2) 根端細胞の体細胞分裂過程の染色体を観察する。 3) 体細胞分裂の各時期を識別する。 4) 根端細胞をカウントし、細胞周期（細胞分裂期と間期）の時間を推測する。
5 6 月 月 29 3 日 日	田谷 雄二	ユニット7：血液細胞の形態観察	1) 塗抹標本の作製法を説明する。 2) 哺乳類と両生類の血球を比較する。 3) 顆粒球や単球，リンパ球系の白血球の細胞形態を類別する。 4) 哺乳類と両生類の赤血球の形状を比較する。
6 月 5 10 日 日	田谷 雄二	ユニット8：皮膚と口腔粘膜の組織観察	1) ヘマトキシリンとエオジンで染色された永久プレパレートの観察法を習熟する。 2) 皮膚表皮と口腔粘膜上皮の組織標本を観察し，図に示す。 3) 上皮組織と結合組織を識別する。 4) 皮膚と口腔粘膜の組織構造の違いを比較する。
6 月 12 17 日 日	田谷 雄二	ユニット9：筋組織の観察	1) 骨格筋の組織構造を説明する。 2) 平滑筋の組織構造を説明する。 3) 心筋の組織構造を説明する。 4) 骨格筋・平滑筋・心筋の組織構造を識別する。
6 月 19 24 日 日	田谷 雄二	ユニット10：脳組織と末梢神経の観察	1) 鳥類の脳を解剖する。 2) 鳥類の脳の構造を説明する。 3) 哺乳類の脳の組織標本を観察する。 4) 脳内の神経核と末梢神経軸索の組織構造を図に示す。
6 7 月 月 26 1 日 日	田谷 雄二	ユニット11：ウェーバーの法則（左右の手の重さの感覚）	1) ウェーバーの法則について説明する。 2) 秤の使い方を述べる。 3) グラフの書き方を説明する。 4) レポートの書き方を評価する。
7 月 3 8 日 日	田谷 雄二	ユニット12：臓器の組織観察	1) 肺の組織構造を説明する。 2) 腎の組織構造を説明する。 3) 臓器内の細胞の名称と局在を示す。 4) 各種臓器の組織構造を比較する。
7 月 10 15 日 日	田谷 雄二	ユニット13：実習のまとめと振り返り	1) これまでの実習全体を振り返り，学んできたことを列記する。 2) 生物学実習で学んだ知識を評価する。 3) 生物学実習で学んだ手技を評価する。 4) 歯科医学の専門科目と関係づける。

本学期的学習目標 (GIO)

各種体育・スポーツの実践を通して、体を動かす意味、意義や自己の体の特性を理解するとともに、集団で運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
また、社会における体育・スポーツの意義や必要性を理解することで、生涯スポーツに関しての理解と実践力を身につける。
更に、社会性を涵養し、歯科医師としての豊かな人間形成をはかる。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
	適時資料の配布		

担当者一覧

中田賢一, 野口泰子, 皆川なほ子, 田島勇人, 持田慶貴

学習方略

- ☐ 講義
 ☒ 示説 (デモンストレーション)
 ☒ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☒ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価

- ☐ 客観試験
 ☐ 論述試験
 ☐ 口頭試験
 ☐ レポート
 ☐ ポートフォリオ
 ☐ シミュレーションテスト
 ☐ 実施試験
 ☒ 観察記録[100%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ()

オフィスアワー

日時: 授業実施日の毎週火・木曜日授業終了後 (16:20~16:50)
場所: 体育館3階体育教員室もしくは本館1階教務・学生部

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月 8 10 日 日	中田 賢一	ユニット1: 大学教育と体育・スポーツ学	1) 体育科教育と大学体育教育について説明する。 2) 体育学の学術体系や方法論を説明する。 3) 余暇活動と体育・スポーツを説明する。
運動に適した服装で体育館に集合すること。(次回以降も同様)			
4月 15 17 日 日	中田 賢一	ユニット2: ドッジビー①	1) ニュースポーツの有効性を説明する。 2) ディスクの投法と安全性を説明する。 3) 基本的なルールを説明する。
4月 22 24 日 日	中田 賢一	ユニット3: ドッジビー②	1) 安全なプレイスタイルを説明する。 2) 円滑なリーグ戦を説明する。 3) リーグ戦の運営を説明する。
5月 8 13 日 日	中田 賢一	ユニット4: インディアカ①	1) ボール感覚, コート感覚, 安全を説明する。 2) 基本的な打法を説明する。 3) ルール・ゲームの展開方法を説明する。
5月 15 20 日 日	中田 賢一	ユニット5: インディアカ②	1) 場面に応じた打法を説明する。 2) チームの特性を生かしたゲーム展開を説明する。 3) リーグ戦の運営方法を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月 22 27 日 日	中田 賢一	ユニット6：卓球①	1) ボール感覚，テーブル感覚，安全面を説明する。 2) ラリーの方法を説明する。 3) ゲームの展開方法を説明する。
5月 29 3 日 日	中田 賢一	ユニット7：卓球②	1) 基本的なルールを説明する。 2) 特性に応じたゲーム展開を説明する。 3) リーグ戦の各種方法論を説明する。
6月 5 10 日 日	中田 賢一	ユニット8：バドミントン①	1) シャトル感覚，コート感覚，安全面を説明する。 2) ストロークの方法を説明する。 3) ゲームの展開方法を説明する。
6月 12 17 日 日	中田 賢一	ユニット9：バドミントン②	1) ダブルスの戦略を説明する。 2) 特性に応じたゲームの展開を説明する。 3) リーグ戦の各種方法論を説明する。
6月 19 24 日 日	中田 賢一	ユニット10：スポーツストレッチ①	1) 筋の柔軟性について説明する。 2) ストレッチの有効性を説明する。 3) けがの予防とストレッチとの関係を説明する。
6 7月 26 1 日 日	中田 賢一	ユニット11：スポーツストレッチ②	1) スポーツとストレッチの関係を説明する。 2) 競技特性とストレッチの関係を説明する。 3) セルフ・ペアでのストレッチングプログラムを説明する。
7月 3 8 日 日	中田 賢一	ユニット12 スポーツと測定①	1) 体力測定の概観を説明する。 2) 測定の意味と意義について説明する 3) 測定結果の検証，考察の方法を説明する。
7月 10 15 日 日	中田 賢一	ユニット13：救急法実技	1) 医学・歯学・体育学の関係を説明する。 2) 一次救命処置(basic life support <BLS>)を説明する。 3) 心肺蘇生の方法を説明する。

国語表現

水曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

国語（日本語）は、社会生活の基本であるコミュニケーションを成立させるものであり、あらゆる知的活動の基盤をなすものである。また、社会における様々な環境や変化に応じた国語力も求められる。この観点から、国語（日本語）の特徴や正しい運用法を理解しながら、将来の歯科医師として、また、責任ある社会人として必要な国語の表現力を修得する。前学期は、主に基礎力の養成に主眼を置く。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
-------	----	---	-----

毎回、プリントを配布する。

※参考書等は随時指示する。

担当者一覧

小原佳那子

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☒ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☐ 実習
 ☒ その他（問題演習・演習時の発表）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

- ☒ 客観試験 [35%]
 ☒ 論述試験 [45%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む） [減点式]
 ☒ その他（課題、リアクションペーパー [20%]）

オフィスアワー

日時：授業終了後

場所：授業後の教室・本館1階非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
4月16日	小原佳那子	ユニット1：日本語の特徴1	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。
4月23日	小原佳那子	ユニット2：日本語の特徴2	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。
5月7日	小原佳那子	ユニット3：日本語の特徴3	1) 日本語の言語学上の分類を説明する。 2) 日本語の表現の特徴を説明する。 3) 日本語の運用上の問題点を説明する。
5月14日	小原佳那子	ユニット4：敬語表現1	1) 待遇表現について説明する。 2) 敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について説明する。
5月21日	小原佳那子	ユニット5：敬語表現2	1) 待遇表現について説明する。 2) 敬語の種類（尊敬語・謙譲語・丁寧語）について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月28日	小原佳那子	ユニット6：敬語表現3	1) 様々な環境における敬語の運用（尊敬語・謙讓語・丁寧語）について説明する。 2) 敬語の誤用について説明する。
6月4日	小原佳那子	ユニット7：敬語表現4	1) 様々な環境における敬語の運用（尊敬語・謙讓語・丁寧語）について説明する。 2) 敬語の誤用について説明する。
6月11日	小原佳那子	ユニット8：日本語リテラシー	1) 日本語の文章読解の際の注意点を説明する。 2) 日本語の文章記述の際の注意点を説明する。 3) 日本語の文章読解の実際を説明する。 4) 日本語の文章記述の実際を説明する。
6月18日	小原佳那子	ユニット9：文章要約の基礎演習1	1) 文章要約の実際の例を説明する。 2) 文章要約に必要な技術を説明する。
6月25日	小原佳那子	ユニット10：文章要約の基礎演習2	1) 文章要約の実際の例を説明する。 2) 文章要約に必要な技術を説明する。
7月2日	小原佳那子	ユニット11：文章作成の基礎演習1	1) 優れた客観的文章の例を説明する。 2) 客観的文章の書き方を説明する。
7月9日	小原佳那子	ユニット12：文章作成の基礎演習2	1) 優れた客観的文章の例を説明する。 2) 客観的文章の書き方を説明する。
7月16日	小原佳那子	ユニット13：国語表現総括	1) これまでの学習内容を確認し、現代社会において国語を適切に運用し表現するための知識を整理して説明する。

学習法基本概論

水曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学の基礎・専門的学習および生涯学習を円滑かつ確実に遂行するために、協同学習の理念と学習方法を理解するとともに、聴く・読む、物事の関連づけ、発想法、ノート・テイキング、プレゼンテーション、クリティカルシンキング、およびロジカルライティング等の基本的なスタディ・スキル能力を身につけ、今後の学習習慣の基礎を確立する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

林 創, 平山るみ 編集	クリティカルシンキング・ロジカルライティング	第9版	ベネッセi-キャリア
--------------	------------------------	-----	------------

担当者一覧

田谷雄二

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☒ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☒ その他 (事前学習)

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☐ 客観試験 [--%]
 ☐ 論述試験 [--%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☒ レポート (提出物) [70%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☒ 観察記録 (グループ討議) [30%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (不適切な行為) [減点式]

オフィスアワー

日時: 水曜日 16:30~18:00
 場所: 本館6階 病理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月16日	田谷 雄二	ユニット1: ガイダンス	1) 本授業の目的を列挙する。(PR-04, LL-01) 2) 高校と大学の授業を比較する。(PR-04, LL-01) 3) 歯科大生の特徴と心構えを記述する。(CM-04) 4) 今後6年間の学習活動を具体的に述べる。(PR-04)
4月25日	田谷 雄二	ユニット2: ノート・テイキング (4月23日水曜日2限目から, 4月25日金曜日1限目に変更<生物学と交換>)	1) 授業での傾聴と記述を関連付ける。(LL-01) 2) 話の要点やキーワードを列挙する。(PS-12) 3) 話の内容をノートに記述する。(CM-02) 4) 見やすいノートを評価する。(CM-02)
5月7日	田谷 雄二	ユニット3: 協同学習の方法	1) 協同学習について説明する。(LL-01) 2) シンク・ペア・シェア法とラウンドロビン法を習得し実施する。(CM-02) 3) グループで互恵的関係を創造する。(CM-04) 4) グループ学習の効果を評価する。(PR-04)
5月14日	田谷 雄二	ユニット4: ビジュアルリテラシー (看图) (1)	1) ビジュアルテキストの要素を列挙する。(PS-12) 2) ビジュアルテキストの構成要素を相互に関連づける。(PS-12) 3) ビジュアルテキストから発想し推察 (外挿) する。(PS-12) 4) 外挿した思考内容を記述し説明する。(LL-01)
5月21日	田谷 雄二	ユニット5: ビジュアルリテラシー (看图) (2)	1) ビジュアルテキストの要素を列挙する。(PS-12) 2) ビジュアルテキストの構成要素を相互に関連づける。(PS-12) 3) ビジュアルテキストから発想し推察 (外挿) する。(PS-12) 4) 外挿した思考内容を記述し説明する。(LL-01)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月28日	田谷 雄二	ユニット6：議論の明確化	1) 主張や根拠を示す語句・接続詞を列挙する。(RE-05) 2) 文章中の主張（結論）を述べる。(RE-05) 3) 文章中の根拠（理由）を述べる。(RE-05) 4) 議論の内容を説明する。(CM-02)
6月4日	田谷 雄二	ユニット7：隠れた前提	1) 根拠と主張の間にある飛躍について討議する。(RE-05) 2) 主張を支持するために必要な前提を列挙する。(RE-05) 3) 主張を支持するための価値観を列挙する。(RE-05) 4) 文章中の隠れた前提を推論する。(RE-05)
6月11日	田谷 雄二	ユニット8：根拠の確かさ	1) 根拠が「事実」か「意見」かを類別する。(RE-05) 2) 比較対照群の有無を指摘する。(RE-05) 3) 調査対象数の妥当性について討議する。(RE-05) 4) 影響の可能性のある他の要因を指摘する。(RE-05)
6月18日	田谷 雄二	ユニット9：ロジカルライティング（1）	1) ロジカルライティングの要素を列挙する。(RE-05) 2) ロジライトライアングルに従って文章の構成を考案し記述する。(RE-05) 3) 作成した文章と工夫した部分を説明する。(LL-05) 4) グループで文章をチェックし討議する。(LL-05)
6月25日	田谷 雄二	ユニット10：ロジカルライティング（2）	1) ロジライチャートに主張・意見・根拠を記述する。(RE-05) 2) 根拠が支えるように主張・意見を類別する。(RE-05) 3) ロジライトライアングルに従って文章を作成し評価する。(RE-05) 4) グループで文章をチェックし討議する。(LL-05)
7月2日	田谷 雄二	ユニット11：LTD 話し合い学習法（1）	1) LTD（話し合い学習法）の学び方を習得し実施する。(CM-04) 2) 事前学習として学習課題を列挙する。(RE-05) 3) 重要な用語・事項について発表し、グループで討議する。(RE-05, CM-04) 4) 少人数のグループで互恵的関係を創造する。(CM-04)
7月9日	田谷 雄二	ユニット12：LTD 話し合い学習法（2）	1) LTD（話し合い学習法）の学び方を習得し実施する。(CM-04) 2) 少人数のグループで互恵的関係を創造する。(CM-04) 3) 自己学習とグループ討論を通して新旧の知識を関連づける。(CM-04) 4) ジグソー法を用いて解答を評価する。(CM-04)
7月15日	田谷 雄二	ユニット13：総括 (7月16日水曜日2限目から、7月15日火曜日2限目に変更＜化学と交換＞)	1) グループ学習の利点を述べる。(PR-04) 2) 授業全体をふり返り、自己評価する。(PR-04, PR-06, LL-01, LL-04, RE-01) 3) 歯科大生としての心構えを記述する。(LL-01, LL-04, PR-01, PR-04) 4) 今後6年間の学習活動を具体的に述べる。(LL-01, LL-04, PR-04)

歯科医療情報学実習

水曜日 13:10~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

生涯にわたって良質の歯科医療を提供するために、ICT (Information and Communication Technology) を活用して最新の医療情報を収集・分析・評価する方法、およびモラルに則って効果的に利用する技術や表現方法を含む能力を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
石原正雄	スクラッチドリルブック	1 版	カットシステム

担当者一覧

安藤文人, 青柳有祐, 赤間亮一, 浅海利恵子, 芦澤みなみ, 新井一仁, 井坂栄作, 石川結子, 加藤雄一, 河合泰輔, 小谷田貴之, 塩谷伊毅, 菅井健一, 清野 陸, 高橋幸裕, 田代有美子, 土持 宇, 戸村香文, 能勢春奈, 前田祐貴, 三浦大輔, 山瀬 勝, 山中 幸

学習方略

☐ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☒ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [--%]
 ☐ 論述試験 [--%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☒ 実地試験 [16%]
 ☒ 観察記録 [5%]
 ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (各ユニットの課題 [79%])

オフィスアワー

日時: 水曜日 12:45
 場所: 100周年記念館 3階 パソコンルーム (担当者が実習中に告知する場合もあるので注意すること。)

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月16日	安藤 文人	ユニット1: Google Workspace/Moodleの利用法	1) 公用メールを送受信できる。 2) CC, BCCを利用できる。 3) Moodleの機能を利用できる。 4) タッチタイプを実践する。
	赤間 亮一	ユニット2: ICTを用いた遠隔共同作業の試行/タッチタイプ(1)	1) ZOOMでテレビ会議ができる。(PR-06) 2) ZOOMで画面共有ができる。(PR-06) 3) Googleドキュメントで共同作業ができる。(PR-06)
4月23日	山瀬 勝	ユニット3: 情報倫理・教育著作権 (e-learning)	1) 情報倫理に配慮する。(IT-01) 2) 著作権に関するルールを知る。(IT-01) 3) 情報を保存する上で著作権に配慮する。
	能勢 春奈	ユニット4: 図書館の利用法(1: 図書館利用法講義) / タッチタイプ(2)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
5月7日	能勢 春奈	ユニット5: 図書館の利用法(2: データベース演習 3: 図書館実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	安藤 文人	ユニット6: ヴィジュアルプログラミング(1)/タッチタイプ(3)	1) 実習書を見ながらチャレンジ1~5の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
5月14日	戸村 香文	ユニット7: 図書館の利用法(4: 図書館実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	三浦 大輔	ユニット8: ヴィジュアルプログラミング(2)/タッチタイプ(4)	1) 実習書を見ながらチャレンジ6~10の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月21日	菅井 健一	ユニット9：図書館の利用法(5：図書館実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	田代有美子	ユニット10：ヴィジュアルプログラミング(3)／タッチタイプ(5)	1) 実習書を見ながらチャレンジ11～16の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
5月28日	清野 陸	ユニット11：図書館の利用法(6：図書館実習)	1) 図書館を利用する。(RE-05)
	塩谷 伊毅	ユニット12：ヴィジュアルプログラミング(4)／タッチタイプ(6)	1) 実習書を見ながらチャレンジ17～20の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
6月4日	能勢 春奈	ユニット13：図書館の利用法（7:図書館講義）	1) 図書館を利用する。(RE-05)
6月11日	加藤 雄一	ユニット14：ヴィジュアルプログラミング(5)／タッチタイプ(7)	1) 実習書を見ながらチャレンジ21～24の課題をできる。 2) ヴィジュアルプログラミングの指定課題をできる。 3) タッチタイプを実践する。
6月18日	青柳 有祐	ユニット15：画像処理の基礎	1) 画像の解像度，サイズについて説明する。 2) 画像リタッチソフトのコマンドを列記する。 3) 画像リタッチの技術を応用する。 4) 画像ファイルの形式を説明する。 5) 撮影した画像を適切にトリミングし，画像の明るさ・コントラスト・色合いを調整する。
	加藤 雄一	ユニット16：デザインと情報／タッチタイプ(8)	1) 歯科医療に適したデザインについて説明する。 2) タッチタイプを実践する。
6月25日	三浦 大輔	ユニット17：動画コンテンツ作成／タッチタイプ (9)	1) 動画編集ソフトを用いた編集技術を応用する。 2) 編集した動画をインターネット上にアップロードする。
7月2日	浅海利恵子	ユニット18：プレゼンテーションスライドの作成(1)	1) 文字や画像を入力し，書式を設定する。 2) 図形を作成する。 3) アニメーション効果を設定する。
	土持 宇	ユニット19：プレゼンテーションスライドの作成(2)／タッチタイプ(10)	1) 必要な情報を収集し図表を作成する。 2) テーマに沿ったプレゼンテーションスライドを作成する。
7月9日	安藤 文人	ユニット20：実習試験	1) 手元を見ないで，入力速度80文字／分以上でタッチタイプができる。
	三浦 大輔	ユニット21：ヴィジュアルプログラミング発表	1) あらかじめ推薦された学生が自身の作成したヴィジュアルプログラミングを説明する。
7月16日	高橋 幸裕	ユニット22：プレゼンテーションの実践	1) プレゼンテーションを行う。 2) プレゼンテーションを評価する。 3) タッチタイプを実践する。

生命歯学概論

木曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

生命歯学学習の意義を理解するために、歯学生として歯科医学の流れを学び、健康に暮らしていくための口腔の重要性を知る。さらに今後、臨床系科目を十分に理解するための教養・基礎系科目学習の重要性も認識する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各講義時の配付資料		
--	-----------	--	--

担当者一覧

新谷明一, 沼部幸博, 中原 貴, 池田亜紀子, 石垣佳希, 代田あづさ, 五味治徳, 柵木寿男, 梅津糸由子, 澁井武夫, 栃木啓佑, 赤間亮一, 大島克郎, 田谷雄二

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 ☐ レポート
☐ ポートフォリオ ☐ シミュレーションテスト ☐ 実地試験 ☐ 観察記録
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席, 服装, 頭髪, 髪の色を含む) [減点式] ☒ その他 (プレ・ポストテスト [10%])

オフィスアワー

日時: 講義終了後~10:40

場所: 141講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	沼部 幸博	ユニット1: 喫煙と歯科医師	1) 喫煙の全身に与える影響を列記する。(E-5-2-6) 2) 喫煙の口腔領域に与える影響を述べる。(E-5-2-6) 3) 喫煙に対する歯科医師の立場を述べる。(E-5-2-6) 4) 禁煙支援の重要性と方法を説明する。(E-5-2-6)
4月17日	中原 貴	ユニット2: 再生医療と歯の細胞バンク	1) 再生医療の意味を述べる。(RE-02, A-5-3-1) 2) 歯の幹細胞の特徴と応用法を説明する。(RE-02, RE-03, A-2-1-5, A-5-3-1) 3) 歯の細胞バンクの概要と意義を述べる。(RE-03) 4) 生命歯学に立脚した未来の歯科医療を予測する。(PR-01, PR-02, RE-03, RE-04, RE-05) 5) 生命歯学の実践にむけて、本学の学生が担うべき価値を知る。(PR-01, PR-02, RE-01, RE-03, RE-04)
4月24日	池田亜紀子	ユニット3: 歯科衛生士の役割	1) 歯科衛生士の役割分担を説明する。(C-1-3-2) 2) 保健, 医療, 福祉, 介護との連携を述べる。(C-1-3-3) 3) 歯科衛生士が担う口腔健康管理について述べる。(D-6-2-1)
5月8日	小林隆太郎	ユニット4: これからの歯科医師像	1) 口腔の健康について列記する。(CS-01) 2) 全身と口腔の健康の関係を述べる。(CS-01) 3) 歯科医業について述べる。(PR-01) 4) 歯科医師の理想像を描く。(LL-01)
5月15日	代田あづさ	ユニット5: マタニティ歯科って?	1) 妊産婦の特徴を説明する。(PR-02) 2) 妊産婦の歯科疾患の症状を述べる。(D-2-3-8) 3) 妊産婦への歯科的対応を説明する。(D-2-3-8)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月22日	五味 治徳	ユニット6：スポーツ歯科	1) スポーツマウスガードとは何かを説明する。 (D-5-1-7) 2) スポーツ外傷とスポーツ障害について説明する。 (C-5-7, D-3-1-2-1) 3) スポーツマウスガードの製作方法を述べる。 (B-3-4)
5月29日	柵木 寿男	ユニット7：歯の色を考えよう	1) 歯の色が変化する理由を説明する。(D-5-2-1-1) 2) 歯の色が与える心理的効果について説明する。 (GE-04) 3) 歯を白くする方法について具体的に述べる。 (D-5-2-2-6) 4) 歯のホワイトニングと審美歯科について述べる。 (E-5-3-1-8)
6月5日	梅津糸由子	ユニット8：子どもの歯って？	1) 小児の成長・発達を説明する。(A-2-2-2) 2) 小児の歯の萌出について説明する。 (E-2-2) 3) 小児の齲蝕の特徴を説明する。(D-5-6-1) 4) 小児の齲蝕の影響について説明する。(D-5-6-1) 5) 小児の齲蝕の予防法について説明する。 (E-5-5-2) 6) 小児患者の歯科的対応法を説明する。(E-5-5-7)
6月12日	澁井 武夫	ユニット9：口の中のがん	1) 口腔の構造と機能を述べる。(A-3-3)-1, 2, 3) 2) 腫瘍の病態・治療法を説明する。 (A-5-6)-1, 2, 4) 3) 口腔がんによる機能障害を説明する。(D-3-1-6-3) 4) インフォームド・コンセントについて説明する。 (D-4-3-1) 5) 患者背景をふまえた治療計画の立案を理解する。 (E-4-2-2)
6月19日	栃木 啓佑	ユニット10：矯正歯科治療とは？	1) 矯正歯科治療の必要性を述べる。(D-5-5-1) 2) 不正咬合とその治療法について説明する。 (D-5-5-2, 3) 3) 矯正歯科治療の流れを説明する。 (D-5-5-3)
6月26日	赤間 亮一	ユニット11：歯科技工とは？	1) 歯科技工士の業務を説明する。(C-1-3-2, D-6-2-2) 2) 補綴物のトレーサビリティを説明する。 (B-3-1, 4, C-3-1-3) 3) 歯科技工と口腔の審美性について述べる。 (B-2-1, 2, 4, 6) 4) デジタルを活用した歯科技工について述べる。 (B-3-1, 4, D-6-2-2)
7月3日	大島 克郎	ユニット12：医療保障制度	1) ユニバーサルヘルスカバレッジを説明する。 (C-7-4) 2) 社会保障制度と医療保険制度を説明する。 (C-4-3-2) 3) 医療経済について説明する。(C-4-3-3) 4) 医療保障関係法令を説明する。(C-4-3-1)
7月10日	田谷 雄二	ユニット13：生命歯学研究	1) 生命歯学研究の大切な事項を列記する。 (RE-02, RE-04, C-2-1) 2) 留学体験談から得られた気づきを列挙する。 (S0-07)

プロフェッショナルリズム 1

木曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

専門職である歯科医業を志して入学した学生が、将来国民に良質な歯科医療を生涯にわたり提供できるようになるために、歯科医療の専門従事者として意識を常に持ち続け、歯科医師としての倫理概念を理解し実行するための知識と態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
講義担当者	講義配付資料 (プリント)		

担当者一覧

菊池憲一郎, 添野雄一, 岡田智雄, 俣木志朗, 大島克郎, 小森 成, 田口正博, 稲田全規, 坂内 仁, 三井梨紗子, 久保田智也, 合瀬のり子, 若尾徳男, 水沼秀樹, 中原悦夫

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☒ その他 (講演聴講・質疑応答)

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験	☐ 論述試験	☐ 口頭試験	☒ レポート [100%]
☐ ポートフォリオ	☐ シミュレーションテスト	☐ 実地試験	☐ 観察記録
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席, 不正行為を含む) [減点式]		☐ その他	

オフィスアワー

日時: 毎週木曜日 16:30~17:30

場所: 本館 6 階 病理学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月10日	岡田 智雄	ユニット1: プロフェッショナル (プロ) とは?	1) プロフェッショナルを説明する。(A-1-3) 2) 歯科医師のプロフェッショナルリズムを説明する。(A-1-3) 3) 専門職従事者について説明する。(A-1-3) 4) プロフェッションの特性を説明する。(A-1-3) 5) プロフェッショナルとスペシャリストの違いを説明する。(A-1-3)
4月17日	俣木 志朗	ユニット2: 歯科医学教育におけるプロフェッショナルリズム	1) 歯科医師として求められる基本的な資質・能力を説明する。(A-2-2) 2) カリキュラムとは何かを説明する。(A-2-2) 3) 学習のプロセスについて説明する。(A-2-2) 4) 在学中の学習目標を定めて説明する。(A-2-2)
4月24日	大島 克郎	ユニット3: 行政機関での歯科医師のプロフェッショナルリズム	1) 厚生労働行政を説明する。(A-1-3) 2) 社会保障制度の仕組みを説明する。(B-2-2) 3) 歯科医療制度の仕組みを説明する。(B-2-1) 4) 行政機関に勤務する歯科医師の現状や役割を概説する。(B-2-1)
5月8日	小森 成	ユニット4: 歯科医療の診療報酬におけるプロフェッショナルリズム	1) 歯科医師の仕事とは何かを説明する。(B-2-2) 2) 歯科医師の持つべき意識を説明する。(B-2-2) 3) 保険の歴史と仕組みを説明する。(B-2-2) 4) 医療保険の仕組みを説明する。(B-2-2) 5) 将来像を実現するための行動目標を設定する。(A-9-1)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月15日	田口 正博	ユニット5：歯科医療における感染防止のプロフェッショナリズム	1) 歯科医療における感染予防管理の必要性を説明する。(G-1-2) 2) 歯科医師の感染防御対策について説明する。(G-1-2) 3) 在学中に学ぶ目標を列挙し説明する。(A-2-1) 4) 卒業後にどのような歯科医師になるべきかを説明する。(A-9-1)
5月22日	稲田 全規	ユニット6：歯科疾患と運動器系疾患のプロフェッショナリズム	1) 骨粗鬆症の原因，分類について説明する。(E-6) 2) 歯周病について説明する。(E-3-2) 3) 歯周病と全身疾患の関係を説明する。(E-3-3) 4) 創薬について説明する。(B-2-1)
5月29日	坂内 仁	ユニット7：国防を支える歯科医師としてのプロフェッショナリズム	1) 自衛隊（航空自衛隊）の概要及び歯科医官の勤務内容を説明する。(G-4) 2) 自衛隊員の健康管理における口腔衛生の必要性を説明する。(G-4) 3) 海外派遣や災害派遣における歯科医官の役割を説明する。(A-7-1, 2) (B-2-3)
6月5日	三井梨紗子	ユニット8：スポーツ界におけるプロフェッショナリズム	1) 目標設定と自分の行動計画の重要性を説明する。(A-9-1) 2) オリンピックでのメダル獲得に向けての練習スケジュール立案の要点を説明する。(A-2-1) 3) 歯科医師になるために，自分の行動目標を設定する。(A-2-1)
6月12日	久保田智也	ユニット9：歯科医療の経済的分析におけるプロフェッショナリズム	1) 歯科医師の仕事とは何かを説明する。(A-1-3) 2) 歯科医師の持つべき意識を説明する。(A-1-2) 3) 在学中の学習目標を定めて説明する。(A-2-1) 4) 自分の将来像について説明する。(A-9-1)
6月19日	合瀬のり子	ユニット10：歯科医師の歯科産業界におけるプロフェッショナリズム～わたしの仕事の作り方～	1) 歯科医師というプロフェッション（専門職）の多岐活用法について説明する。(A-1-3) 2) 産業界と大学人・臨床家との連携について説明する。(A-7-1) (D-1) 3) 自分の将来像について模索する。(A-9-1)
6月26日	若尾 徳男	ユニット11：災害時の歯科医師としての対応と重要性	1) 歯科医師による身元確認を説明する。(B-2-3) 2) 被災者への自治体としての支援体制の構築について説明する。(A-7-1) 3) 被災者への自治体としての口腔衛生支援について説明する。(A-7-1) 4) 身元確認や被災者への自治体としての支援体制の構築や口腔衛生支援などの関連を述べる。(B-2-3)
7月3日	水沼 秀樹	ユニット12：歯科医院開業医の歯学部学生教育におけるプロフェッショナリズム	1) 歯科医師の仕事とは何かを説明する。(A-1-3) 2) 歯科医師の持つべき意識を説明する。(A-1-2) 3) 在学中の学習目標を定めて説明する。(A-2-1) 4) 自分の将来像について説明する。(A-9-1)
7月10日	中原 悦夫	ユニット13：歯科医師のプロフェッショナリズム ～歯科医療の本質的価値～	1) 歯科医師になるために社会から学ぶべきことを説明する。(A-9-1) 2) 歯科医師の役割の変化（パラダイムシフト）を説明する。(A-1-3) 3) 歯科医師の意思決定（感性和理性の平衡）を説明する。(A-1-3)

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師を志して入学した学生が、スムーズに専門科目を履修していくために、医療系で必要となる生物学の基礎知識を修得する。また、生物学の初学者でも問題演習等をこなすことで、無理なく生物学の知識を身に付ける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
南雲 保 他	やさしい基礎生物学	改訂2版	羊土社
田村 隆明 著	医療・看護系のための生物学	改訂版	裳華房
白戸亮吉 他	生理学・生化学につながるていねいな生物学	初版	羊土社

担当者一覧

堀江哲郎, 堀江(川俣)朋子

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [50%] ☒ 論述試験 [40%] ☐ 口頭試験 [--%] ☒ レポート [10%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 金曜日 16:30~18:00
 場所: 本館5階 衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月11日	堀江 哲郎	ユニット1: 生物を構成する物質	1) 生命の持つ特徴について説明する。 2) 生物を構成する物質について概説する。 3) 生体物質としての糖及び脂質を列挙する。 4) タンパク質とアミノ酸について説明する。 5) タンパク質の構造について説明する。 6) 核酸とヌクレオチドについて説明する。
4月18日	堀江 哲郎	ユニット2: 細胞の構造(1)	1) 生体は細胞によって構成されることを理解する。 2) 細胞の基本構造について説明する。 3) 真核細胞と原核細胞の特徴について説明する。 4) 細胞膜の構造と機能について説明する。 5) 浸透圧について記述する。
4月23日	堀江 哲郎	ユニット3: 細胞の構造(2) (4月25日金曜日1限目から, 4月23日水曜日2限に変更<学習法基本概論と交換>)	1) 細胞小器官 (オルガネラ) について列挙する。 2) 細胞骨格について列挙する。 3) 細胞運動について説明する。
5月9日	堀江 朋子	ユニット4: 栄養と代謝(1)	1) 栄養素について列挙する。 2) 異化と同化について説明する。 3) 消化器系について概論する。 4) エネルギー通貨としてのATPについて説明する。 5) 生命の化学反応としての酵素の役割を述べる。 6) 酵素の特異性と反応機構を理解する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月16日	堀江 朋子	ユニット5：栄養と代謝(2)	1) 解糖系とクエン酸回路について説明する。 2) 酸化的リン酸化によるATP合成について説明する。 3) 発酵と解糖について説明する。
5月30日	堀江 朋子	ユニット6：栄養と代謝(3)	1) 糖新生経路について説明する。 2) グリコーゲン代謝について理解する。 3) ペントースリン酸経路について記述する。 4) 脂質の分解とATP産生について説明する。 5) アミノ酸の分解とATP産生について説明する。
6月6日	堀江 哲郎	ユニット7：遺伝とDNA	1) 遺伝と遺伝子の構成について概論する。 2) 遺伝の法則について説明する。 3) 様々な遺伝様式について列挙する。 4) DNAが遺伝物質の本体であることを説明する。 5) 遺伝子と染色体の関係について説明する。 6) 染色体の構造について説明する。
6月13日	堀江 哲郎	ユニット8：遺伝情報の発現(1)	1) DNAの構造と複製について説明する。 2) セントラルドグマについて説明する。 3) 転写：RNA合成の仕組みについて説明する。 4) RNAの種類と役割について説明する。 5) 転写の調節機構について説明する。
6月20日	堀江 哲郎	ユニット9：遺伝情報の発現(2)	1) RNAプロセッシングについて説明する。 2) 翻訳：タンパク質合成について説明する。 3) 遺伝暗号について理解する。 4) タンパク質合成機構について理解する。 5) 突然変異について説明する。 6) DNA多型について理解する。
6月27日	堀江 哲郎	ユニット10：細胞の増殖と死(1)	1) 細胞分裂の周期性について説明する。 2) 細胞周期の調節機構について説明する。 3) 体細胞分裂について説明する。 4) 減数分裂について説明する。 5) 減数分裂の経過と染色体に見られる変化や動き、その機序を説明する。
7月4日	堀江 哲郎	ユニット11：細胞の増殖と死(2)	1) 細胞の寿命について説明する。 2) 細胞死について述べる。 3) アポトーシスとその意義を説明する。 4) アポトーシスの過程を説明する。 5) アポトーシスとネクローシスの関係を説明する。
7月11日	堀江 哲郎	ユニット12：生殖と発生(1)	1) 有性生殖と無性生殖の特徴について述べる。 2) 受精機構について説明する。 3) 胚形成について説明する。 4) ヒトの卵形成と受精について概説する。 5) 三胚葉から形成される組織と器官を説明する。
7月18日	堀江 哲郎	ユニット13：生殖と発生(2)	1) 胚の細胞の分化と誘導について述べる。 2) 体節決定遺伝子について説明する。

本学期的学習目標 (GIO)

国際社会に適応する歯科医師になるために、医療現場に必要な英語によるコミュニケーション能力を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

日本医学英語教育学会編	医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト Step1	第1版	メジカルビュー社
師岡ヴィヴィアン, 杉浦テリー	Vital Signs [Revised Edition] Essential English for Healthcare Professionals ホスピタル・イングリッシュ〈改訂版〉	第2版	株式会社 南雲堂

担当者一覧

横山知美, 三浦大輔

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [40%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☒ レポート [20%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (小テスト [10%])

オフィスアワー

日時: 金曜日 講義終了後

場所: 141講堂, 本館4階歯科理工学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月11日	横山 知美	ユニット1: Course Introduction・Let's Learn About One Another	1) 医学英語について, 説明する。 2) 英語での表現方法について説明する。 3) 自分について表現する。
4月18日	横山 知美	ユニット2: Hospital Departments	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について, 列挙する。 2) 英語を聞いて, 内容について記述する。 3) 学んだ知識について, 一般化する。
4月25日	横山 知美	ユニット3: Fever①	1) 英文を読んで, 内容について記述する。 2) 発熱に関する言葉について, 列挙する。 3) 専門用語について, 具体的に述べる。
5月9日	横山 知美	ユニット4: Fever②・Application Forms ①	1) 診療時に必要な情報について, 列挙する。 2) 学んだ言葉について, 説明する。 3) 英語を聞いて, 内容について記述する。 4) 学んだ知識について, 一般化する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月16日	横山 知美	ユニット5：Application Forms ②・Anemia	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 血液に関する言葉について、列挙する。 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。
5月30日	横山 知美	ユニット6：Anemia②・Parts of the Body ①	1) 身体の部位を表す言葉について、列挙する。 2) 学んだ言葉について、説明する。 3) 英語を聞いて、内容について記述する。 4) 学んだ知識について、一般化する。
6月6日	横山 知美	ユニット7：Parts of the Body ②	1) 身体の部位を表す言葉について、列挙する。 2) 学んだ言葉について、説明する。 3) 英語を聞いて、内容について記述する。 4) 学んだ知識について、一般化する。
6月13日	三浦 大輔	ユニット8：Dehydration	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 脱水に関する言葉について、列挙する。 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。
6月20日	横山 知美	ユニット9：Illnesses①	1) 病態について、表現する。 2) 英語を聞いて、内容について記述する。 3) 学んだ知識について、一般化する。
6月27日	横山 知美	ユニット10：Illnesses②・Obesity①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 肥満に関する言葉について、列挙する。 3) 専門用語について、具体的に述べる。 4) 病院内での会話について、具体的に述べる。
7月4日	横山 知美	ユニット11：Obesity②・Headache①	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 肥満に関する言葉について、列挙する。 3) 専門用語について、具体的に述べる。 4) 病院内での会話について、具体的に述べる。
7月11日	横山 知美	ユニット12：Headache②	1) 英文を読んで、内容について記述する。 2) 脳神経に関する言葉について、列挙する。 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。
7月18日	横山 知美	ユニット13：Hospital Objects	1) 病院内で用いる器具について、列挙する。 2) 学んだ知識について、応用する。 3) 病院内での会話について、具体的に述べる。

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師として必要な人体構造の理解を深めるため、他の動物と比較することによりヒトの独自性を知り、人類進化の流れをつかむことにより私たちサピエンスがどのようにして現在の姿になったのかを理解する。さらに、日本人の集団形成史を知ることにより現代日本人の顎顔面構造の問題点を考察する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
馬場悠男 (著)	「顔」の進化	第3版	講談社ブルーバックス
馬場悠男 (監・著)	NHKスペシャル人類誕生	第3刷	ワンパブリッシング

担当者一覧

馬場悠男

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [--%]
 ☒ 論述試験 [90%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☒ レポート [10%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 講義の金曜日12:10~13:10
 場所: 講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
4月11日	馬場 悠男	ユニット1: ガイダンス	1) 人類進化と歯科医学の関連について、いくつかのトピックを述べる。 2) 動物の四肢・顎顔面構造の比較から、ヒトとゾウの類似現象を推論する。
4月18日	馬場 悠男	ユニット2: 霊長類の適応進化	1) 霊長類の身体各部の形態特徴と食性など行動特徴との関連性を具体的に説明する。
4月25日	馬場 悠男	ユニット3: 人類の誕生と進化の要点	1) 最新CG技術によるテレビ番組の内容を活用し、人類進化の主要なイベントを包括的に説明する。
5月9日	馬場 悠男	ユニット4: 初期猿人アルディビテクス	1) アルディビテクスの特徴である犬歯の退化と直立二足歩行の発達を述べる。 2) 性差の減少と家族の起源との関係を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
5月16日	馬場 悠男	ユニット5：猿人の進化と原人の誕生	1) 猿人および原人の顎顔面構造の変化と乾燥化が進む生息環境との関係を説明する。
5月30日	馬場 悠男	ユニット6：原人の出アフリカとジャワ原人の進化	1) 原人化石の機能解剖学的解釈を述べる。 2) 喉頭が下降して睡眠時無呼吸の究極要因が生まれたという仮説を提示する。 3) ジャワ原人化石調査における良好な人間関係の構築方法を説明する。
6月6日	馬場 悠男	ユニット7：超小型原人の発見	1) ホモ・フロレシエンシスが、フローレス島でどのように縮小進化して数万年前まで生き残っていたかを、テレビ番組を活用しながら島嶼効果の面から説明する。
6月13日	馬場 悠男	ユニット8：新人・サピエンスの出現と拡散	1) サピエンスの形態的特徴と文化を具体的に説明する。A-3-1-2-2 2) 我々の理性的な「こころ」がいつどこで生まれたのかに関する仮説を述べる。
6月20日	馬場 悠男	ユニット9：食物と食生活の変異	1) アフリカ・グリーンランド・フィリピン・アンデスにおける独自の食生活技術を、テレビ番組を活用しながら説明する。
6月27日	馬場 悠男	ユニット10：人類進化の功罪	1) 直立二足歩行，歯列退縮，大脳拡大，寿命の長期化などによる功罪を，進化医学の観点から説明する。
7月4日	馬場 悠男	ユニット11：古代エジプト人の健康	1) ラムセスⅡ世の孫娘の骨格を鑑定した方法と経過を説明し，古病理学的解釈を述べる。
7月11日	馬場 悠男	ユニット12：日本列島人の形成	1) 旧石器時代から現代まで，日本列島に住んだ人々の身体特徴と生活文化を説明する。 2) 食生活の変化に伴う顎顔面構造の虚弱化を述べ，どのように改善するか指針を説明する。
7月18日	馬場 悠男	ユニット13：骨から知る大奥の実態	1) 実際に調査研究した将軍親族遺骨に基づき，形態特徴と生活との関係を説明する。A-3-4-3 2) 特定の婚姻と食生活による咀嚼器官の貴族化現象を述べる。

後学期授業科目

国語表現	72
心理学	74
化学	76
法学	78
社会福祉学	80
話し合い基盤型問題解決演習	82
化学実習	84
生物学	86
発生と再生	88
行動科学	90
生命歯学概論	92
歯の解剖学	94
医学統計学	96
医学英語	98
物理学	100
食育学	102

（計 16科目）

Japanese Language Expression	72
Psychology	74
Chemistry	76
Introduction to Law	78
Social Welfare	80
Learning through discussion (LTD) based PBL	82
Practice of Chemistry	84
Biology	86
Development and Regeneration	88
Behavioral Sciences	90
Life Dentistry	92
Oral Anatomy	94
Medical Biostatistics	96
Medical English	98
Physics	100
Food and Nutrition Education/Promotion [Shokuiku]	102
(計 16科目)	

令和7年度（第1学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時 間 曜 日	9 : 0 0 }	1 0 : 4 0 }	1 3 : 1 0 }	1 4 : 5 0 }	1 6 : 3 0 }
	1 0 : 3 0	1 2 : 1 0	1 4 : 4 0	1 6 : 2 0	1 8 : 0 0
月	国 語 表 現 (小 原)	心 理 学 (栗 原)	化 学 (戸 円)	ピア・サポート	※
火	法 学 (益 田)	社会福祉学 (高 山)	話し合い基盤型問題解決演習 A ^(注) (田 谷)		※
			化 学 実 習 B ^(注) (戸 円)		
水	生 物 学 (堀 江)	発生と再生 (中 原)	行 動 科 学 (俣 木)	ホームルーム	※
木	生命歯学概論 (統合：内川)	歯の解剖学 (春原/菊池)	化 学 実 習 A ^(注) (戸 円)		※
			話し合い基盤型問題解決演習 B ^(注) (田 谷)		
金	医学統計学 (一 宮)	医 学 英 語 (横 山)	物 理 学 Zoom (小 野)	食 育 学 (名 生)	※

(注)：上段は奇数（A組）、下段は偶数（B組）

- 授 業 期 間 令和 7年 9月22日(月)～令和 7年12月23日(火)
令和 8年 1月 5日(月)～令和 8年 1月 9日(金)
(令和 8年 1月 7日(水)～令和 8年 1月 9日(金)は授業予備日)
(令和 8年12月24日(水)～令和 8年 1月 4日(日)は冬期休業)
- 講 堂 合同講義 1 4 1 講堂
医学統計学 1 4 1 講堂（もしくはPCルーム）
化学実習 6階生化学実習室
- そ の 他 ①年度内で2回程“口腔リハビリテーション多摩クリニック”において、上記曜日以外に実習を行う。
②「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。
③12月23日（火）は，月曜日時間割を実施する。
- 年間総合単位数 4 5 . 5 単位

準備学習 課題一覧

使い方

授業内容を確実に理解・修得できるよう、事前に各自で取り組んでおく課題を掲載します。各授業ユニットの受講前に確認・実施してください。単位科目の修得には、受講のみならず予習・復習を含めた十分な学習時間が必要です。

国語表現

月曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	前期で扱った「文章要約の方法」を復習する。	
ユニット2	前回の授業で扱った長文要約の問題を再考する。	
ユニット3	前回の授業で扱った長文要約の問題を再考する。	
ユニット4	前回の授業で扱った長文要約の問題を再考する。	
ユニット5	前期で扱った「文章作成方法」「文章の構成」を復習する。	
ユニット6	前回の授業で扱った客観的文章の書き方に関する問題を再考する。	
ユニット7	前回の授業で扱った客観的文章の書き方に関する問題を再考する。	
ユニット8	Unit5～7までの内容を復習し、レポートの構成を考える。	
ユニット9	大学生・社会人として必要とされる会話力とはどのようなものかを考える。	
ユニット10	前回の授業で扱った会話に関する問題を再考する。	
ユニット11	「優れたプレゼンテーション」に必要な条件を考え、具体的に挙げる。	
ユニット12	前回の授業で扱ったプレゼンテーションに関する問題を再考する。	
ユニット13	後期の学習内容を復習し、整理する。	

心理学

月曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書「無意識と臨床心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット2	教科書「無意識と臨床心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット3	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット4	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット5	教科書「発達と成長の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット6	教科書「対人と社会の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット7	教科書「発達と成長の心理」と配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット8	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット9	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット10	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット11	自分の性格について考える。	
ユニット12	配布資料を読み、講義テーマを確認する。	
ユニット13	既習内容を復習しておく。	

化学

月曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	教科書「メディカル化学」p107～108およびp150～152を予習しておく。	
ユニット2	教科書「メディカル化学」p152～153を予習しておく。	
ユニット3	教科書「やさしく学べる化学」p112～114を予習しておく。	
ユニット4	教科書「メディカル化学」p132～141を予習しておく。	
ユニット5	教科書「メディカル化学」p142～144を予習しておく。	
ユニット6	教科書「メディカル化学」p196～210を予習しておく。	
ユニット7	教科書「メディカル化学」p175～188を予習しておく。	
ユニット8	教科書「メディカル化学」p189～195を予習しておく。	
ユニット9	教科書「やさしく学べる化学」p182～195を予習しておく。	
ユニット10	教科書「やさしく学べる化学」p115～125およびp85～96を予習しておく。	
ユニット11	教科書「メディカル化学」p96～101を予習しておく。	
ユニット12	教科書「メディカル化学」p91～92およびp162～174を予習しておく。	
ユニット13	教科書「メディカル化学」p211～217を予習しておく。	

法学

火曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	医療と法が交わる場面を想起してみる。	
ユニット2	法とは何か、また社会の中で法がどのような役割を果たしているか考える。	
ユニット3	憲法について、義務教育ないし高等学校で学んだことを復習する。	
ユニット4	契約とはなにか、自信の生活を中心に考えてみる。	
ユニット5	刑法が禁止する行為と、禁止の理由について考えてみる。	
ユニット6	医療従事者を指すものとして、人の「死」について考えを巡らせる。	
ユニット7	臓器移植法について調べ、条文を読んでみる。	
ユニット8	過去に発生した医療過誤裁判について調べてみる。	
ユニット9	刑罰は社会の中でどのような役割を果たすか、考える。	
ユニット10	裁判は何のために行われるか、具体的に考えてみる。	
ユニット11	歯科医師法の条文を確認し、その意義について考える。	
ユニット12	医療における自己決定権について、自分の考えをまとめる。	
ユニット13	医療従事者としてあるべき姿と法制度の関連について考える。	

社会福祉学

火曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	社会福祉・社会保障に関する自身の関心事について確認しておく。	
ユニット2	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット3	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット4	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット5	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット6	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット7	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット8	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット9	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット10	前回の講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット11	定期試験に向けて、前回までのすべての講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット12	定期試験に向けて、前回までのすべての講義内容を復習し、要点を確認しておく。	
ユニット13	定期試験に向けて、前回までのすべての講義内容を復習し、要点を確認しておく。	

話し合い基盤型問題解決演習（A組）

火曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	留意事項を熟読し、受講のための準備をする。	
ユニット2	課題テキストに基づいて自己学習し、LBPシートを完成させる。	
ユニット3	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット4	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット5	画像を読み解く際に必要なことを列挙する。	
ユニット6	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット7	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット8	課題テキスト作成に向けたテーマを考える。	
ユニット9	興味のある中心テーマを列挙し、自己学習する。	
ユニット10	課題テキストの構想を立てる。	
ユニット11	発表スライドの構成を考える。	
ユニット12	プレゼンテーションの準備をする。	
ユニット13	今までの授業で学んだことを列挙する。	

化学実習（B組）

火曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット1の内容を把握しておく。	
ユニット2	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット2の内容を把握しておく。	
ユニット3	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット3の内容を把握しておく。	
ユニット4	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット4の内容を把握しておく。	
ユニット5	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット5の内容を把握しておく。	
ユニット6	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット6の内容を把握しておく。	
ユニット7	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット7の内容を把握しておく。	
ユニット8	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット8の内容を把握しておく。	
ユニット9	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット9の内容を把握しておく。	
ユニット10	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット10の内容を把握しておく。	
ユニット11	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット11の内容を把握しておく。	
ユニット12	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット12の内容を把握しておく。	
ユニット13	実習書およびmoodle上のレジュメを読み、化学実習ユニット13の内容を把握しておく。	

生物学

水曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「医療・看護系のための生物学」p86-90を通読する。	
ユニット2	「ていねいな生物学」p46-53, p114-122を通読する。	
ユニット3	「ていねいな生物学」p92-109を通読する。	
ユニット4	「ていねいな生物学」p130-138を通読する。	
ユニット5	「ていねいな生物学」p166-176を通読する。	
ユニット6	「ていねいな生物学」p184-204を通読する。	
ユニット7	「ていねいな生物学」p184-204を通読する。	
ユニット8	「ていねいな生物学」p73-84を通読する。	
ユニット9	「ていねいな生物学」p85-87を通読する。	
ユニット10	「医療・看護系のための生物学」p143-148を通読する。	
ユニット11	「医療・看護系のための生物学」p148-152を通読する。	
ユニット12	「医療・看護系のための生物学」16章を通読する。	
ユニット13	「やさしい基礎生物学」p164-182を通読する。	

発生と再生

水曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	moodle上の予習用ファイルを参照し、頭蓋骨15種の名称を列記する。	
ユニット2	頭蓋骨模型で上顎骨、下顎骨、側頭骨、蝶形骨の位置を確認する。	
ユニット3	脳神経12対の名称を列記する。	
ユニット4	moodle上の予習用ファイルを参照し、咀嚼筋と舌骨上筋の名称を列記する。	
ユニット5	口腔組織・発生学第3版p.2-11「口腔と歯の概説」、p.12-22「歯と口腔の発生」を通読し、用語を理解する。	
ユニット6	口腔組織・発生学第3版p.2-11「口腔と歯の概説」、p.12-48「歯と口腔の発生」を通読し、用語を理解する。	
ユニット7	ユニット6の講義内容(歯と歯周組織の発生)を復習する。	
ユニット8	常用歯科辞典第4版p.624「再生」、「再生医療」とその関連用語を理解する。	
ユニット9	常用歯科辞典第4版p.634「細胞シート」、p.637-638「細胞培養」とその関連用語を理解する。	
ユニット10	口腔組織・発生学第3版p.72-86「幹細胞と歯科再生医療」を通読し、その関連用語を理解する。	
ユニット11	口腔組織・発生学第3版p.72-86「幹細胞と歯科再生医療」、p.115-120「歯肉組織の再生医療法」を通読し、その関連用語を理解する。	
ユニット12	常用歯科辞典第4版p.637-638「細胞培養」とその関連用語を理解する。	
ユニット13	口腔組織・発生学第3版p.80「幹細胞を用いた再生歯科医療」の内容を理解する。	

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	自己紹介のポイントを考えておく。	
ユニット2	記憶に残っている自分の学習体験を考えておく。	
ユニット3	前ユニットを振り返る。	
ユニット4	前ユニットを振り返る。	
ユニット5	事前配布資料を通読する。	
ユニット6	事前配布資料を通読する。	
ユニット7	事前配布資料を通読する。	
ユニット8	事前配布資料を通読する。	
ユニット9	事前配布資料を通読する。	
ユニット10	事前配布資料を通読する。	
ユニット11	事前配布資料を通読する。	
ユニット12	事前配布資料を通読する。	
ユニット13	事前配布資料を通読する。	

生命歯学概論

木曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	常用歯科辞典の「齲蝕の項目」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「スタンダード歯科医学史」P2～P7の古代医学史を準備学習する。	
ユニット3	「スタンダード歯科医学史」P34～P45の近代歯学史を準備学習する。	
ユニット4	「スタンダード歯科医学史」P88～P97の西洋近代歯科医学の導入を準備学習する。	
ユニット5	常用歯科辞典の「小児期」, 「小児歯科学」, 「行動変容法」, 「二生歯性」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	常用歯科辞典の「歯周病」, 「ブラーク」, 「歯石」, 「炎症」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	常用歯科辞典の「インフォームドコンセント」, 「バイタルサイン」, 「口腔癌」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	常用歯科辞典の「障害者」, 「知的障害」, 「自閉スペクトラム症」, 「脳性麻痺」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	常用歯科辞典の「摂食嚥下機能」, 「摂食嚥下リハビリテーション」, 「摂食機能訓練」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	常用歯科辞典の「再生医療」, 「インプラント」, 「インプラント体埋入手術」, 「インプラント補綴」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	常用歯科辞典の「咬合」, 「咀嚼」, 「嚥下」, 「補綴装置」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	常用歯科辞典の「充填材料」, 「修復材料」, 「陶材」, 「鋳造」, 「コンポジットレジン」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	常用歯科辞典の「インシデント」, 「アクシデント」, 「ヒヤリハット」を参考に講義テーマについて学習する。	

歯の解剖学

木曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	レジュメをダウンロードし、一読する。	
ユニット2	レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット3	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p2-4, 9-11を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット4	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p4-5を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット5	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p5-9を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット6	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p32-39を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット7	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20-22, 23-24, 25-28を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット8	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p25-28, 28-31を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット9	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p22, 24, 26-27を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット10	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p30-32を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット11	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p13-19を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット12	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p40-44を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
ユニット13	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p45-49を一読する。レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	

化学実習（A組）

木曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット1の内容を把握しておく。	
ユニット2	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット2の内容を把握しておく。	
ユニット3	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット3の内容を把握しておく。	
ユニット4	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット4の内容を把握しておく。	
ユニット5	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット5の内容を把握しておく。	
ユニット6	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット6の内容を把握しておく。	
ユニット7	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット7の内容を把握しておく。	
ユニット8	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット8の内容を把握しておく。	
ユニット9	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット9の内容を把握しておく。	
ユニット10	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット10の内容を把握しておく。	
ユニット11	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット11の内容を把握しておく。	
ユニット12	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット12の内容を把握しておく。	
ユニット13	実習書およびmoodle上のレジメを読み、化学実習ユニット13の内容を把握しておく。	

話し合い基盤型問題解決演習（B組）

木曜日 3・4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	留意事項を熟読し、受講のための準備をする。	
ユニット2	課題テキストに基づいて自己学習し、LBPシートを完成させる。	
ユニット3	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット4	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット5	画像を読み解く際に必要なことを列挙する。	
ユニット6	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット7	抽出した学習項目について自己学習する。	
ユニット8	課題テキスト作成に向けたテーマを考える。	
ユニット9	興味のある中心テーマを列挙し、自己学習する。	
ユニット10	課題テキストの構想を立てる。	
ユニット11	発表スライドの構成を考える。	
ユニット12	プレゼンテーションの準備をする。	
ユニット13	今までの授業で学んだことを列挙する。	

医学統計学

金曜日 1 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット2	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット3	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット4	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット5	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット6	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット7	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット8	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット9	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット10	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット11	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット12	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	
ユニット13	「わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学」を参考に講義テーマについて学習する。	

医学英語

金曜日 2 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	Vital Signs『Directions』の項を確認する。	
ユニット2	総合医学英語テキスト Step1『Chest Pain』の項を確認する。	
ユニット3	総合医学英語テキスト Step1『Cough』の項を確認する。	
ユニット4	総合医学英語テキスト Step1『Cough』の項を確認する。	
ユニット5	Vital Signs『Chatting with a Patient』の項を確認する。	
ユニット6	Vital Signs『Taking a Medical History』の項を確認する。	
ユニット7	総合医学英語テキスト Step1『Abdominal Pain』の項を確認する。	
ユニット8	総合医学英語テキスト Step1『Abdominal Pain』の項を確認する。	
ユニット9	総合医学英語テキスト Step1『Dysphagia』の項を確認する。	
ユニット10	総合医学英語テキスト Step1『Hearing Loss』の項を確認する。	
ユニット11	総合医学英語テキスト Step1『Fracture』の項を確認する。	
ユニット12	総合医学英語テキスト Step1『Pregnancy』の項を確認する。	
ユニット13	Vital Signs『Directions』の項を確認する。	

物理学

金曜日 3 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	(準備学習:15分) 教科書 p199-202 (関連する参考書の該当部分)を確認する。	
ユニット2	(30分) 教科書 p199-202 (または 参考書の該当部分)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット3	(30分) 教科書 p200-214 (または 参考書の該当部分)を確認(電気双極子は除く)し, 前回の課題を解く。	
ユニット4	(30分) 教科書 p215-219 (または 参考書の該当部分)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット5	(30分) 教科書 p226-235 (または 参考書の該当部分)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット6	(30分) 教科書 p236-240 (または 参考書の該当部分)を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット7	(30分) 教科書 p240-250 (または 参考書の該当部分)を確認(マクスウェル方程式は除く)し, 前回の課題を解く。	
ユニット8	(30分) 教科書 p273, 282-283を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット9	(30分) 教科書p286-289 を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット10	(30分) 教科書p273-278 を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット11	(30分) 教科書p278-281 を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット12	(30分) 教科書p296-303 を確認し, 前回の課題を解く。	
ユニット13	(30分) X線の発生原理, NMRの原理を再度確認し, 前回の課題を解く。	

食育学

金曜日 4 限

ユニット	準備学習内容	✓
ユニット1	中原市五郎の「日本食養道」(日本歯科大学)を熟読する。「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.1～10を読む。	
ユニット2	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.81～94を読む。	
ユニット3	事前配布資料の内容を確認しておく。	
ユニット4	事前配布資料の内容を確認しておく。	
ユニット5	ユニット2で学んだ「歯学生の理想的な食生活」について復習する。	
ユニット6	ユニット2で学んだ「歯学生の理想的な食生活」について復習する。	
ユニット7	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.21～51を読む。	
ユニット8	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.11～19を読む。	
ユニット9	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.53～79(特にp.53～58)を読む。	
ユニット10	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.81～94を読む。	
ユニット11	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.95～108を読む。	
ユニット12	「歯科関係者のための食育支援ガイド2019」p.95～108を読む。	
ユニット13	事前配布資料の内容を確認しておく。	

本学期的学習目標（GIO）

国語（日本語）は、社会生活の基本であるコミュニケーションを成立させるものであり、あらゆる知的活動の基盤をなすものである。また、社会における様々な環境や変化に応じた国語力も求められる。この観点から、国語（日本語）の特徴や正しい運用法を理解しながら、将来の歯科医師として、また、責任ある社会人として必要な国語の表現力を修得する。

教科書・参考書

著者・編集 書名 版 出版社

毎回、プリントを配布する。

※参考書等は随時指示する。

担当者一覧

小原佳那子

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説（デモンストレーション） ☒ グループワーク（PBL, TBLを含む） ☐ 実習
☒ その他（問題演習・演習時の発表）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

- ☒ 客観試験 [35%] ☒ 論述試験 [40%] ☐ 口頭試験 [--%] ☒ レポート [10%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む） [減点式] ☒ その他（課題、リアクションペーパー [15%]）

オフィスアワー

日時：授業終了後

場所：授業後の教室・本館1階非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
9月22日	小原佳那子	ユニット1：文章要約の応用演習1	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。
9月29日	小原佳那子	ユニット2：文章要約の応用演習2	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。
10月6日	小原佳那子	ユニット3：文章要約の応用演習3	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。
10月20日	小原佳那子	ユニット4：文章要約の応用演習4	1) 論説・論文要約の実際の例を説明する。 2) 論説・論文要約に必要な技術を説明する。
10月27日	小原佳那子	ユニット5：文章作成の応用演習1	1) 優れた論文の書き方を説明する。 2) 優れたレポートの書き方を説明する。 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月10日	小原佳那子	ユニット6：文章作成の応用演習2	1) 優れた論文の書き方を説明する。 2) 優れたレポートの書き方を説明する。 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。
11月17日	小原佳那子	ユニット7：文章作成の応用演習3	1) 優れた論文の書き方を説明する。 2) 優れたレポートの書き方を説明する。 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。
12月1日	小原佳那子	ユニット8：文章作成の応用演習4	1) 優れた論文の書き方を説明する。 2) 優れたレポートの書き方を説明する。 3) 説得力ある文章の書き方を説明する。
12月8日	小原佳那子	ユニット9：会話演習1	1) 会話における相手の意志・考え・情緒等の把握の仕方（問題点の抽出・整理方法）について説明する。 2) 会話における自分の意志・考えを正しく伝えるための方法を説明する。
12月15日	小原佳那子	ユニット10：会話演習2	1) 公の場・多くの人々の前での適切な話し方・態度等について説明する。 2) 特に、発表・スピーチをする際の適切な話し方について説明する。 3) 特に、学会・会議・会合での適切な司会進行方法について説明する。
12月22日	小原佳那子	ユニット11：プレゼンテーション演習1	1) 優れたプレゼンテーションの特徴を説明する。 2) わかりやすいプレゼンテーションのための注意点を説明する。
12月23日	小原佳那子 * 火曜日実施	ユニット12：プレゼンテーション演習2	1) プレゼンテーションに適した言葉遣いや姿勢について説明する。 2) わかりやすいプレゼンテーションのための注意点を説明する。
1月5日	小原佳那子	ユニット13：国語表現総括	1) これまでの学習内容を確認し、現代社会において国語を適切に運用し、表現するための知識を整理して説明する。

心理学

月曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

多角的視野に立って人の行動を理解するために、人間関係の原点である乳幼児期，母子関係，父子関係，家族関係，友人関係を学ぶ。カウンセリングを学び，臨床における対人関係を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

斎藤 勇	イラストレート心理学入門	第3版	誠信書房
------	--------------	-----	------

担当者一覧

栗原佳代子

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [40%]
 ☒ 論述試験 [40%]
 ☐ 口頭試験 [1-10%]
 ☒ レポート [20%]
 ☐ ポートフォリオ [1-10%]
 ☐ シミュレーションテスト [1-10%]
 ☐ 実地試験 [1-10%]
 ☐ 観察記録 [1-10%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 () [1-10%]

オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 (12:10~13:10)

場所: 本館1F講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	栗原佳代子	ユニット1: フロイト1	1) 心の構造論について説明する。 2) イド, 自我, 超自我について説明する。 3) 本能とリビドーを説明する。 4) 精神的発達段階, 固着と退行を説明する。 5) エディプス・コンプレックスを説明する。
9月29日	栗原佳代子	ユニット2: フロイト2	1) 意識, 前意識, 無意識を説明する。 2) 夢, 失錯行為, 抑圧について述べる。 3) 精神分析, 禁欲原則と中立原則を説明する。 4) やまあらじジレンマとアンビバレンスを解説する。 5) エロスとタナトスを説明する。
10月6日	栗原佳代子	ユニット3: カウンセリング1	1) 心理的援助を考える。 2) 医学, 教育, 心理療法のモデルを説明する。 3) カウンセリングの基本と意義を説明する。 4) カウンセリングの構造, 信頼関係を説明する。 5) 現代社会とカウンセリングを説明する。 6) 症例研究を述べる。
10月20日	栗原佳代子	ユニット4: カウンセリング2	1) カウンセリングの理論と技法を説明する。 2) 意識の構造を説明する。 3) 現実認識と心的現実を説明する。 4) 症状, 面接, 病因の発見を説明する。 5) 情動の意識化とアクティング・アウトを説明する。 6) 転移と逆転移, 治療について説明する。
10月27日	栗原佳代子	ユニット5: 発達-母子関係	1) 生物的, 法的, 保育的, 心理的母親を知る。 2) 母親の役割について説明する。 3) 代理母親と安全基地について説明する。 4) アタッチメント理論を説明する。 5) マターナル・ディプリベーションを説明する。 6) 早期体験の影響を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
11月10日	栗原佳代子	ユニット6：自我と社会性の発達	1) 自我・自己の研究の視点を説明する。 2) 自己認識、自我の形成を説明する。 3) 乳幼児期、児童期、青年期の運動、言語、道徳の発達について説明する。 4) 心理社会的発達段階を説明する。 5) 健康的な自我について説明をする。
11月17日	栗原佳代子	ユニット7：生涯発達と青年期	1) さまざまな発達理論を説明する。 2) 青年期と家族について説明する。 3) 友人関係を説明する。 4) 自己概念と自我同一性を説明する。 5) ジェンダーの形成と役割理論を説明する。 6) エリクソンの理論を説明する。 7) 心の健康について認識する。
12月1日	栗原佳代子	ユニット8：遊戯療法	1) 遊戯療法を概説する。 2) 遊戯療法のプロセスを説明する。 3) 攻撃、暴力について説明する。 4) セラピストの成長について説明する。 5) アクスラインの8原則を説明する。 6) 箱庭療法を説明する。 7) 認知行動療法を説明する。
12月8日	栗原佳代子	ユニット9：家庭および家族のライフサイクル	1) 家族の分類と変容を説明する。 2) 家族の機能と評価方法を説明する。 3) 家族のライフサイクル理論を説明する。 4) 家族のシステム理論を説明する。 5) 父親の影響と子どもの自己概念形成を説明する。
12月15日	栗原佳代子	ユニット10：家族療法	1) 家族療法を概説する。 2) システム理論と家族療法について説明をする。 3) さまざまな家族療法を紹介する。 4) ジョイニングを説明する。
12月15日	栗原佳代子 ※3限実施	ユニット11：心理検査演習：FFPQ	1) FFPQ性格検査を実施、測定する。 2) 各自FFPQ検査結果の判定を行う。 3) FFPQの検査結果の解説をする。 4) 諸領域での研究報告を紹介する。 5) 心理検査演習のまとめをする。
12月22日	栗原佳代子	ユニット12：家族療法とコミュニケーション	1) コミュニケーション理論を説明する。 2) コミュニケーションと文化を概説する。 3) メディカル・ファミリー・セラピィを説明する。 4) ナラティブ・アプローチを説明する。 5) 集団の中の人間関係を説明する。
1月5日	栗原佳代子	ユニット13：後学期のフィードバック	前回までの学習内容を整理・再確認し、問題解決に対応できる知識を習得する。

本学期的学習目標 (GIO)

生化学・生理学・薬理学などの歯科基礎分野を理解する上で必要な芳香族化合物，緩衝溶液，立体化学，アミノ酸，糖，脂質，核酸，合成高分子化合物および熱化学力学などの事項を中心に修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
齋藤勝浩	メディカル化学	改訂版	裳華房
野島高彦	医療・看護系のための やさしく学ぶ化学	第1版	裳華房

担当者一覧

戸円智幸

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [50%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度，遅刻，欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時：毎週金曜日 15:00~17:00

場所：本館6階 化学

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標 (SB0s)
9月22日	戸円 智幸	ユニット1：芳香族化合物の種類と性質	1) ベンゼンの共鳴構造について説明する。 2) 芳香族性とそれに基づく化学的性質を説明する。 3) ベンゼン誘導体の命名法と位置異性体を説明する。 4) 主な芳香族化合物の構造と性質について説明する。
9月29日	戸円 智幸	ユニット2：芳香族化合物の反応性と配向性	1) 活性基 (電子供与置換基) について説明する。 2) 不活性基 (電子吸引置換基) について説明する。 3) 共鳴効果 (R効果) について説明する。 4) 一置換および二置換ベンゼンの反応性と配向性について説明する。
10月6日	戸円 智幸	ユニット3：緩衝溶液	1) 緩衝作用について説明する。 2) 弱酸とその塩および弱塩基とその塩からなる緩衝溶液の緩衝作用を説明する。 3) Henderson-Hasselbalchの式について説明する。 4) 弱酸とその塩からなる緩衝溶液のpHの算出方法を説明する。 5) 緩衝液に酸あるいは塩基を加えた時のpHの変化について説明する。 6) 酸性溶液，塩基性溶液および緩衝溶液を希釈した時のpHの変化について説明する。 7) 血液中，唾液中の緩衝作用について説明する。
10月20日	戸円 智幸	ユニット4：立体化学-1	1) 立体異性体の分類について説明する。 2) エナンチオマーとジアステレオマーの構造的特徴を説明する。 3) Fischer投影式を説明する。 4) D, L表示を説明する。 5) R, S表示を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月27日	戸田 智幸	ユニット5：立体化学-2	1) 配座異性体の構造的特徴を説明する。 2) ニューマン投影図を説明する。 3) エクリプス配座とスタaggerド配座を説明する。 4) シクロヘキサンの舟形とイス形を説明する。
11月10日	戸田 智幸	ユニット6：アミノ酸とタンパク質の構造と性質	1) アミノ酸の構造と性質を説明する。 2) 必須アミノ酸名を説明する。 3) アミノ酸の等電点とイオン形について説明する。 4) アミノ酸とタンパク質の呈色反応を説明する。 5) タンパク質の性質と高次構造について説明する。
11月17日	戸田 智幸	ユニット7：単糖の構造と性質	1) 単糖の構造と分類について説明する。 2) グルコースの α -, β -アノマー構造とヘミアセタール構造について説明する。 3) ハースの構造式について説明する。 4) 糖の還元性と確認試験について説明する。 5) 糖アルコールについて説明する。
12月1日	戸田 智幸	ユニット8：二糖，多糖の構造と性質	1) スクロースの性質及び化学構造を記述する。 2) 他の二糖類についてその構造的な違いを説明する。 3) 多糖類を列挙し構造や性質について説明する。 4) ヨウ素反応について説明する。
12月8日	戸田 智幸	ユニット9：合成高分子化合物	1) 合成高分子化合物について説明する。 2) プラスチック（樹脂）について説明する。 3) 化学繊維について説明する。 4) 付加重合と縮合重合について説明する。
12月15日	戸田 智幸 * 4 限実施	ユニット10：酸化還元，束一性	1) 酸化と還元の見方について説明する。 2) 酸化数と酸化剤，還元剤について説明する。 3) 束一性について説明する。 4) 蒸気圧降下，沸点上昇，凝固点降下について説明する。 5) 浸透圧とファン・ト・ホッフの法則について説明する。 6) 等張溶液，低張溶液，高張溶液について説明する。
12月22日	戸田 智幸	ユニット11：化学熱力学	1) 発熱反応と吸熱反応について説明する。 2) 燃焼熱，生成熱について説明する。 3) 熱力学第一法則と第二法則を説明する。 4) エンタルピーとエントロピーについて説明する。 5) ギブス自由エネルギーによる化学反応の方向性について説明する。
12月23日	戸田 智幸 * 火曜日実施	ユニット12：酵素，脂質の構造と性質	1) 酵素反応の特徴を説明する。 2) Michaelis-Mentenの式を説明する。 3) 脂質の構造と性質について説明する。 4) 中性脂肪（トリグリセリド）について説明する。 5) グリセロリン脂質（細胞膜）について説明する。
1月5日	戸田 智幸	ユニット13：核酸の構造と塩基対	1) 核酸（ヌクレオチド）について説明する。 2) DNAとRNAの構造の違いについて説明する。 3) ヌクレオチドの化学構造について説明する。 4) 二重らせん構造を説明する。 5) DNAとRNAの安定性の違いについて説明する。

本学期的学習目標 (GIO)

医療従事者が医療業務を遂行するにあたって、あるいは日常生活上で、普段から意識しておかなければならない基礎的な法律知識を修得するため、日本の法体系の基本構造と各法分野の基本概念や考え方、そして、法律と医療の交錯領域にかかわる諸問題を理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

城 祐一郎	医療関係者のための実践的法学入門	第2版	成文堂, 2022年
(参考) 手嶋 豊	医事法入門	第6版	有斐閣, 2022年
(参考) 中央大学法学部編	高校生からの法学入門	初版	中央大学出版会, 2016年

担当者一覧

益田雄真

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [60%]
 ☒ 論述試験 [40%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 講義日の火曜日 (8:50~9:00, 10:30~10:40)

場所: 本館 1 F 非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月30日	益田 雄真	ユニット1: 医療と法 (総論)	1) 医師の業務がどのように規律されているのかを説明する。 2) 医療の担い手の責務を説明する。 3) 医師と患者の関係にまつわる諸問題を説明する。
10月7日	益田 雄真	ユニット2: 法とは	1) 法が存在する意義を説明する。 2) 法の種類 (憲法, 法律, 命令, 条例) を説明する。 3) 条文の読み方を身につける。
10月14日	益田 雄真	ユニット3: 憲法入門	1) 公法の基本原理を説明する。 2) 統治の仕組みを説明する。 3) 基本的人権の内容を説明する。
10月21日	益田 雄真	ユニット4: 民法入門	1) 私法の基本原理を説明する。 2) 私法の諸原則を説明する。 3) 契約の意義を説明する。 4) 医療契約の意義を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	益田 雄真	ユニット5：刑法入門	1) 刑法の基本原則を説明する。 2) 犯罪の成立要件を説明する。 3) 刑罰の種類を説明する。
11月4日	益田 雄真	ユニット6：終末期医療、人口妊娠中絶	1) 末期状態にまつわる諸問題を説明する。 2) 安楽死・尊厳死の意義、問題点を説明する。 3) 安楽死・尊厳死に対する法的対応を説明する。 4) 人工妊娠中絶の背景、問題点を説明する。 5) 人工妊娠中絶に対する法的対応を説明する。
11月11日	益田 雄真	ユニット7：脳死と臓器移植法	1) 人の死の定義を巡る議論を説明する。 2) 脳死に関する臓器移植法の立場を説明する。 3) 臓器移植法の問題点を説明する。 4) 脳死の問題点を説明する。
11月18日	益田 雄真	ユニット8：医療過誤	1) 医療過誤の定義を説明する。 2) 医療過誤における法的責任の種別・性質を説明する。 3) 民事上・刑事上の責任を説明する。 4) 過失の判断基準を説明する。
11月25日	益田 雄真	ユニット9：刑罰論	1) 刑罰の必要性に関する2つの見解を説明する。 2) 種々の刑罰制度を説明する。 3) 死刑制度の意義と問題点を説明する。
12月2日	益田 雄真	ユニット10：裁判法入門	1) 両訴訟法の基本原則を説明する。 2) 民事裁判における手続きの流れを説明する。 3) 刑事裁判における手続きの流れを説明する。
12月9日	益田 雄真	ユニット11：医事法Ⅰ	1) 医事法におけるそれぞれの法律を説明する。 2) 歯科医師法の任務と要件を説明する。 3) 薬剤師法の任務を説明する。 4) 個人情報保護について説明する。
12月16日	益田 雄真	ユニット12：医事法Ⅱ	1) 患者の自己決定権の意義を説明する。 2) 親権や成年後見制度の意義を説明する。 3) 親権や成年後見制度の問題点を説明する。 4) 特別な配慮を必要とする患者に対する治療の問題について討議する。
1月6日	益田 雄真	ユニット13：医療従事者倫理	1) 医療倫理4原則と綱領を説明する。 2) 告知義務の内容を説明する。 3) 守秘義務の内容を説明する。

社会福祉学

火曜日 10 : 40 ~ 12 : 10

本学期的学習目標 (GIO)

社会福祉・社会保障を取り巻く環境は大きく変化してきている。社会福祉・社会保障の制度・仕組み等を概観し、当事者の権利を中心に日常生活・社会生活上の課題の解決に向けて取り組む社会福祉のあり方とソーシャルワークの実践について理解する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

社会保障入門編集委員会編	社会保障入門2025		中央法規

担当者一覧

高山由美子

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [80%]
 ☒ 論述試験 [20%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☐ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 授業終了後

場所: 本館 1 階非常勤講師控室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月30日	高山由美子	ユニット1: 社会福祉の理念・法制度体系・ソーシャルワーク	1) 社会福祉の理念・法制度を説明する。 2) ソーシャルワークとは何かを説明する。
10月7日	高山由美子	ユニット2: 少子高齢社会・人口減少社会	1) 少子高齢社会の変化を説明する。 2) 世帯構造の変化について説明する。 3) 地域構造の変化について説明する。 4) 国民生活の変化について説明する。 5) 社会構造の変化が引き起こす社会問題について説明する。
10月14日	高山由美子	ユニット3: わが国戦後の社会福祉政策の展開過程	1) 戦前の社会福祉 (社会事業) の展開過程を説明する。 2) 戦後の社会福祉の展開過程を説明する。 3) 近年の社会福祉の動向を説明する。
10月21日	高山由美子	ユニット4: 社会福祉の行財政・実施機関・民間社会福祉施設等	1) 社会福祉の行政 (地方分権を含む), 社会福祉サービスの提供システムを説明する。 2) 社会福祉の財政 (国と地方自治体) を説明する。 3) 福祉事務所, 児童相談所などの公的相談機関等の役割・機能を説明する。 4) 社会福祉施設の役割・設置基準を説明する。 5) 社会福祉法人をはじめ, 民間の社会福祉事業所の動向等について説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月28日	高山由美子	ユニット5：社会保険制度1	1) 社会保障制度の全体像について説明する。 2) 介護保険の役割、仕組み、保険給付、実態、課題などを説明する。 3) 医療保険の役割、仕組み、保険給付、実態、課題などを説明する。 4) 医療を取り巻く状況について説明する。
11月4日	高山由美子	ユニット6：社会保険制度2	1) 年金制度の役割、仕組み、保険給付、実態、課題について説明する。 2) 労災保険の役割、仕組み、保険給付、実態、課題について説明する。 3) 雇用保険の役割、仕組み、保険給付、実態、課題などを説明する。
11月11日	高山由美子	ユニット7：ソーシャルワーク実践の価値・倫理・技術	1) ソーシャルワークの専門性（価値・倫理・技術）について説明する。 2) ソーシャルワークの実践（権利擁護及び意思決定支援、ソーシャルアクション等）とその担い手について説明する。
11月18日	高山由美子	ユニット8：生活困窮者に対する支援	1) 国民生活の推移・現状を説明する。 2) 生活保護の扶助とその内容を説明する。 3) セーフティネットとしての位置づけを説明する。
11月25日	高山由美子	ユニット9：児童福祉の法制度等	1) 子どもの置かれている状況を説明する。 2) 児童福祉法や在宅・施設サービスの内容、次世代育成施策、子育てビジョンを説明する。
12月2日	高山由美子	ユニット10：高齢者福祉の法制度等	1) 高齢者の置かれている状況を説明する。 2) 老人福祉法・介護保険法や在宅サービス、施設サービスの内容を説明する。
12月9日	高山由美子	ユニット11：障害者福祉の法制度等	1) 障害者の権利条約について説明する。 2) 障害者福祉の内容を説明する。 3) 障害者雇用にかかわる法律と雇用の実態を説明する。
12月16日	高山由美子	ユニット12：子ども・高齢者・障害者等への虐待防止と支援	1) 児童虐待防止法、児童虐待の実態と防止施策について説明する。 2) DV防止法、DVの実態と防止施策について説明する。 3) 高齢者虐待防止法と高齢者虐待の実態と防止施策について説明する。 4) 障害者虐待の実態と防止施策について説明する。
1月6日	高山由美子	ユニット13：地域共生社会の推進と地域包括ケアシステム	1) 地域福祉とまちづくりを説明する。 2) 地域包括ケアシステムを説明する。 3) 地域共生社会を説明する。

話し合い基盤型問題解決演習

①火曜日 13:10～16:20
②木曜日 13:10～16:20

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医学の進歩への対応と課題解決能力の向上のために、基礎科学や歯科医学の専門用語を理解し、協同学習を基盤とするLBP (LTD based PBL) 学習法を通して、学び方、発想力、必要な課題抽出の技能、自己学習の習慣、問題解決能力、情報収集と解析能力、表現力、コミュニケーション技能を身につける。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各ユニットの配付資料		
--	------------	--	--

担当者一覧

田谷雄二, 両角祐子, 田中とも子, 堀江哲郎, 田代有美子, 永浦まどか, 石黒一美, 千葉忠成, 井出良治, 栃木啓佑, 神尾 崇, 島村直宏, 三枝慶祐, 山下万美子, 才木桂太郎, 山中 幸, 根岸 翼, 埴 太有, 橋爪那奈, 林田尚斗, 村極悦子, 河本 芽, 八田みのり, 岡本亜祐子, 西田太郎, 渡邊 慧, 上杉華子, 小見野真梨恵, 酒井有沙, 中澤美和, 滑川初枝, 横澤 茂, 岩田 洋, 代田あづさ, 鈴木麻美, 内田裕子, 児玉実穂, 町田麗子, 築瀬麻衣子, 小玉美也子, 三枝奈津季, 新見嘉邦, 窪田大祐, 石井通勇, 小柳圭史, 阿部恵一, 田中惇平, 齋藤圭輔, 小池未来, 中山竣太郎, 我妻由梨, 横山知美, 辺見卓男, 元開早絵, 小林 鷹, 勝海怜一, 齋藤敦史, 美濃直輝, 山本陸矢, 芦澤みなみ, 舘 晶彦, 出口 崇, 内川菜摘, 川上紗和子, 小谷田貴之, 柴崎育美, 是澤和人, 井坂栄作, 角田憲祐, 岡山浩美, 鈴木 恵

学習方略

- ☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☒ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☒ その他 (事前学習)

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☐ 客観試験 [--%] ☒ 論述試験 [10%] ☐ 口頭試験 [--%] ☒ レポート (提出物) [40%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%]
☒ 観察記録 (グループ討議) [50%] ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
☒ その他 (不適切な行為) [減点式]

オフィスアワー

日時: 火・木曜日 16:30～18:00

場所: 病理学講座・化学教室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SBOs)
9月 25 30 日 日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット1: ガイダンス・協同学習の方法	1) 本授業の目的を列挙する。(PR-04, LL-01) 2) LTD話し合い学習法の学び方を習得する。(CM-04) 3) グループで互恵的関係を構築する。(CM-04) 4) グループ討論を通して知識を関連づける。(CM-04)
10月 2 7 日 日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット2: 課題1, 1回目 LTD話し合い学習法	1) 事前学習として学習課題を列挙する。(RE-05) 2) 重要な用語・事項を説明する。(RE-05) 3) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 4) 学習項目を列挙し, 自己学習した内容を記述する。(PR-04)
10月 9 14 日 日	田谷 雄二 チュータ スタッフ	ユニット3: 課題1, 2回目 PBL チュートリアル	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点, 仮説, 学習項目を列挙する。(RE-03) 4) 新たな学習項目を抽出し, 自己学習した内容を記述する。(PR-04)
10月 16 21 日 日	田谷 雄二 チュータ スタッフ	ユニット4: 課題1, 3回目 PBL チュートリアル	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) グループで討議する。(CM-04) 3) 新たな学習項目を抽出し, 自己学習した内容を記述する。(PR-04) 4) 学習成果を整理し, 課題1で取り組んだ学習を評価する。(PR-04, PR-06)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月23日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット5：課題2，1回目 ビジュアルリテラシー（看図）	1) ビジュアルテキストの要素を列挙する。(PS-12) 2) ビジュアルテキストの構成要素を相互に関連づける。(PS-12) 3) ビジュアルテキストから発想し推察する。(PS-12) 4) 学習項目を列挙し，自己学習した内容を記述する。(PR-04)
10月30日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット6：課題2，2回目 LTD話し合い学習法	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 重要な用語，事項を説明する。(CM-02) 3) 学習事項についてグループで討議する。(CM-04) 4) 学習項目を列挙し，自己学習した内容を記述する。(PR-04)
11月6日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット7：課題2，3回目 PBL テュートリアル	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) グループで討議する。(CM-04) 3) 新たな学習項目を抽出し，自己学習した内容を記述する。(PR-04) 4) 学習成果を整理し，課題2で取り組んだ学習を評価する。(PR-04, PR-06)
11月13日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット8：課題3，1回目 PBL テュートリアル	1) 自由課題の中心テーマを説明する。(CM-02) 2) 自由課題についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点，仮説，学習計画を列挙し関係づける。(RE-03) 4) 学習項目を抽出し，自己学習した内容を記述する。(PR-04)
11月20日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット9：課題3，2回目 PBL テュートリアル	1) 自由課題の中心テーマを確認する。(CM-02) 2) 主題・主張についてグループで討議する。(CM-04) 3) 疑問点，仮説，学習計画を列挙し関係づける。(RE-03) 4) 新たな学習項目を抽出し，自己学習した内容を記述する。(PR-04)
11月27日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット10：課題3，3回目 PBL テュートリアル	1) 学習成果を自分の言葉で説明する。(CM-02) 2) 文章構成についてグループで討議する。(CM-04) 3) 課題テキストの内容を説明する。(CM-02) 4) 学習成果を整理し，課題3で取り組んだ学習を評価する。(PR-04, PR-06)
12月4日	田谷 雄二 テュータ スタッフ	ユニット11：課題3，4回目 プレゼンテーションの準備	1) 効果的なプレゼンテーションの構成について説明する。(CM-02) 2) グループで学習した項目を説明する。(CM-02) 3) プレゼンテーションに必要な資料を準備する。(CM-04) 4) グループ全員で協同作業に参加する。(CM-04)
12月11日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット12：課題3，5回目 プレゼンテーション；学習成果の発表	1) 自由課題の学習成果をグループで発表する。(CM-02) 2) グループの協同作業の成果を表現する。(CM-02) 3) グループメンバーの貢献度を評価する。(PR-04, PR-06) 4) 学生間でプレゼンテーションを評価し合う。(PR-04, PR-06)
12月18日	田谷 雄二 スタッフ	ユニット13：総括と振り返り (奇数A組と偶数B組の合同授業)	1) 個人学習とグループ学習を対比する。(PR-04) 2) 主体的，対話的な深い学びについて説明する。(CM-02) 3) 学習の過程，成果，技能を自己評価する。(PR-04, PR-06) 4) 授業全体を振り返り，今後6年間の学習活動を具体的に述べる。(LL-01, LL-04, PR-04, PR-06)

化学実習

火曜日 13:10~16:20
木曜日 13:10~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

化学実験を行うことにより、実験器具・機器の取り扱い操作を習得するとともに、実験結果と理論の関係を理解し、生化学・薬理学などの歯学基礎分野を学ぶ上で必要な化学知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

傘 孝之, 柴田 潔	化学実験	第6版	日本歯科大学
------------	------	-----	--------

担当者一覧

戸円智幸, 三橋扶佐子, 瀬戸口隆司, 堀江哲郎, 村檜悦子, 神 唯, 美原希美, 橋爪那奈, 酒井有沙, 村山文康, 林田尚斗, 埴 太有

学習方略

☒ 講義 ☒ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☒ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☐ 客観試験 [一%] ☐ 論述試験 [一%] ☐ 口頭試験 [一%] ☒ レポート [80%]
☐ ポートフォリオ [一%] ☐ シミュレーションテスト [一%] ☐ 実地試験 [一%] ☒ 観察記録 [10%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (小テスト [10%])

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 15:00~17:00

場所: 本館6階 化学

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25-30日	戸円 智幸	ユニット1: 化学実験の安全指針	1) 実験を安全に実施するための指針を説明する。 2) 化学物質等安全データシートを説明する。 3) 薬品等の廃液処理方法を説明する。 4) 化学実習レポートの書き方を説明する。 5) 有効数字について説明する。
10月2-7日	戸円 智幸	ユニット2: アスピリンの合成	1) 基本的な実験器具の使い方を説明する。 2) フローチャートについて説明する。 3) アスピリンの合成法を説明する。 4) アセチル化を説明する。 5) 結晶生成物の分離を実施する。
10月9-14日	戸円 智幸	ユニット3: アセトアニリドの合成	1) アセトアニリドの合成法を説明する。 2) アスピリンとアセトアニリドの違いを説明する。 3) アセトアニリドの定性試験について説明する。 4) 再結晶による精製を実施する。
10月16-21日	戸円 智幸	ユニット4: NMRスペクトルの原理	1) 核磁気共鳴 (NMR) スペクトルの原理を説明する。 2) ケミカルシフトと多重度を説明する。 3) NMRスペクトルチャートの解析法を説明する。 4) 化合物のNMR測定例のデータを解析し化学構造を推定する。 5) MRIの医学分野への応用を述べる。
10月23-28日	戸円 智幸	ユニット5: IRスペクトルの原理	1) 赤外線 (IR) スペクトルを説明する。 2) IRスペクトルの原理を説明する。 3) IRスペクトルより得られたデータの解析法を説明する。 4) 化合物のIR測定例のデータを解析し化学構造を推定する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10 11 月 月 30 4 日 日	戸円 智幸	ユニット6：NMRスペクトルの測定	1) NMRスペクトルを測定する。 2) NMRスペクトルの測定方法を説明する。 3) 合成したアスピリンのNMRスペクトルを調べる。 4) 合成したアスピリンの純度を調べる。 5) NMRに関する小テストを行う。
11 月 6 11 日 日	戸円 智幸	ユニット7：IRスペクトルの測定	1) IRスペクトルを測定する。 2) IRスペクトルの測定方法を説明する。 3) 合成したアセトアニリドのIRスペクトル測定結果を調べる。 4) 合成したアセトアニリドの純度を調べる。 5) IRに関する小テストを行う。
11 月 13 18 日 日	戸円 智幸	ユニット8：中和滴定	1) 指示薬の変色域と中和点の関係を説明する。 2) 適切な指示薬を選択する。 3) pHメーターの操作方法を述べる。 4) pHメーターで溶液中のpHを測定する。 5) 指示薬を使った中和滴定が正確に行える理由を説明する。 6) 滴定曲線のグラフを作成する。
11 月 20 25 日 日	三橋扶佐子	ユニット9：アミノ酸とTLC分離	1) 薄層クロマトグラフィー（TLC）の操作方法，原理を説明する。 2) アミノ酸の構造と性質を説明する。 3) アミノ酸の呈色反応を説明する。 4) 試料アミノ酸溶液の呈色反応を調べる。 5) 未知試料中のアミノ酸を調べ推測する。
11 12 月 月 27 2 日 日	戸円 智幸	ユニット10：緩衝溶液の性質	1) 緩衝作用を説明する。 2) 酸性溶液，塩基性溶液および緩衝溶液を水で希釈したときのpHの変化を調べる。 3) 酢酸緩衝溶液に水酸化ナトリウム溶液を加えたときのpHの変化を調べ，グラフを作成する。
12 月 4 9 日 日	三橋扶佐子	ユニット11：糖の定性分析	1) 酸による二糖および多糖の加水分解を行う。 2) ベネジクト反応で糖の還元性を調べる。 3) ヨウ素反応で糖を調べる。 4) 銀鏡反応で糖の還元性を調べる。 5) ヨウ素時計反応を実施する。
12 月 11 16 日 日	戸円 智幸	ユニット12：高分子化合物の合成	1) 高分子化合物の種類について説明する。 2) 樹脂（resin）と繊維（fiber）について説明する。 3) 再生繊維（レーヨン）を合成する。 4) 合成繊維（ナイロン66）を合成する。
1 月 6 日	戸円 智幸	ユニット13：立体化学 （奇数A組と偶数B組の合同実習）	1) 立体異性体の種類について説明する。 2) MOL-TALOU分子モデルについて説明する。 3) Fischerの投影式を作成し，DL表示およびRS表示を推測する。 4) ニューマンの投影図を作成し，エクليبス配座とスタッガード配座の特徴を理解する。

本学期的学習目標 (GIO)

生命歯学で必須となる生理学・生化学などの専門科目へと円滑に学修を進めていくために、ヒトに関わる基本的な生物学の知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
南雲 保 他	やさしい基礎生物学	改訂2版	羊土社
田村隆明 著	医療・看護系のための生物学	改訂版	裳華房
白戸亮吉 他	生理学・生化学につながるていねいな生物学	初版	羊土社

担当者一覧

堀江哲郎, 堀江 (川俣) 朋子

学習方略

☒ 講義

☐ 示説 (デモンストレーション)

☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)

☐ 実習

☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [50%]

☒ 論述試験 [40%]

☐ 口頭試験 [--%]

☒ レポート [10%]

☐ ポートフォリオ [--%]

☐ シミュレーションテスト [--%]

☐ 実地試験 [--%]

☐ 観察記録 [--%]

☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]

☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 水曜日 16 : 30 ~ 18 : 00
場所: 本館5階 衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	堀江 哲郎	ユニット1: 動物の組織	1) 4種類の動物組織の特徴を述べる。 2) 上皮組織について概説する。 3) 結合組織について概説する。 4) 筋組織とその種類を列挙する。 5) 筋収縮機構を理解する。
10月1日	堀江 哲郎	ユニット2: 動物の器官 【消化系と排出系】	1) ヒトの消化系を概説する。 2) 消化器官の形態と機能を説明する。 3) 排出系の基本構成を概説する。 4) 体液の区分について説明する。 5) 腎臓とその働きについて説明する。
10月8日	堀江 哲郎	ユニット3: 動物の器官 【循環系と呼吸系】	1) 循環系について概説する。 2) 哺乳類の心臓の構造と活動について説明する。 3) 血管系とリンパ系の基本構成を説明する。 4) 呼吸の定義と意義を説明する。 5) 呼吸器の構造と機能を理解する。
10月15日	堀江 哲郎	ユニット4: 動物の器官 【神経系】	1) ヒトの神経系の構成要素を列挙する。 2) 脳の基本構造と分類群ごとの特徴を説明する。 3) 末梢神経系と神経伝達について説明する。 4) ニューロンを図示し各部の機能分担を説明する。 5) ニューロンを分類し, それぞれのおもな神経系の部位を示す。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月22日	堀江 哲郎	ユニット5：動物の器官 【感覚系】	1) 刺激の受容と感覚について概説する。 2) 感覚器について列挙する。 3) 視覚器の構造と機能を理解する。 4) 聴覚器の構造と機能を述べる。 5) 一般感覚について概説する。
10月29日	堀江 朋子	ユニット6：ホルモンと生体調節(1)	1) ホルモンについて概説する。 2) 内分泌器官について列挙する。 3) ホルモンの種類について説明する。 4) ホルモンの受容体とシグナル伝達機構について説明する。
11月5日	堀江 朋子	ユニット7：ホルモンと生体調節(2)	1) 生体の恒常性維持におけるホルモンの役割を概説する。 2) 塩分と水分、カルシウム、糖の血中濃度、血圧について、ホルモンによる調節機序を説明する。
11月12日	堀江 哲郎	ユニット8：血液と免疫(1)	1) 造血幹細胞と血液の機能について説明する。 2) 免疫系担当細胞について概説する。 3) 自然免疫と獲得免疫の特徴について記述する。 4) 物理的・化学的防御について説明する。 5) 自然免疫について説明する。
11月19日	堀江 哲郎	ユニット9：血液と免疫(2)	1) 獲得免疫について概説する。 2) 抗原提示について説明する。 3) T細胞による免疫応答を説明する。 4) B細胞による免疫応答を説明する。
11月26日	堀江 朋子	ユニット10：微生物と感染症(1)	1) 感染症について概説する。 2) 細菌について説明する。 3) グラム染色を説明する。 4) グラム陽性菌とグラム陰性菌について、細胞構造の相違を列挙する。 5) 病原真菌について説明する。
12月3日	堀江 朋子	ユニット11：微生物と感染症(2)	1) ウイルスについて概説する。 2) 主なウイルスについて列挙する。 3) 原生動物/原虫について説明する。
12月10日	堀江 哲郎	ユニット12：バイオテクノロジーと医療	1) 遺伝子組換え技術とその応用について列挙する。 2) カルタヘナ法について説明する。 3) 細胞工学と発生工学の応用例について列挙する。 4) バイオテクノロジーと生命倫理について概説する。
12月17日	堀江 哲郎	ユニット13：環境と社会	1) 生態系について概説する。 2) 生物多様性について説明する。 3) ヒトと生態系の関係について述べる。

発生と再生

水曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

iPS細胞の登場により再生医療が加速する医学・医療に対し、歯科医学・歯科医療は材料主体の修復・補綴治療が続いている。本科目は、細胞を活用した再生医療を創造する「発生と再生」の接点と臨床的意義を知り、日本歯科大学が発信する再生医療にむけて、学生一人ひとりが担うべき“生命歯学”の意味を認識する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
脇田 稔 他	口腔組織・発生学	第3版	医歯薬出版

担当者一覧

中原 貴, 井出吉昭, 望月真衣, 小林朋子

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 水曜日 16:30~18:30

場所: 100周年記念館 6階 発生・再生医科学講座 第1研究室/本館 3階 解剖学第1講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	井出 吉昭	ユニット1: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 1	1) 頭蓋骨の名称を列記する。 2) 脳神経の名称を列記する。
10月1日	井出 吉昭	ユニット2: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 2	1) 主要な頭蓋骨 (上顎骨, 下顎骨, 側頭骨, 蝶形骨など) の部位の名称を列記する。 2) 口腔とその周囲 (鼻腔, 咽頭など) とのつながりを説明する。
10月8日	井出 吉昭	ユニット3: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 3	1) 脳神経が通る経路を説明する。 2) 主要な脳神経 (三叉神経, 顔面神経, 舌咽神経, 迷走神経など) の走行と役割を説明する。 3) 筋の起始・停止・作用の概念を説明する。
10月15日	井出 吉昭	ユニット4: 頭頸部発生を学ぶための解剖学 4	1) 主要な頭頸部の筋 (咀嚼筋, 舌骨上筋など) を説明する。
10月22日	望月 真衣	ユニット5: 口腔顎顔面組織の発生	1) 受精から神経堤細胞の発生に至る初期発生を説明する。 2) 口腔組織の各部位を列挙し, それらを構成する細胞を説明する。 3) 舌の発生過程を説明する。 4) 顔面, 口唇, 口蓋の発生過程を説明し, それぞれの形成をイラストで描写して理解する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月29日	望月 真衣	ユニット6：歯と歯周組織の発生	1) 歯と歯周組織の各部位の名称を列挙し、それらを構成する細胞を説明する。 2) 歯と歯周組織の発生学的由来を説明する。 3) 歯と歯周組織の発生過程を説明し、各発生ステージにおける形態形成のメカニズムを理解する。
11月5日	中原 貴	ユニット7：歯の再生に挑む 1	1) 再生医療による歯の欠損治療の必要性を具体的に述べる。 2) 現在の歯の再生研究を具体的に説明する。 3) 歯の再生に必要な理論を系統立てる。 4) 歯を再生する新たな方法を記述する。
11月12日	中原 貴	ユニット8：歯の再生に挑む 2	1) 現代の歯の欠損治療の問題点について指摘する。 2) 新たな歯の再生法について具体的に述べる。 3) 未来の歯の再生医療の実現性を感じる。
11月19日	中原 貴	ユニット9：歯の再生に挑む 3	1) 細胞を活用した再生医療における生命歯学の意義を認識する。 2) 生命歯学に立脚した日本歯科大学独自の再生医療を創造する。 3) 自身が再生医療を駆使する歯科医師になる可能性を認識し、将来の患者や社会に貢献できることを自覚する。
11月26日	望月 真衣	ユニット10：多能性幹細胞と組織幹細胞	1) 幹細胞の役割を知る。 2) 幹細胞を分類する。 3) 幹細胞の特徴を比較し、リスクを分類する。
12月3日	望月 真衣	ユニット11：幹細胞と臨床応用	1) 幹細胞の臨床・研究への応用例を述べる。 2) 歯科における将来的な再生医療を創造する。
12月10日	小林 朋子	ユニット12：細胞培養と再生医療	1) 細胞培養の基礎を理解する。 2) 日本歯科大学細胞培養加工施設（CPF）における細胞培養の実際について具体的に説明する。 3) 研究用と臨床用の細胞培養の相違を理解する。
12月17日	小林 朋子	ユニット13：再生医療の関係法規と細胞治療の実際	1) 再生医療の概要と意義を述べる。 2) 現行の再生医療とその関係法規について知る。 3) 安全な再生医療を遂行する細胞治療法を説明する。

行動科学

水曜日 13:10~14:40

本学期的学習目標 (GIO)

将来、望ましい医療者として患者および地域・社会に貢献するために、人間の行動に関連する諸理論を学び、その理論を基盤としたヒューマン・スキルに関する知識、技能、態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

	各授業時の配布資料		
--	-----------	--	--

担当者一覧

俣木 志朗

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☒ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [80%]
 ☒ 論述試験 [20%]
 ☐ 口頭試験 [1-10%]
 ☐ レポート [1-10%]
 ☐ ポートフォリオ [1-10%]
 ☐ シミュレーションテスト [1-10%]
 ☐ 実地試験 [1-10%]
 ☐ 観察記録 [1-10%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ()

オフィスアワー

日時: 毎回授業終了後 14:40~14:50

場所: 記念館 4階 141 講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月24日	俣木 志朗	ユニット1: 他己紹介 (演習)	1) 「聴く」「話す」「表現する」を実践する。 2) 対人関係における自己開示を体験する。 3) 収集した情報を的確に要約する。 4) 要約した内容を簡潔に発表する。
10月1日	俣木 志朗	ユニット2: 望ましい学習活動Ⅰ (演習)	1) 各自の望ましい学習体験を振り返る。 2) 各自の学習体験を説明する。 3) 学習のプロセスを説明する。 4) カリキュラムについて概説する。 5) 望ましい学習活動の持つべき特徴を説明する。
10月8日	俣木 志朗	ユニット3: 望ましい学習活動Ⅱ (演習)	1) 各自の学習体験を説明する。 2) 学習目標を説明する。 3) 効果的な学習方略を説明する。 4) 学習評価について概説する。 5) 成人学習理論を説明する。
10月15日	俣木 志朗	ユニット4: 医療におけるコミュニケーション (一部演習)	1) 各自のコミュニケーションタイプを知る。 2) コミュニケーションスキルを説明する。 3) コミュニケーションスキルの基本を体験する。 4) 対人関係における気づきを説明する。 5) ジョハリの窓の意義を説明する。
10月22日	俣木 志朗	ユニット5: 行動科学の基礎Ⅰ	1) 行動科学について概説する。 2) 行動の生物学的基盤を説明する。 3) 医療における行動科学を説明する。 4) レスポンデント条件付けを説明する。 5) オペラント条件付けを説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月29日	俣木 志朗	ユニット6：行動科学の基礎Ⅱ	1) 各種学習理論を概説する。 2) 社会的学習を説明する。 3) モデリングを説明する。 4) 観察学習を説明する。 5) 模倣学習を説明する。
11月5日	俣木 志朗	ユニット7：ストレスⅠ	1) 生体の恒常性を説明する。 2) 自律神経系の機能を説明する。 3) ストレスについて説明する。 4) ストレスの免疫系への影響を説明する。 5) ストレスの内分泌系への影響を説明する。
11月12日	俣木 志朗	ユニット8：ストレスⅡ	1) ストレス対処法について概説する。 2) SOCを説明する。 3) 健康生成論と疾病生成論を説明する。
11月19日	俣木 志朗	ユニット9：行動変容Ⅰ	1) 健康信念モデルを説明する。 2) 行動変容ステージモデルを説明する。 3) 動機づけ面接について説明する。
11月26日	俣木 志朗	ユニット10：行動変容Ⅱ	1) 認知行動療法について説明する。 2) 行動変容療法について説明する。 3) 歯科恐怖症患者の治療を説明する。
12月3日	俣木 志朗	ユニット11：医療における人間関係Ⅰ：患者－医療者関係	1) 医療における役割理論を説明する。 2) 患者－医療者関係の類型を説明する。 3) 患者の意思決定パターンを説明する。 4) セカンドオピニオンを説明する。
12月10日	俣木 志朗	ユニット12：医療における人間関係Ⅱ：医療面接の基本	1) 医療面接の役割を説明する。 2) 効果的な質問法を説明する。 3) コミュニケーションスキルを実践する。 4) 適切な敬語を使用する。
12月17日	俣木 志朗	ユニット13：医療における人間関係Ⅲ：チーム医療・リーダーシップ論 まとめ：全人的医療の実践	1) チーム医療の概念・意義を説明する。 2) チーム構成員が担う役割・機能を説明する。 3) リーダーシップ理論の歴史的変遷を概説する。 4) 状況に応じたリーダーシップを説明する。 5) 全人的医療の実践について概説する。

生命歯学概論

木曜日 9:00~10:30

本学期的学習目標 (GIO)

生命歯学学習の意義を理解するために、歯学生として歯科医学の流れを学び、健康に暮らしていくための口腔の重要性を知る。さらに今後、臨床系科目を十分に理解するための教養・基礎系科目学習の重要性も認識する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
石井拓男, 渋谷 鈺, 西巻明彦	スタンダード歯科医学史		学建書院
中原 泉	歯科医学史の顔		学建書院
日本歯科大学	中原市五郎の日本食養道		

担当者一覧

内川喜盛, 前野雅彦, 西巻明彦, 加藤雄一, 沼部幸博, 里見貴史, 菊谷 武, 小倉 晋, 新谷明一, 石田祥己, 石垣佳希

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [75%] ☒ 論述試験 [20%] ☐ 口頭試験 [--%] ☒ レポート [5%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席, 服装, 頭髪, 髪の毛の色を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 木曜日講義終了時に担当者へ確認

場所: 各担当教員研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25日	前野 雅彦	ユニット1: う蝕	1) できかた(発症メカニズム)を述べる。(D-3-2-1) 2) 状態(臨床像)によってう蝕を分類する。(D-3-2-1) 3) M I に基づく基本的処置を説明する。(D-5-2-1-2) 4) 状態に応じた基本的処置を述べる。(D-5-2-1-1)
10月2日	西巻 明彦	ユニット2: 歯科医学史 (1)	1) 歯科医学史の始まりについて説明する。(PR-01) 2) ヒポクラテスと近代医学について述べる。(PR-01) 3) 古代・中世の歯科医学史について述べる。(PR-01) 4) 歴史の重要性について述べる。(PR-01)
10月9日	西巻 明彦	ユニット3: 歯科医学史 (2)	1) 近代外科学の発達について述べる。(PR-01) 2) フォシャールについて説明する。(PR-01) 3) 19世紀の歯科医学史を述べる。(PR-01) 4) 疾病からの社会防衛について説明する。(PR-01, S0-02)
10月16日	西巻 明彦	ユニット4: 歯科医学史 (3)	1) 歯科医療文化と世界遺産について述べる。(PR-01) 2) 歯科医学教育の始まりについて述べる。(PR-01) 3) 日本歯科大学の始まりについて説明する。(PR-01) 4) 中原市五郎著「日本食養道」について述べる (PR-01)
10月23日	加藤 雄一	ユニット5: 口腔小児科学	1) 小児歯科と成人歯科の相違を説明する。(D-5-6) 2) 小児期を分類する。(A-2-2) 3) 乳歯と永久歯の相違を述べる。(A-3-4-4) 4) 小児齲蝕の予防法を説明する。(E-5-5) 5) 小児歯科学に関わる基礎系科目の学習内容を列記する。(C-2-1)

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月30日	沼部 幸博	ユニット6：歯周病	1) 歯周組織の構造を説明する。(A-3-4-7) 2) 歯周病，歯髄・根尖歯周疾患の臨床症状を列記する。(D-3-2-2, D-3-2-3) 3) 歯周病，歯髄・根尖歯周疾患の原因を説明する。(D-3-2-2, D-3-2-3) 4) 歯周治療，歯髄・根尖歯周疾患治療の基本概念を述べる。(D-5-2-2-1, D-5-2-3-2) 5) 歯周病，歯髄・根尖歯周疾患の予防の基本概念を述べる。(D-3-2-2, D-3-2-3)
11月6日	里見 貴史	ユニット7：口腔外科学	1) 口腔領域の疾患を類別する。(A-3-3-1, D-3-1-1～11) 2) 代表的な疾患の概要を説明する。(D-3-1-1～11) 3) 関連する教養・基礎系科目の学習内容を具体的に述べる。(LL-01, LL-04)
11月13日	内川 喜盛	ユニット8：障害児・者の口腔健康管理	1) 障害を説明する。(D-5-8-1, 2, 3) 2) 福祉からみた障害の分類を列記する。(D-5-8-1, 2, 3) 3) 障害児・者の歯科的特徴を説明する。(D-5-8-1, 2, 3, 4) 4) 障害児・者の歯科治療の特徴を説明する。(D-5-8-1, 2, 3, 4)
11月20日	菊谷 武	ユニット9：口腔リハビリテーション	1) 口腔機能について列記する。(A-3-3-3～8) 2) 口腔機能低下の原因を説明する。(D-3-1-11-2～5, D-5-7-4) 3) 口腔機能の低下の原因とリハビリテーションの基礎を説明する。(D-3-1-11-2～5, D-5-7-8, D-5-8-5) 4) 口腔リハビリテーションに関わる基礎系科目の学習内容を列記する。(LL-01, LL-04)
11月27日	小倉 晋	ユニット10：再生医学とインプラント	1) 再生医学の概要を述べる。(C-1-1-6) 2) 再生医療の臨床的意義を説明する。(C-4-1-2) 3) インプラント治療の意義を述べる。(D-5-3-3-1) 4) インプラント治療の流れを説明する。(D-5-3-3-3)
12月4日	新谷 明一	ユニット11：欠損と咬合	1) 健康，医療，福祉における咀嚼機能の重要性とその意義の概要を説明する。(A-3-2-10) 2) 歯の喪失により損なわれた咬合を回復し，維持するための補綴の概要を説明する。(D-5-3-1-1, D-5-3-2-1) 3) 補綴装置の種類を説明する。(D-5-3-1-2, D-5-3-2-2)
12月11日	石田 祥己	ユニット12：修復治療を支える材料	1) 成形充填材を類別する。(B-2-1) 2) 築造用材料を述べる。(B-2-1, B-2-2) 3) 歯冠修復材料を説明する。(B-2-2) 4) 合着材・接着材を類別する。(B-2-3)
12月18日	石垣 佳希	ユニット13：医療安全総論	1) 医療事故発生要因と防止策を述べる。(C-3-1-1) 2) 医療現場での連絡体制を説明する。(C-3-1-2) 3) 医療安全情報の分析法を列記する。(C-3-1-3) 4) 患者安全管理体制を説明する。(C-3-1-4) 5) 医療事故と医療過誤の違いを述べる。(C-3-2-1) 6) 医療事故調査制度を説明する。(C-3-2-2)

歯の解剖学

木曜日 10:40~12:10

本学期的学習目標 (GIO)

口腔における歯の役割を理解するために、永久歯と乳歯の歯冠および歯根形態と機能との関連性についての基本的知識を修得し、歯のもつ解剖学的重要性を理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)

担当者一覧

春原正隆, 菊池憲一郎, 池田利恵, 小川清美

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [60%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☒ その他 (プレ・ポストテスト [10%])

オフィスアワー

日時: 毎週木曜日 16:30~18:00

場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室, 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月25日	春原 正隆	ユニット1: オリエンテーション, 歯の総論	1) 歯の解剖学の概要を説明する。 2) 歯の定義について説明する。
10月2日	菊池憲一郎	ユニット2: 歯の萌出	1) 歯の萌出期について説明する。 2) 歯の萌出を引き起こす要因について説明する。 3) 乳歯の脱落について説明する。
10月9日	池田 利恵	ユニット3: 歯と歯周組織	1) 歯を構成する組織名を列記する。 2) 歯の組織構造を説明する。 3) 歯周組織を列記する。 4) 歯周組織の構造を説明する。
10月16日	小川 清美	ユニット4: 歯冠の形態	1) 永久歯の歯冠の形態について, 模式図を用いて説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月23日	小川 清美	ユニット5：歯根と歯髄(腔)の形態	1) 永久歯の歯根と歯髄(腔)の形態について、模式図を用いて説明する。
10月30日	小川 清美	ユニット6：歯の部位の名称と歯の記号と表記	1) 歯の部位の名称を述べる。 2) 歯の方向用語を列記する。 3) 各歯に対応する略号および記号を列記する。
11月6日	小川 清美	ユニット7：歯種別の特徴(1)	1) 上顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。
11月13日	小川 清美	ユニット8：歯種別の特徴(2)	1) 上顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。
11月20日	小川 清美	ユニット9：歯種別の特徴(3)	1) 下顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。
11月27日	小川 清美	ユニット10：歯種別の特徴(4)	1) 下顎永久歯の解剖学的特徴について、模式図を用いて説明する。
12月4日	小川 清美	ユニット11：乳歯と永久歯の違い	1) 乳歯と永久歯の大きさ、形、配列を説明する。 2) 乳歯と永久歯の組織構造を比較する。
12月11日	小川 清美	ユニット12：歯列と咬合	1) 歯の特有の形態、歯列上の位置の区別を関係づける。 2) 歯列の接触点、鼓形空隙、歯隙を説明する。 3) 歯列弓を説明する。 4) 上下歯列弓の関係を説明する。
12月18日	小川 清美	ユニット13：歯の異常	1) 歯数の過剰、歯数の不足について説明する。 2) 歯の大きさの異常、歯冠部の異常結節について説明する。 3) 歯根部の異常について説明する。 4) 萌出の異常について説明する。 5) 位置の異常について説明する。

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師としてEBM (Evidence Based Medicine) の実践に必要な統計学の知識を修得する。すなわち予防、診断、予後判定、治療に要する情報を収集、分析し、質の高い歯科医療を提供していくために必須である統計学的手法を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
安井利一 監修 尾崎哲則 編集	わかりやすいビジュアル歯科保健医療統計学	第1版第9刷	医歯薬出版株式会社

担当者一覧

一宮頼子

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [90%]
 ☒ 論述試験 [10%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 授業終了後

場所: 本館5階衛生学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	一宮 頼子	ユニット1: 統計学とは	1) 歯科における統計学の役割を述べる。 2) 統計学から明らかになった過去の事例を列举する。 3) 因果関係について説明する。
10月3日	一宮 頼子	ユニット2: 研究法	1) 因果関係究明の手順を具体的に述べる。 2) 研究方法を対比する。 3) 研究法の応用例を列举する。
10月10日	一宮 頼子	ユニット3: 保健統計指標	1) 比と率の違いを説明する。 2) 罹患率と有病率を対比する。 3) 人年法を説明する。 4) 研究方法とリスク評価の指標を関係付ける。
10月17日	一宮 頼子	ユニット4: リスク評価	1) 相対危険, 寄与危険, オッズ比の違いを説明する。 2) 相対危険, 寄与危険, オッズ比を用いてリスクを評価する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月24日	一宮 頼子	ユニット5：基本的な統計値	1) 代表値としての平均値，中央値，最頻値の違いを説明する。 2) 標準偏差，標準誤差を対比する。 3) 四分位偏差を応用する。
10月31日	一宮 頼子	ユニット6：推 定	1) 正規分布の特性について具体的に述べる。 2) 点推定と信頼区間について説明する。 3) t分布と χ^2 分布を対比する。
11月7日	一宮 頼子	ユニット7：統計学的推論Ⅰ	1) 背理法を説明する。 2) 検定の手順を具体的に述べる。
11月14日	一宮 頼子	ユニット8：統計学的推論Ⅱ	1) 母平均の検定法を述べる。 2) 対応のない平均値の差の検定法を記述する。 3) 対応のある平均値の差の検定法を記述する。
11月21日	一宮 頼子	ユニット9：統計学的推論Ⅲ	1) 適合度の判定法を応用する。 2) 独立性の検定法を適用する。
11月28日	一宮 頼子	ユニット10：相 関	1) 散布図から2つの変量間の関連性を推察する。 2) 相関係数を求める方法を記述する。 3) 相関係数の有意性を検定する方法を述べる。
12月5日	一宮 頼子	ユニット11：スクリーニング	1) スクリーニングの実施上の原則を述べる。 2) スクリーニング検査の妥当性を敏感度，特異度を用いて検討する。 3) カットオフポイントを判断する。 4) ROC 曲線を説明する。
12月12日	一宮 頼子	ユニット12：EBM	1) EBM の概念を説明する。 2) バイアスと，その除去法について具体的に述べる。 3) 交絡因子と，その除去法について判断する。
12月19日	一宮 頼子	ユニット 13：口腔保健における護るべき規範	1) 倫理について説明する。 2) インフォームド・コンセント，個人情報の保護を説明する。 3) 倫理指針を具体的に述べる。

本学期的学習目標 (GIO)

国際社会に適応する歯科医師になるために、医療現場に必要な英語によるコミュニケーション能力を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

著者・編集

著者・編集

著者・編集

日本医学英語教育学会編	医学・医療系学生のための総合医学英語テキスト Step1	第2版	メジカルビュー社
師岡ヴィヴィアン, 杉浦テリー	Vital Signs [Revised Edition] Essential English for Healthcare Professionals ホスピタル・イングリッシュ〈改訂版〉	第2版	株式会社 南雲堂

担当者一覧

横山知美, 三浦大輔

学習方略

- ☒ 講義
 ☐ 示説 (デモンストレーション)
 ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む)
 ☐ 実習
 ☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

- ☒ 客観試験 [40%]
 ☒ 論述試験 [30%]
 ☐ 口頭試験 [10%]
 ☒ レポート [20%]
 ☐ ポートフォリオ [10%]
 ☐ シミュレーションテスト [10%]
 ☐ 実地試験 [10%]
 ☐ 観察記録 [10%]
 ☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式]
 ☒ その他 (小テスト [10%])

オフィスアワー

日時: 授業終了後

場所: 141講堂, 本館4階歯科理工学講座

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	横山 知美	ユニット1: Directions	1) 施設や方向, 位置を表す言葉について, 英語で列挙する。 2) 病院内での会話について, 英語で具体的に述べる。 3) 課題の準備をする。
10月3日	横山 知美	ユニット2: Chest Pain①	1) 痛みに関連する言葉について, 英語で具体的に述べる。 2) 心・血管系に関する言葉について, 列挙する。 3) 課題の準備をする。
10月10日	横山 知美	ユニット3: Chest Pain②・Cough①	1) 英文を読んで, 内容について記述する。 2) 病院内での会話について, 英語で具体的に述べる。 3) 課題の準備をする。
10月17日	横山 知美	ユニット4: Cough②	1) 英文を読んで, 内容について記述する。 2) 呼吸器系に関する言葉について, 英語で列挙する。 3) 課題の準備をする。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月24日	横山 知美	ユニット5：Chatting with a Patient	1) 疾患について表す言葉について、英語で列挙する。 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。 3) 課題の準備をする。
10月31日	横山 知美	ユニット6：Taking a Medical History	1) 病歴聴取に関連する言葉について、英語で列挙する。 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。 3) 課題の準備をする。
11月7日	横山 知美	ユニット7：Abdominal Pain①	1) 専門用語について、英語で具体的に述べる。 2) 消化器系に関する言葉について、英語で列挙する。 3) 課題の準備をする。
11月14日	横山 知美	ユニット8：Abdominal Pain②	1) 専門用語について、英語で具体的に述べる。 2) 消化器系に関する言葉について、英語で列挙する。 3) 課題の準備をする。
11月21日	三浦 大輔	ユニット9：Dysphagia	1) 学んだ言葉について、英語で説明する。 2) 誤嚥に関する言葉について、英語で列挙する。 3) 課題の準備をする。
11月28日	横山 知美	ユニット10：Hearing Loss	1) 聴力障害・難聴に関する言葉について、英語で列挙する。 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。
12月5日	横山 知美	ユニット11：Fracture	1) 外傷やその治療に関する言葉について、英語で列挙する。 2) 英文を読んで、内容について記述する。 3) 専門用語について、英語で具体的に述べる。
12月12日	横山 知美	ユニット12：Pregnancy	1) 生殖器系に関する言葉について、英語で列挙する。 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。 3) 学んだ知識について、応用する。
12月19日	横山 知美	ユニット13：Hospital Procedures	1) 手術や処置に関連する言葉について、英語で列挙する。 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。 3) 学んだ知識について、応用する。

物理学（遠隔授業）

金曜日 13:10~14:40

本学期的学習目標（GIO）

歯科医療に必要な放射線診断や先進医療機器の原理と放射線の人体への影響を理解するために、電磁気学や原子核の構造・放射線の発生過程などの物理的知識を習得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
村田 浩他著	医歯系の物理学	第2版	東京教学社
	高等学校 物理基礎・物理 教科書・参考書		
西臺武弘	放射線医学物理学	第3版	文光堂

担当者一覧

小野裕明

学習方略

☒ 講義
 ☐ 示説（デモンストレーション）
 ☐ グループワーク（PBL, TBLを含む）
 ☐ 実習
 ☐ その他（ ）

成績評価（比率は概算であり若干の変更が行われます）

☒ 客観試験 [50%]
 ☒ 論述試験 [50%]
 ☐ 口頭試験 [--%]
 ☐ レポート [--%]
 ☐ ポートフォリオ [--%]
 ☐ シミュレーションテスト [--%]
 ☐ 実地試験 [--%]
 ☐ 観察記録 [--%]
 ☒ 態度（授業態度、遅刻、欠席を含む）[減点式]
 ☐ その他（ [--%] ）

オフィスアワー

日時：金曜日 昼休み 12:10~13:10
 場所：Zoom

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
9月26日	小野 裕明	ユニット1：電磁気1 電荷とクーロン力・電場と電気力線	1) 電気の性質を説明する。 2) 電荷に働く力とクーロンの法則を記述する。 3) 電場の概念を説明する。 4) 電場を電気力線で記述する。
10月3日	小野 裕明	ユニット2：電磁気2 電位と導体内での電荷の移動	1) 電位の概念を理解する。 2) 電荷の移動と物質の電氣的性質を説明する。 3) 導体内での静電誘導を説明する。 4) 導体の静電遮蔽の性質を説明する。
10月10日	小野 裕明	ユニット3：電磁気3 電気容量と生体内での電気現象	1) コンデンサーの電気容量を記述する。 2) 圧電・焦電現象を説明する。 3) 生体内での電気現象を説明する。 4) AEDでの心肺蘇生を説明する。
10月17日	小野 裕明	ユニット4：電磁気4 電流・電圧・抵抗の関係と電池の仕組み	1) 電流を電子の移動から説明する。 2) オームの法則を導き出す。 3) 様々な電池の仕組みを説明する。 4) ジュール熱と電力を記述する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月24日	小野 裕明	ユニット5：電磁気5 磁気の性質と電流と磁気の相互作用	1) 磁気の性質を述べる。 2) 電流の磁気作用から磁場を説明する。 3) 電流と磁気の相互作用を説明する。
10月31日	小野 裕明	ユニット6：電磁気6 電磁誘導	1) 電磁誘導の現象を説明する。 2) 電磁誘導の応用利用を記述する。
11月7日	小野 裕明	ユニット7：電磁気7 交流電流と電磁波	1) 交流電流を説明する。 2) 交流発電の原理を説明する。 3) 電磁波の種類と波長の関係を記述する。 4) 光が電磁波の一種であることを説明する。
11月14日	小野 裕明	ユニット8：放射線1 放射線と原子・原子核	1) 放射線の性質を説明する。 2) 放射線の種類を分類する。 3) 原子と原子核の構造と構成要素を記述する。 4) 放射線と放射性同位体の関係を説明する。
11月21日	小野 裕明	ユニット9：放射線2 X線の発生原理と物質との相互作用	1) 粒子加速の原理を説明する。 2) X線の発生機構を説明する。 3) X線と物質との相互作用を説明する。 4) 放射線画像診断や治療の原理を説明する。
11月28日	小野 裕明	ユニット10：放射線3 原子核反応とエネルギー	1) 原子核の構造を説明する。 2) 質量と結合エネルギーの関係を説明する。 3) 核分裂で生成されるエネルギーを計算する。 4) 原子炉内の核反応を説明する。
12月5日	小野 裕明	ユニット11：放射線4 磁気モーメントと核磁気共鳴	1) 電子，原子，原子核の磁気モーメントを分類する。 2) 電子のスピンを説明する。 3) 磁気共鳴現象を説明する。 4) 核磁気共鳴の医学利用を記述する。
12月12日	小野 裕明	ユニット12：放射線5 放射線量の定量化と崩壊様式	1) 放射能や放射線量を定量的に表現する。 2) 半減期から放射能を計算する。 3) 核崩壊の崩壊様式を記述する。
12月19日	小野 裕明	ユニット13：放射線6 放射線と核反応の医療応用	1) 放射線の人体への影響と防護について説明する。 2) X線画像診断装置や高度ながん治療装置の原理を説明する。 3) 核医学検査の手法を分類する。 4) CTとMRI，PETとSPECTの違いを説明する。

食育学

金曜日 14:50~16:20

本学期的学習目標 (GIO)

歯科医師になる学生として、豊かな人間性を育み、生きる力を身につけるために必要な食育の基本知識、技能、態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

中原市五郎

中原市五郎の「日本食養道」

日本歯科大学

担当者一覧

名生幸恵, 三橋扶佐子, 佐伯周子, 千葉忠成, 森谷順子, 中野智子, 山田裕之, 児玉実穂, 小林隆太郎, 上杉華子, 尾関麻衣子, 松野智宣

学習方略

☒ 講義 ☐ 示説 (デモンストレーション) ☐ グループワーク (PBL, TBLを含む) ☐ 実習
☐ その他 ()

成績評価 (比率は概算であり若干の変更が行われます)

☒ 客観試験 [70%] ☒ 論述試験 [30%] ☐ 口頭試験 [--%] ☐ レポート [--%]
☐ ポートフォリオ [--%] ☐ シミュレーションテスト [--%] ☐ 実地試験 [--%] ☐ 観察記録 [--%]
☒ 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) [減点式] ☐ その他 ([--%])

オフィスアワー

日時: 金曜日 (食育学講義終了後) 16:20~16:30

場所: 100周年記念館 4階141講堂

授業日	担当者	ユニット番号: テーマ	行動目標 (SB0s)
9月26日	名生 幸恵	ユニット1: 本学と食育学の関わり	1) 「日本食養道」について説明する。 2) 食育の概念について説明する。 3) 食育の歴史を概説する。 4) 食育基本法を説明する。 5) 食育の現状と今後の課題を述べる。
10月3日	三橋扶佐子	ユニット2: 歯学生に対する食育支援	1) 食事バランスガイドについて説明する。 2) 歯学生の理想的な食生活を説明する。
10月10日	佐伯 周子	ユニット3: 食育を理解するために I (生理学)	1) 食に関わる人体の生理的機能を列記する。 2) 食に関わる認知機能について述べる。
10月17日	千葉 忠成	ユニット4: 食育を理解するために II (生化学)	1) 栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能を説明する。 2) 栄養素の消化・吸収の流れを説明する。 3) 生体がエネルギーを獲得する過程を説明する。

授業日	担当者	ユニット番号：テーマ	行動目標（SB0s）
10月24日	森谷 順子	ユニット5：栄養学Ⅰ	1) 栄養と生活習慣病との関わりを説明する。 2) 栄養食事指導に必要な知識を説明する。 3) 口腔疾患患者の栄養管理を説明する。 4) 食事摂取基準と献立作成・調理，病院食でのSDGsについて述べる。 5) 退院後の栄養管理を説明する。 6) 食物アレルギーを列記する。
10月31日	中野 智子	ユニット6：栄養学Ⅱ	1) 食事と健康について説明する。 2) 栄養素と食品について説明する。 3) 発育と食育の関連について説明する。 4) 食生活の問題点について説明する。
11月7日	山田 裕之	ユニット7：歯科からの食育支援Ⅰ（乳幼児期，スペシャルニーズ）	1) 哺乳期の食育支援を述べる。 2) 離乳期の食育支援を述べる。 3) 幼児期の食育支援を述べる。 4) 特別な配慮を必要とする人への食育支援を説明する。
11月14日	児玉 実穂	ユニット8：歯科からの食育支援Ⅱ（妊娠期・授乳期）	1) 妊産婦の身体の変化と食支援を述べる。 2) 妊娠期の食育支援を述べる。 3) 授乳期の食育支援を述べる。
11月21日	佐伯 周子	ユニット9：歯科からの食育支援Ⅲ（学齢期以降）	1) 学齢期の食育支援を述べる。 2) 学校歯科医と食育活動について説明する。 3) 学校給食における歯科からの支援について説明する。 4) 五感をはぐくむ食教育を具体的に述べる。
11月28日	小林隆太郎	ユニット10：歯科からの食育支援Ⅳ（成人）	1) 現在の食糧事情を述べる。 2) 生活習慣病予防，メタボリックシンドローム予防に向けた成人の食育支援を述べる。 3) ストレス予防のために食育支援を推論する。
12月5日	上杉 華子	ユニット11：歯科からの食育支援Ⅴ（高齢者①）	1) 8020運動と健康寿命を説明する。 2) 歯の喪失により生じる症状を説明する。 3) 歯科補綴治療を説明する。 4) 歯科補綴治療による口腔機能の改善を説明する。
12月12日	尾関麻衣子	ユニット12：歯科からの食育支援Ⅵ（高齢者②）	1) 高齢期における低栄養のリスクを説明する。 2) 高齢期の口腔機能維持と，オーラルフレイルや低栄養予防のための食育支援を述べる。 3) 高齢期の摂食嚥下障害患者に対するQOL向上に貢献するための食育支援を述べる。
12月19日	松野 智宣	ユニット13：唾液と酸化ストレス	1) 唾液の役割を説明する。 2) 酸化ストレスを説明する。 3) 酸化ストレスと唾液分泌の関係をj知る。 4) 抗酸化作用を説明する。 5) 抗酸化作用のある食品を述べる。

実務経験のある教員等による授業科目について_臨床系科目抜粋【生命歯学部】

科目名 (授業の方法)	時間数	単位数	実務担当教員	どのような実務経験を持つ教員がどのような教育を行うか
全部床義歯補綴学（講義）	39	3	隅田由香、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、水橋 史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。咀嚼系の形態と機能を理解するために、基礎学科で履修した知識を整理するとともに、歯科補綴学の概念および基礎的知識を修得する。また、無歯顎における形態と機能の変化に対する全部床義歯補綴の考え方を理解する。
部分床義歯補綴学（実習）	45	1	隅田由香、横山正起、石田鉄光、中島邦久、上杉華子、小見野真梨恵、秋山 洋、岡山浩美、川名弘剛、渡邊慧子、寺沼樹里、山川茉里萌、安部結美、寺辺やよひ、萩原 彰、岩波行紀、高草木章、仁村秀由喜、小島健一郎、芳賀景嗣、塙 悦郎、荒川一郎、千切一恵、田村響子、倉持淳子、齋藤真子、仁村可奈、門田千晶	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的な歯の欠損によって失われた咀嚼系の機能と形態を回復し、口腔組織の健康状態を保つために、部分的な歯の欠損によって生じる咀嚼系の形態と機能の変化に関する診査、診断、部分床義歯補綴に関連する基本的な臨床操作を修得する。
部分床義歯補綴学（講義）	39	3	隅田由香、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、芳賀景嗣、中島邦久	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。部分的無歯顎の形態と機能を理解し、それに対する部分床義歯の考え方および実際に関する基本的事項について修得する。
内科学（講義）	19.5	1.5	谷 樹昌、渡辺尚彦、古畑 升、権 寧博	大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科学を修めるにあたり、内科学の基礎知識と内科学疾患の留意すべき点を理解する。

統合臨床基礎学（実習）	44	1	前田宗宏、横澤 茂、五味治徳、柵木寿男、里見貴史、篠原健一郎、岩田 洋、梅津糸由子、鈴木章弘、内藤 明 【医療面接】大津光寛、井出吉昭、大澤銀子、北村和夫、仲谷 寛、西田太郎、前野雅彦、石川結子、石田鉄光、代田あづさ、滑川初枝、光安廣記、内田裕子、安田麻子、窪田大祐、川本沙也華、根岸 翼、土持 宇、岡田智雄 【補綴】新谷明一、八田みのり、渡邊 慧、横山正起、上杉華子、小見野真梨恵、秋山仁志、石川結子 【歯内】西田太郎、 北村和夫、 関谷美貴、三枝慶祐、杉田浩一、濱田康弘、山崎孝子、小柳圭史、中山竣太郎、小林 鷹、梶原瑞貴、村山文康 【修復】小川信太郎、河本 芽、越田清祐、河合貴俊、代田あづさ、杉山怜央、中原由絵、滑川初枝、新田俊彦、林 孝太郎、原 学、前野雅彦、光安廣記、村田卓也 【口腔外科】松野智宣、宮坂孝弘、澁井武夫、岡村武志、田中惇平、稲田 諒、小柳昌央 【救命救急】安田麻子、小谷田貴之、我妻由梨、村松健司、亀岡 亮、小柳圭史、筒井友花子、酒井有沙、今井智明、阿部恵一、小林清佳、黒岩 聖、大野泰子、清原歩実、石井通勇、篠原健一郎、井坂栄作 【放射線】浅海利恵子、神尾 崇、河合泰輔、齋藤圭輔、永浦まどか、林 宗廣 【臨床(小児)】村松健司、新見嘉邦、亀岡 亮、芦澤みなみ、西村 歩、出口 崇、宇佐見智里、伊藤春子、河野 南、千 瑛美 【臨床(技工)】齋藤勝紀、竹井 潤、岩田健悟、山澤武司、中村美保、飯島孝守、芝崎雅一	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。第5学年での附属病院における臨床参加型実習において附属病院各科診療室で患者と円滑に接するために、各基礎実習で履修した知識と技能を整理し、臨床実習生として必要な技能・態度を修得する。
全部床義歯補綴学（実習）	39	1	隅田由香、横山正起、石田鉄光、中島邦久、上杉華子、小見野真梨恵、秋山 洋、児玉実穂、岡山浩美、小池未来、川名弘剛、渡邊慧子、寺沼樹里、山川茉里萌、安部結美、亙理奈保子、寺辺やよひ、萩原 彰、岩波行紀、高草木 章、仁村秀由喜、小島健一郎、芳賀景嗣、塙 悦郎、荒川一郎、千切一恵、田村響子、倉持淳子、齋藤眞子、仁村可奈、門田千晶	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。無歯顎者の全部床義歯補綴に対応するため、製作の実際を修得し、あわせて臨床操作に必要な器具・材料、ならびに器械の基本的な正しい取り扱いを身につける。
小児歯科学（実習）	39	1	苅部洋行、河上智美、田中聖至、名生幸恵、加藤雄一、岡本亜祐子、萩原洋子、米山博己、石井伸明、酒寄浩章、鈴木淳子、小口莉代、内川喜盛、白瀬敏臣、梅津糸由子、村松健司、新見嘉邦、亀岡 亮、山口みなみ、西村 歩、出口 崇、杉澤香恵子、宇佐見智里、伊藤春子、河野 南、千 瑛美、合場奈美、萩原栄和、黒田暁洋、林 陽佳、増田理紗、三宅真帆、波多野宏美、松崎祐樹、三井園子、宮山友紀、松本紗耶、山崎てるみ、松尾恭子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。小児の歯科的諸問題に対応するために、患児の一口腔単位の診察、診断、治療計画に基づいた治療と口腔管理の実際を理解し、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

小児歯科学（講義）	39	3	苅部洋行、河上智美、田中聖至、名生幸恵、加藤雄一、岡本重祐子、小口莉代、鎌田弘明、前田美穂、小方清和、楊 秀慶、荻原栄和	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。成長発達の過程にある小児の顎口腔系器官の形態と機能の成育を目的とし、それを阻害する口腔疾患の予防と治療を行うために、小児歯科診療に必要な精神発達、身体の成長、および全身と口腔の機能的な発達について理解し、さまざまな口腔疾患の予防と治療法の原則を修得する。
障害者歯科学（講義）	19.5	1	内川喜盛、大島克郎、加藤雄一、亀岡 亮、西脇恵子、田村文誉、町田麗子、石井隆資、山崎てるみ、村松健司、阿部恵一、白瀬敏臣、梅津糸由子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医療において障害児・者へ必要な医療を行うために、障害者歯科学の基本理念、社会と健康、疾病、障害との関係や地域保健医療について理解し、発達障害者、身体障害者、精神障害者の概要と歯科治療および歯科保健管理について認識する。また、言語・摂食・嚥下障害の概要とリハビリテーションの対応や障害者の行動調整法、障害者歯科治療におけるリスク評価と安全管理を習得する。さらには、地域医療連携の重要性と、二次医療・三次医療の位置づけを認識する。
歯内療法学（実習）	39	1	前田宗宏、西田太郎、関谷美貴、三枝慶祐、村山文康、北村和夫、佐藤友則、濱田康弘、小柳圭史、小林 鷹、中山竣太郎、古田賢太郎、秋知美穂、石川 泰、磯田浩太、興地麗子、小倉陽子、梶原瑞貴、草間博文、小玉裕樹、杉田浩一、関口晃弘、高橋千明、立浪秀幸、辻野貴史、角掛 愛、永井圭子、永島万理子、前田朋己、松島正和、森山 旭、山崎孝子、吉野真弘	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯内療法学を臨床で実践するために、各種の治療法を実施し、臨床における実際の診療ポジションや治療の術式、手順を修得する。
歯内療法学（講義）	58.5	4.5	前田宗宏、西田太郎、関谷美貴、三枝慶祐、興地隆史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯髄疾患および根尖性歯周疾患の治療法を理解するために、必要な知識を整理し、歯内療法臨床の基本的術式に関する知識を修得する。
歯周病学（実習）	44	1	沼部幸博、伊藤 弘、関野 愉、村楨悦子、五十嵐寛子、倉治竜太郎、林 英昭、沼部真理子、伊藤明子、川村浩樹、大崎忠夫、清信浩一、瀧田 亮、高橋亮一、藤田佑三、大久保美佐、石井マイケル大宜、上原 直、和田祐季、三代紗季、宮下幸大、山崎 桂、仲谷 寛、小川智久、鈴木麻美、大澤銀子、加藤智崇、角田憲祐、小玉美也子、齋藤敦史、横山知美、美濃直輝、山本陸矢、阪 奈津子、杉山祐太、岩崎直弥、岡部俊秀、我妻瑞穂、井上修輔、大塚 源、小沼 晃、金森行泰、國分貴子、斉藤文重、斉藤洋一、眞下絢香、亘理 瑛、吉田 聡、石黒一美	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。講義で学んだ理論を踏まえ、歯周病学の臨床における基本的術式を理解するために、必要な基礎的臨床技能および態度を修得する。
歯周病学（講義）	58.5	4.5	沼部幸博、伊藤 弘、関野 愉、村楨悦子、五十嵐寛子、倉治竜太郎、石黒一美、佐藤 聡	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯周病学における全体像（各論）を理解するために、関連の知識を修得し、その要諦と基本事項を学習しながら、臨床で必要な基本術式の知識を身につける。

歯冠補綴学（実習）	39	1	五味治徳、新谷明一、八田みのり、渡邊 慧、黒田聡一、藤島 伸、岡田智雄、石田鉄光、横澤 茂、大津光寛、山瀬 勝、我妻由梨、石川結子、小池未来、丸茂義二、大内秀明、遠山佳之、松尾 豊、長田博史、海渡智義、濱 仁隆、米澤弥生、落合真美、曾布川裕介、磯 亮輔、軍司さおり	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯冠修復の基本的事項を確認するために、各種補綴装置の支台歯形成、印象採得、作業模型の製作、支台築造、プロビジョナルクラウンの製作を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。
歯冠補綴学（講義）	58.5	4.5	五味治徳、新谷明一、片桐慎吾、八田みのり、黒田聡一、秋山仁志、柳井智恵、鈴木貴規、海渡智義、山崎長郎、上田一彦、松田哲治	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯冠補綴学の概要を理解するために、基礎科目で履修した知識を整理し、歯科補綴臨床で求められる知識を修得する。
歯科麻酔・救急処置（講義）	39	3	砂田勝久、塩谷伊毅、今井智明、大橋 誠、筒井友花子、小谷田貴之、酒井有沙、島村直宏	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。患者に苦痛を与えない安全な歯科治療を行うために、患者の評価法、局所麻酔法、精神鎮静法、救急処置に関する知識を修得する。また注意すべき全身疾患を認識し、偶発症発生の予防法と対処法を知る。
歯科放射線学（講義）	58.5	4.5	河合泰輔、浅海利恵子、神尾 崇、永浦まどか、岩田 洋、林 宗廣、柿本直也、飯久保正弘、前野雅一、西川慶一、香川豊宏	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。これまでの知識に加え、歯・顎・顔面領域における特異的な疾患、放射線の人体への影響、がんの放射線治療など、臨床における様々な放射線の活用法を理解すると同時に、病院実習に向けて歯科放射線学の知識の確認を行うために、演習を通じて知識の総まとめを行う。
歯科硬組織修復学（実習）	39	1	柵木寿男、安部美紀、石井通勇、石川明子、小川信太郎、河合貴俊、川本沙也華、北 大樹、河本 芽、神山通孝、古賀俊平、越田清祐、近藤健示、代田あづさ、辛 美輝、杉山征三、高橋彬文、多村美希、角掛 愛、中西生美、中原由絵、中村彰一郎、滑川初枝、新田俊彦、野上 勇、林 孝太郎、原 学、前野雅彦、松嶋千佳、丸山沙絵子、丸山智重、光安廣記、宮本相和子、村田卓也、矢野賢都、義隆伸之、杉山怜央	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。臨床の現場で求められる基本的な修復方法を体得するために、講義から得た知識に基づき、臨床において頻用される代表的な修復に際し求められる技法・取組みについて修得する。さらに、診療参加型臨床実習において求められる医療人として必須の態度・習慣や技能を身につける。
歯科硬組織修復学（講義）	58.5	4.5	柵木寿男、前野雅彦、河本 芽、貴美島 哲、林 孝太郎、越田清祐、原 学、小川信太郎、村田卓也、河合貴俊、新田俊彦、江黒 徹、中村昇司	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。硬組織疾患に対する直接・間接修復法を理解するために、応用する器材の種類・組成を整理し、各修復法の特徴、適応症・禁忌症、窩洞の特徴、修復手順などについて修得し、あわせて変色歯・破折歯・象牙質知覚過敏への対応を身につける。
歯科矯正学（実習）	39	1	新井一仁、磯部真帆、小川絢大、奥田美沙、嘉悦茉美、片岡彩乃、勝浦杏奈、呉屋 龍、古賀一輝、今野喜文、齋藤絵里佳、佐藤瑤子、柴崎絢香、鈴木章弘、鈴木美智子、世古口なつね、舘 晶彦、土持 宇、土井百合香、栃木啓佑、富田理絵、仲谷 豊、久 星子、藤田真澄、藤田由希子、藤原由梨、松原 萌、真鍋 望、矢澤 貴、若山雄一郎、和田健一郎、渡邊大悟、渡邊浩幸	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯科医師として不正咬合を治療する際の必要な要件を身につけるために、基本的な矯正装置の製作および症例分析を通して、臨床において求められる知識・技能・態度を修得する。

歯科矯正学（講義）	39	3	新井一仁、土持 宇、鈴木章弘、栃木啓佑、柴崎絢香、舘 晶彦、中村俊弘	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。前年度に修得した歯科矯正学の基本的知識と不正咬合の診断に関する知識をふまえて、歯科医師として適切な矯正歯科医療を提供するために必要となる治療に関する知識を修得する。
高齢者歯科学（講義）	19.5	1.5	菊谷 武、児玉実穂、磯田友子、高橋賢晃、田村文誉、元開早絵、戸原 雄、西脇恵子、筒井健夫	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。高齢者に対する歯科における対応を理解するために、高齢者を取り巻く環境や身体、特性、心理、行動に関する事項を学習しながら、臨床で必要な知識を身につける。
口腔内科学（講義）	39	3	石垣佳希、松野智宣、澁井武夫、田中淳平、小柳昌央、稲田 諒、戸谷収二、安田卓史	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。有病者歯科学においては、 歯科に関連する全身疾患と有病者に対する歯科医療を知り、 臨床における診断力と対応を身につける。口腔内科学においては、 口腔疾患患者の診かた、治療総論、臨床検査、生体機能検査を学び、口腔顎顔面に症状を現す症候群、心因性病態および医療安全と感染予防対策について理解し、臨床における診断力と対応を身につける。
口腔外科の基本手技（実習）	44	1	【口腔外科実習】里見貴史、松野智宣、澁井武夫、岡村武志、稲田 諒、小柳昌央、 荘司洋文、藤城建樹、田中惇平、宮坂彩子、上田康平、岸 碧紀、西崎太郎、黒岩 聖 【歯科麻酔実習】砂田勝久、篠原健一郎、筒井友花子、酒井有沙、島村直宏、三代冬彦、 今井智明、阿部恵一、小林清佳、小谷田貴之、安田麻子、塩谷伊毅、辻本源太郎、 五井貴大、寒竹容子、岩堀泰子、清原歩実、篠原麻緒 【インプラント実習】柳井智恵、小倉 晋、築瀬麻衣子、是澤和人、川上紗和子、 井坂栄作、近澤俊郎、秋山仁志、山瀬 勝	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。臨床実習を安全かつ確実に履修するために、身に付けておくべき口腔外科、歯科麻酔および口腔インプラントの基本手技についての知識、技能および態度を修得する。
口腔外科学（講義）	39	3	里見貴史、田中 彰、澁井武夫、宮坂孝弘、田中惇平、稲田 諒、岡村武志、小柳昌央、宮坂彩子	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。顎・顔面・口腔領域に発症する奇形・変形を主徴とする疾患、外傷、炎症性疾患について、その原因、病態、症状、処置ならびに予後を総括的に理解する。また、各病態の主な疾患の概要を知り、臨床における診断力を身につける。
口腔インプラント学（講義）	19.5	1.5	柳井智恵、小倉 晋、築瀬麻衣子、是澤和人、川上紗和子、松野智宣、秋山仁志、井出吉昭、佐藤 聡	大学病院等における医師・歯科医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。歯の欠損部に対する補綴法の一つであるインプラント治療を理解するために、基礎および臨床科目で修得した知識をもとにインプラントの基本的事項を修得し、臨床例を通して治療の内容を知る。
外科学（講義）	19.5	1.5	櫻井健一、平野智寛、鈴木周平、小豆畑丈夫、藤崎 滋、山本範子、河原弥生、安達慶太、窪田仁美	大学病院等における医師の実務経験を有する教員による実践的な教育を行う。日常診療で遭遇する医科的問題に対応ができる知識を修得するために、外科の基礎となる総論を理解する。
合計	1074	60.5		

◎単位換算方法・・・大学設置基準を踏まえ、講義15時間・実習45時間で1単位とした（事前学修及び事後学修を含む）。

